

## 公共交通に関する課題

## 課題 1 利便性の高い地域公共交通の推進

- ①市民バスの路線や運行時刻の見直し、ニーズを踏まえた利用環境整備による利便性の向上
- ②市内における中心市街地内の移動及び地域間移動を踏まえた**都市づくりと一体・連携**した取組
- ③高齢者等交通弱者の移動手段の確保を図るため、デマンド型乗合タクシーの普及促進のほか、**地域ごとの特性**を踏まえた地域内交通の検討が必要

## 課題 2 利用促進に向けた取組

- ①既存交通手段との**乗継ぎ円滑化**など、利用促進に向けた方策の検討
- ②高齢者等の交通弱者や高校生の通学等に配慮した移動手段の確保
- ③公共交通に関する認知度が低いことから、地域イベントの開催などを含めた**利用促進策**の取組と各種情報発信ツールを活用した**周知**

## 課題 3 持続可能な公共交通への取組

- ①高齢化・担い手不足等による交通サービスの低下へ対応するための**新たなモビリティの活用**についての検討
- ②持続可能な公共交通を推進するため、収支改善に向けた取組
- ③**二酸化炭素排出量削減**につながる公共交通利用の推進

## 課題 4 交流促進を支援する取組

- ①鉄道（新幹線・B R T 含む）・高速バスとの連携強化及び利用促進のための取組
- ②公共交通の充実によるにぎわいの創出と**地域活性化**への貢献

## 基本理念（案）

「住みたいまち とめ」の  
実現に向け、  
だれもが気軽に  
おでかけでき、  
安心して生活が  
送れる  
持続可能な  
地域公共交通を  
構築する

コンパクトな拠点づくりとともに  
地域コミュニティ拠点及び地域  
拠点間を公共交通で結ぶ「コ  
ンパクトシティ・プラス・ネッ  
トワーク」の考えに基づき、利  
便性が高く持続可能な地域公共  
交通ネットワークを構築し、誰  
もが「気軽に」外出でき、「安  
心して」生活が送れる魅力的な  
まちづくりを目指します。

## 基本方針（案）

基本方針 1  
市内各地域におけるまちづくりとの連携

- ①移動ニーズに対応した路線、停留所やダイヤの見直しや、乗換拠点における利用環境整備を図る
- ②中心市街地や市内各地域の拠点における移動特性やニーズを踏まえた公共交通ネットワークの充実を図る
- ③市内各地域の交通需要やまちづくりと連携した地域との協働による地域特性を踏まえた地域内交通を維持・確保する

基本方針 2  
利用促進にむけた移動環境の実現

- ①公共交通機関相互の連携や利用者ニーズを踏まえた利便性向上の取組を推進する
- ②主要な利用者属性に配慮しつつ可能な限り誰もが利用できる移動環境を形成する
- ③公共交通を知る機会の提供や情報発信による認知度の向上、利用促進を図る

基本方針 3  
持続可能な交通体系の実現

- ①地域の多様な関係者の連携・協働により、分野の垣根を越えた人的・物的資源を有効活用した移動手段の確保や、新たなモビリティの活用について検討する
- ②利用促進と新たな財源確保等による収支の改善を図る
- ③環境負荷の小さい移動手段の検討と意識醸成を図る

基本方針 4  
交流や広域連携の促進

- ①鉄道（新幹線・B R T 含む）・高速バスの利用促進と利用環境の維持改善を図る
- ②他市町とのアクセス向上により市町間の交流促進を図る

## 施策の方向性（案）

■**地域間交通の再編【1①②, 2②】**  
⇒利用ニーズに応じた運行ダイヤ、本数、バス停の再編  
⇒生活利便施設等へのバス停の配置

■**地域内交通の再編【1③, 2②】**  
⇒市内各地域での交通手段の位置づけと役割分担の明確化（住民バス、デマンド型乗合タクシーの充実）

■**利用促進に向けた利便性向上【2①②】**  
⇒ネットワークの構築及び乗換え時間の調整  
⇒デジタル技術を活用したサービスの検討

■**利用促進に向けた情報発信、意識啓発【2③, 3③】**  
⇒市広報、ホームページ、SNS等を活用した情報発信  
⇒各種イベントでのPRや利用促進キャンペーンの展開

■**地域実情を踏まえた公共交通導入【1①③, 3①③】**  
⇒自家用有償旅客運送や福祉輸送、送迎サービス等の検討  
⇒デジタル技術の活用など、新たなモビリティの検討  
⇒他分野との連携による新たな交通モードの検討

■**新たな財源の確保等による収支の改善【3②】**  
⇒市民バス停留所広告掲載事業等、新たな財源確保の取組

■**広域移動環境の充実【4①②】**  
⇒J R 東北新幹線・東北本線・気仙沼線及び高速バスと市民バスとの接続改善  
⇒J R 沿線自治体との連携による利用促進  
⇒利用環境の維持・整備  
⇒他市町村との連携による利便性の向上

登米市  
地域公共交通計画（案）  
（5.2 施策の方向性まで）

R7.1.20 時点

登米市

---

---

---

---

# 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 0. はじめに.....                | 1  |
| 0.1 計画の目的 .....             | 1  |
| 0.2 計画の区域 .....             | 1  |
| 0.3 計画の期間 .....             | 1  |
| 0.4 上位・関連計画等と計画の位置づけ .....  | 2  |
| 1. 登米市の地域概況の整理.....         | 4  |
| 1.1 登米市の人口特性 .....          | 4  |
| 1.2 施設の分布状況 .....           | 7  |
| 1.3 移動実態 .....              | 11 |
| 2. 公共交通の現状に関する整理.....       | 19 |
| 2.1 市民バス .....              | 19 |
| 2.2 住民バス .....              | 29 |
| 2.3 デマンド型乗合タクシー .....       | 43 |
| 2.4 鉄道・BRT .....            | 50 |
| 2.5 高速バス .....              | 53 |
| 3. 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査..... | 54 |
| 3.1 市民アンケート調査 .....         | 54 |
| 3.2 高校生アンケート調査 .....        | 65 |
| 3.3 市民バス利用実態調査 .....        | 69 |
| 3.4 J R 駅利用実態調査 .....       | 71 |
| 3.5 交通事業者ヒアリング .....        | 73 |
| 3.6 コミュニティ組織ヒアリング .....     | 74 |
| 4. 地域公共交通に関する課題整理.....      | 76 |
| 4.1 現況の整理 .....             | 76 |
| 4.2 課題の整理 .....             | 78 |
| 5. 登米市地域公共交通計画（案） .....     | 79 |
| 5.1 基本理念と基本的な考え方 .....      | 79 |
| 5.2 基本方針と施策の方向性 .....       | 82 |
| 5.3 取組施策の概要（検討中） .....      | 84 |
| 5.4 目標達成に向けたマネジメント .....    | 84 |

---

---

---

---

## 0. はじめに

### 0.1 計画の目的

登米市（以下、「本市」という。）では、市内の移動については登米市市民バス（以下、「市民バス」という。）、各地域における移動については登米市住民バス（以下、「住民バス」という。）、及びデマンド型乗合タクシーによる地域交通が展開され、通院や買い物、通学等の市民生活を支える移動手段の確保に取り組んでいます。

令和元（2019）年 12 月には、本市における一体的な公共交通ネットワークの構築のため、「登米市地域公共交通再編計画」を策定し、公共交通の再編を実施しました。また、公共交通を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、公共交通の充実・強化を図ることで、市民生活の利便性が確保され、市全体が持続的に発展する「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの実現のため、令和 5（2023）年 1 月に「第二次登米市地域公共交通再編計画」を策定しました。

しかし、人口減少や少子高齢化の進展に伴う利用者の減少、ライフスタイルの変化等の社会を取り巻く環境や公共交通の担い手の不足等、地域公共交通を取り巻く環境は厳しい状況におかれています。

本計画は、これまでの取り組みや今後のまちづくりの動向を踏まえつつ、地域のニーズとこれに対応する輸送資源の双方の状況を鑑み、地域の公共交通の将来像（ビジョン）を描くとともに、多様な関係者の連携・協働による取組を推進していくことを目的とします。

### 0.2 計画の区域

本計画の区域は、登米市全域とします。ただし、市民の移動実態を視野に入れ、周辺自治体等と連携した取組も検討します。

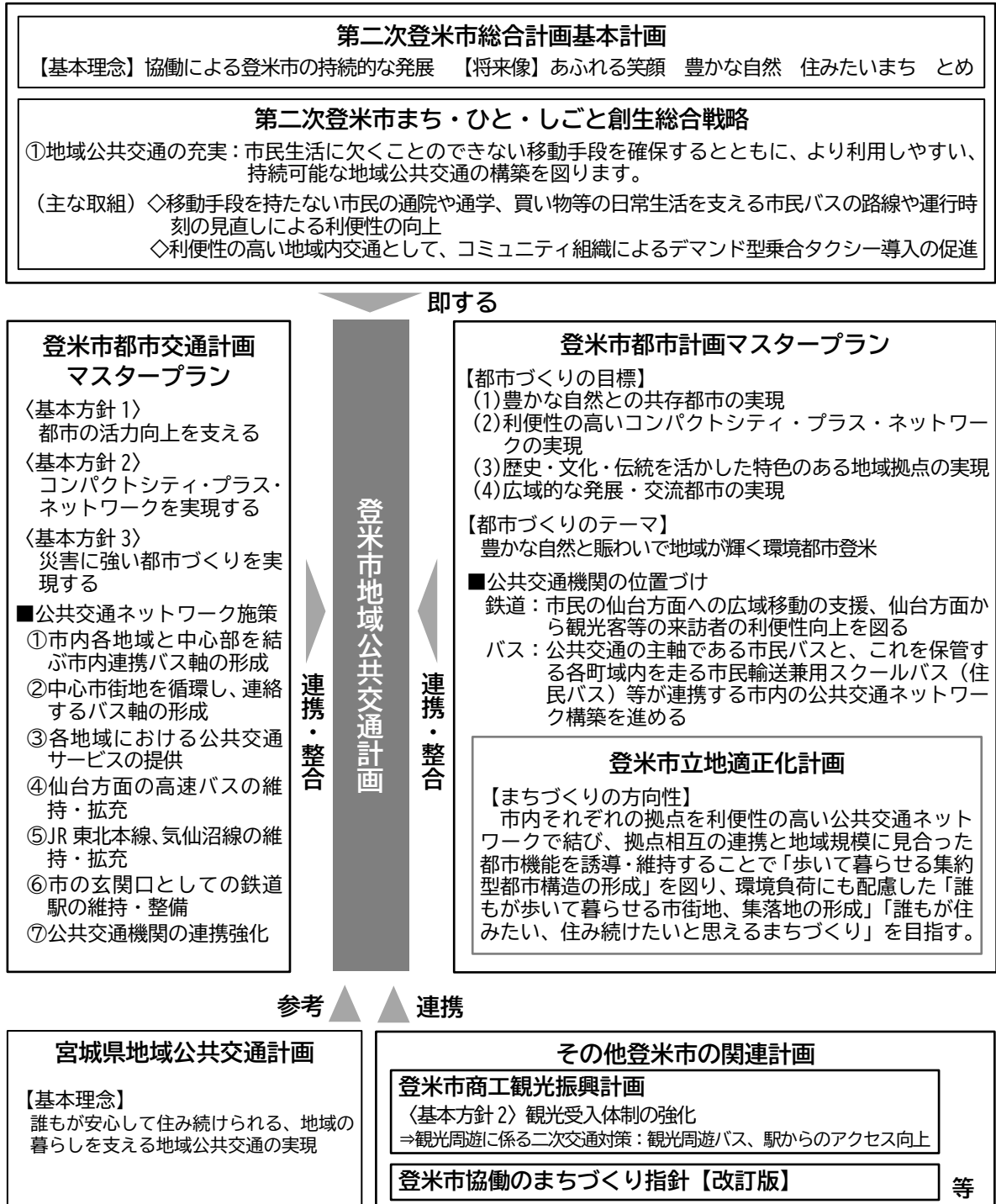
### 0.3 計画の期間

本計画の期間は、令和 7（2025）年度から令和 11（2029）年度までの 5 年間とします。

## 0.4 上位・関連計画等と計画の位置づけ

登米市地域公共交通計画は、本市のまちづくりの総合指針である「第二次登米市総合計画基本計画（令和2（2020）年12月改定）」「第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3（2021）年3月）」を上位計画とし、まちづくり施策と一体的かつ効果的に交通施策を推進するため、「登米市都市交通計画マスタープラン（令和元（2019）年11月改定）」「登米市立地適正化計画（令和5（2023）年12月）」と整合・連携を図るとともに、各種関連計画と連携を図ることとします。

### ■地域公共交通計画の位置づけ



## ■登米市都市交通計画マスタープランにおける公共交通ネットワーク計画



資料：登米市都市交通計画マスタープラン（令和元年11月改定）

## 1. 登米市の地域概況の整理

地域公共交通に関する基礎データとして、本市における人口特性及び主要施設等の分布状況について整理します。また、移動特性として目的別の人口流動状況や主な移動手段、運転免許保有状況等について把握します。

### 1.1 登米市の人口特性

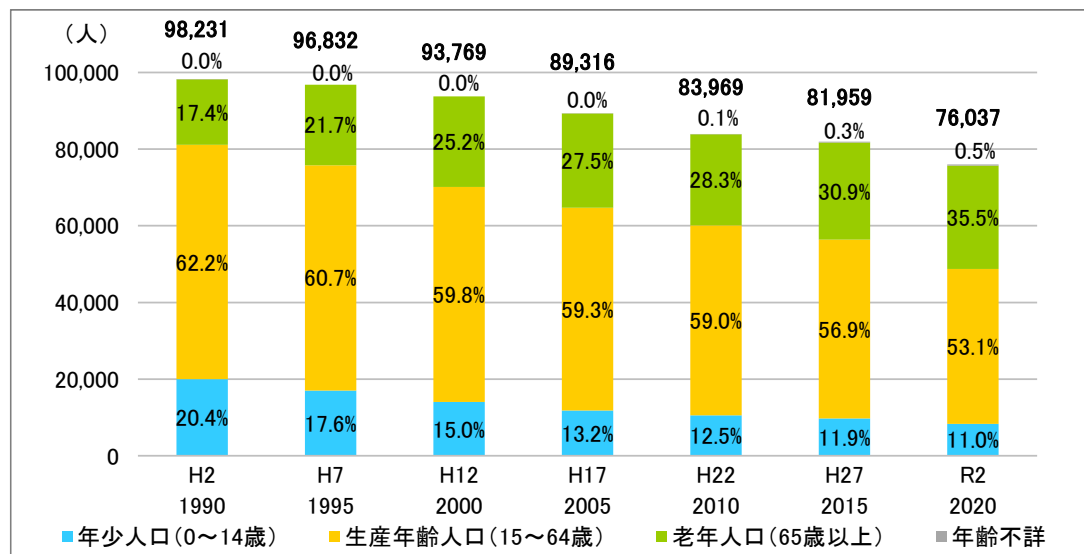
#### (1) 人口推移

○平成以降の本市の人口は減少傾向にあり、平成2(1990)年の98,231人から令和2(2020)年の76,037人までの30年間で22,194人減少しています。

○平成2(1990)年と令和2(2020)年の年齢構成割合をみると、年少人口は20.4%から11.0%へ、生産年齢人口は62.2%から53.1%へ減少している一方、老年人口は17.4%から35.5%へ増加しており、少子高齢化が進行しています。

○平成以降の各地域における人口の推移をみると、すべての地域で人口が減少しています。特に、登米地域、東和地域、米山地域、石越地域、津山地域においては、全市平均以上の減少となっています。

#### ■登米市の人口の推移



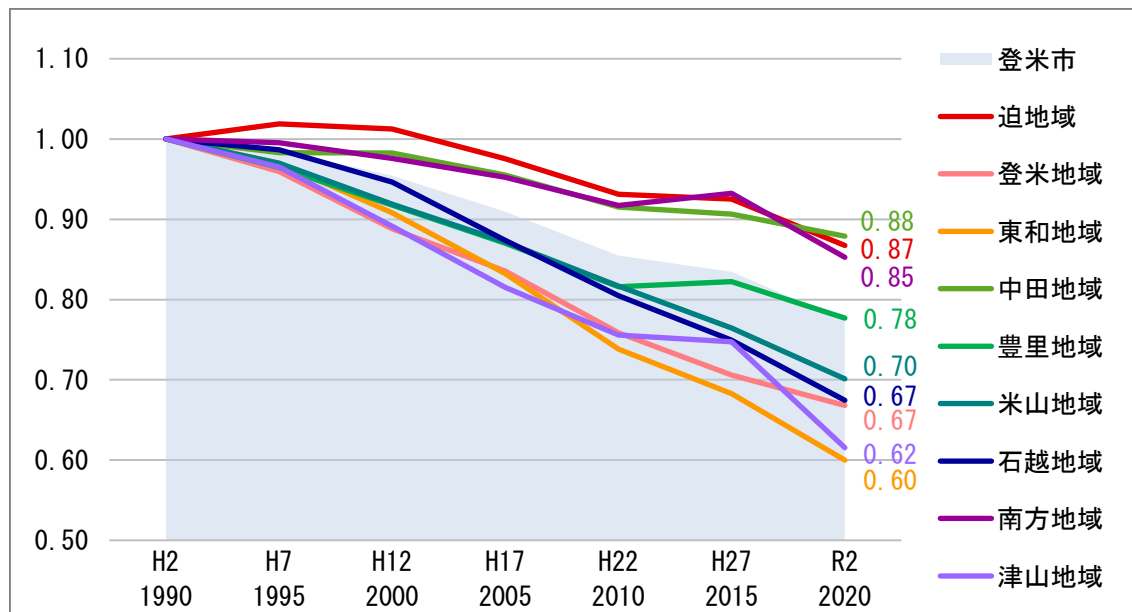
単位: 人

|                | H2<br>1990 | H7<br>1995 | H12<br>2000 | H17<br>2005 | H22<br>2010 | H27<br>2015 | R2<br>2020 |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 年少人口(0～14歳)    | 20,010     | 17,030     | 14,023      | 11,797      | 10,530      | 9,726       | 8,332      |
| 割合             | 20.4%      | 17.6%      | 15.0%       | 13.2%       | 12.5%       | 11.9%       | 11.0%      |
| 生産年齢人口(15～64歳) | 61,084     | 58,762     | 56,098      | 52,937      | 49,569      | 46,668      | 40,399     |
| 割合             | 62.2%      | 60.7%      | 59.8%       | 59.3%       | 59.0%       | 56.9%       | 53.1%      |
| 老年人口(65歳以上)    | 17,136     | 21,040     | 23,648      | 24,579      | 23,762      | 25,315      | 26,956     |
| 割合             | 17.4%      | 21.7%      | 25.2%       | 27.5%       | 28.3%       | 30.9%       | 35.5%      |
| 年齢不詳           | 1          | 0          | 0           | 3           | 108         | 250         | 350        |
| 割合             | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%        | 0.0%        | 0.1%        | 0.3%        | 0.5%       |
| 総人口            | 98,231     | 96,832     | 93,769      | 89,316      | 83,969      | 81,959      | 76,037     |
| 割合             | 100.0%     | 100.0%     | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%     |

※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合がある。

資料：国勢調査（各年）

■各地域の人口の推移(H2=1.00)



|      | 各地域の人口(人)  |            |             |             |             |             |            |
|------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
|      | H2<br>1990 | H7<br>1995 | H12<br>2000 | H17<br>2005 | H22<br>2010 | H27<br>2015 | R2<br>2020 |
| 登米市  | 98,231     | 96,832     | 93,769      | 89,316      | 83,969      | 81,959      | 76,037     |
| 迫地域  | 22,756     | 23,183     | 23,040      | 22,197      | 21,185      | 21,056      | 19,741     |
| 登米地域 | 6,782      | 6,507      | 6,024       | 5,665       | 5,144       | 4,788       | 4,532      |
| 東和地域 | 9,601      | 9,311      | 8,718       | 7,992       | 7,086       | 6,557       | 5,760      |
| 中田地域 | 17,341     | 17,043     | 17,035      | 16,559      | 15,868      | 15,721      | 15,243     |
| 豊里地域 | 8,152      | 7,863      | 7,480       | 7,093       | 6,651       | 6,704       | 6,332      |
| 米山地域 | 12,159     | 11,793     | 11,170      | 10,601      | 9,932       | 9,295       | 8,528      |
| 石越地域 | 6,804      | 6,713      | 6,438       | 5,944       | 5,475       | 5,100       | 4,588      |
| 南方地域 | 9,721      | 9,676      | 9,484       | 9,258       | 8,914       | 9,064       | 8,288      |
| 津山地域 | 4,915      | 4,743      | 4,380       | 4,007       | 3,714       | 3,674       | 3,025      |

|      | 各地域の人口(H2の人口を1.00とした場合の変化率) |            |             |             |             |             |            |
|------|-----------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
|      | H2<br>1990                  | H7<br>1995 | H12<br>2000 | H17<br>2005 | H22<br>2010 | H27<br>2015 | R2<br>2020 |
| 登米市  | 1.00                        | 0.99       | 0.95        | 0.91        | 0.85        | 0.83        | 0.77       |
| 迫地域  | 1.00                        | 1.02       | 1.01        | 0.98        | 0.93        | 0.93        | 0.87       |
| 登米地域 | 1.00                        | 0.96       | 0.89        | 0.84        | 0.76        | 0.71        | 0.67       |
| 東和地域 | 1.00                        | 0.97       | 0.91        | 0.83        | 0.74        | 0.68        | 0.60       |
| 中田地域 | 1.00                        | 0.98       | 0.98        | 0.95        | 0.92        | 0.91        | 0.88       |
| 豊里地域 | 1.00                        | 0.96       | 0.92        | 0.87        | 0.82        | 0.82        | 0.78       |
| 米山地域 | 1.00                        | 0.97       | 0.92        | 0.87        | 0.82        | 0.76        | 0.70       |
| 石越地域 | 1.00                        | 0.99       | 0.95        | 0.87        | 0.80        | 0.75        | 0.67       |
| 南方地域 | 1.00                        | 1.00       | 0.98        | 0.95        | 0.92        | 0.93        | 0.85       |
| 津山地域 | 1.00                        | 0.97       | 0.89        | 0.82        | 0.76        | 0.75        | 0.62       |

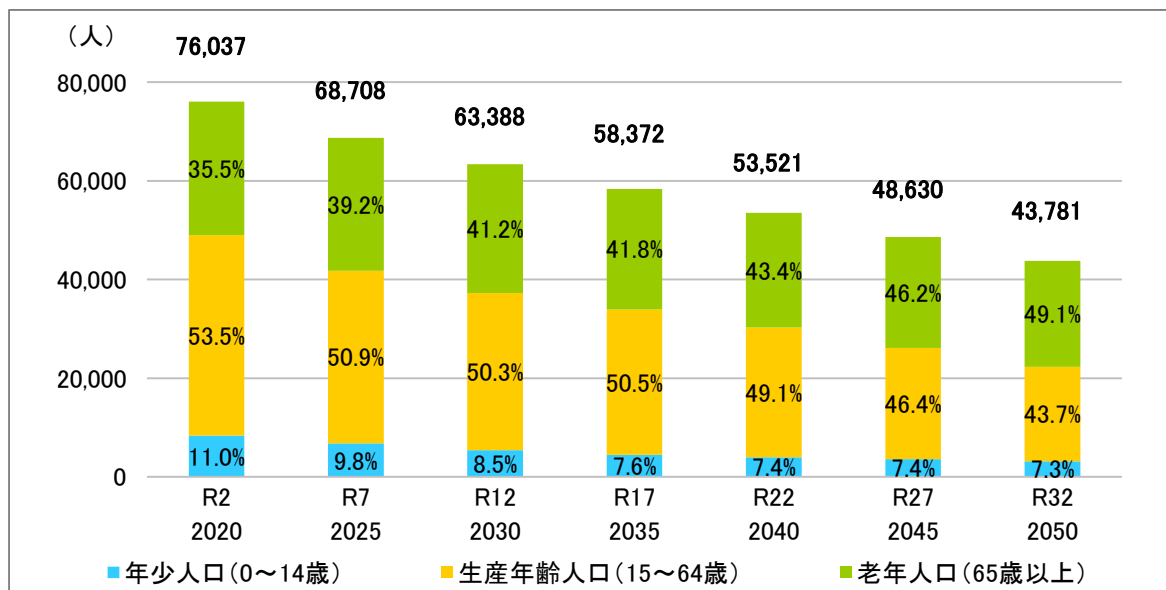
資料：国勢調査（各年）

## (2) 将来の人口推移

○国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は今後も減少が続き、さらに高齢化が進展していくことが見込まれています。

○年齢3区分では、令和32(2050)年に年少人口は3,182人(令和2(2020)年比で61.9%減)、生産年齢人口は19,115人(令和2(2020)年比で53.0%減)、老年人口は21,484人(令和2(2020)年比で20.5%減)まで減少することが見込まれています。

### ■登米市の総人口・年齢3区分別人口・高齢化率の将来推計



単位: 人

|                | R2<br>2020 | R7<br>2025 | R12<br>2030 | R17<br>2035 | R22<br>2040 | R27<br>2045 | R32<br>2050 |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年少人口(0～14歳)    | 8,348      | 6,765      | 5,410       | 4,451       | 3,969       | 3,593       | 3,182       |
| 割合             | 11.0%      | 9.8%       | 8.5%        | 7.6%        | 7.4%        | 7.4%        | 7.3%        |
| 生産年齢人口(15～64歳) | 40,666     | 35,000     | 31,863      | 29,493      | 26,299      | 22,556      | 19,115      |
| 割合             | 53.5%      | 50.9%      | 50.3%       | 50.5%       | 49.1%       | 46.4%       | 43.7%       |
| 老年人口(65歳以上)    | 27,023     | 26,943     | 26,114      | 24,426      | 23,254      | 22,480      | 21,484      |
| 割合             | 35.5%      | 39.2%      | 41.2%       | 41.8%       | 43.4%       | 46.2%       | 49.1%       |
| 総人口            | 76,037     | 68,708     | 63,388      | 58,372      | 53,521      | 48,630      | 43,781      |
| 割合             | 100.0%     | 100.0%     | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      |

※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合がある。

※令和2年は実績値、令和7年以降は推計値である。

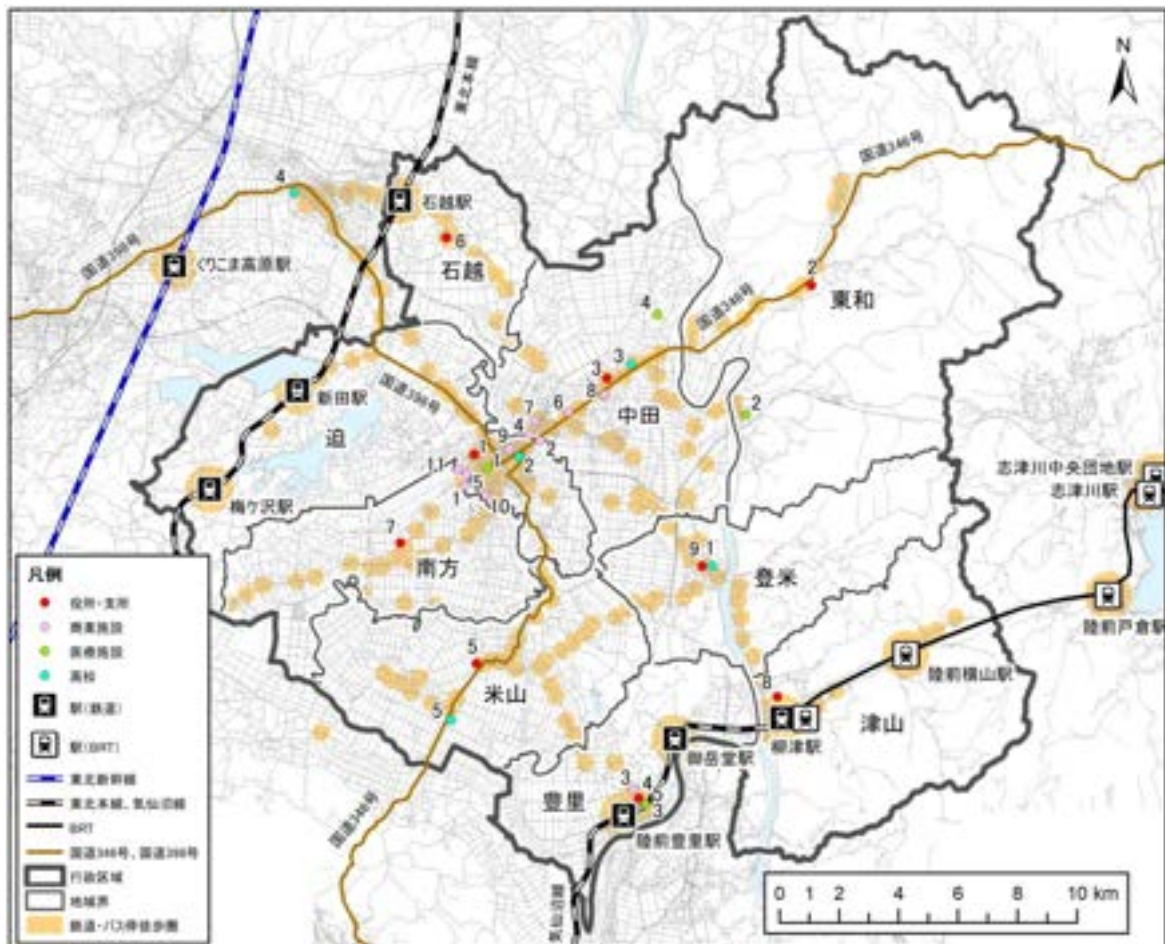
資料：令和2年国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）

## 1.2 施設の分布状況

### (1) 主要施設

- 登米市役所は、本庁舎が迫地域、分庁舎が中田・南方地域、総合支所が各地域に立地しています。
- 商業施設は、中心市街地を形成する迫地域や国道 346 号及び国道 398 号沿いに多く立地しています。
- 医療施設としては、地域の医療連携の中核を担う登米市民病院が迫地域に立地するほか、各地域には地域のかかりつけ医としての病院・診療所が立地しています。
- 高校は、市内に 4 校立地しており、徒歩圏に市民バスの停留所を設置しています。また、隣接する栗原市の迫桜高等学校に市民バスの停留所を設置しています。
- 一部の医療施設を除き、主要施設の多くは鉄道駅やバス停の徒歩圏※に含まれています。

### ■主要施設分布状況と鉄道駅・バス停徒歩圏の状況



※「都市構造の評価に関するハンドブック（平成26年8月）」（国土交通省）に基づき、鉄道駅の徒歩利用圏を800m、バス停の徒歩利用圏を300mと設定。

■主要施設と鉄道駅・バス停徒歩圏の状況

| 主要施設※1 | No. | 施設名称                     | 鉄道駅・バス停<br>徒歩圏※2 | 備考     |
|--------|-----|--------------------------|------------------|--------|
| 役所・支所  | 1   | 市役所迫庁舎・迫総合支所             | ○                |        |
|        | 2   | 登米総合支所                   | ○                |        |
|        | 3   | 東和総合支所                   | ○                |        |
|        | 4   | 市役所中田庁舎・中田総合支所           | ○                |        |
|        | 5   | 豊里総合支所                   | ○                |        |
|        | 6   | 米山総合支所                   | ○                |        |
|        | 7   | 石越総合支所                   | ○                |        |
|        | 8   | 市役所南方庁舎・南方総合支所           | ○                |        |
|        | 9   | 津山総合支所                   | ○                |        |
| 商業施設   | 1   | イオンタウン佐沼                 | ○                |        |
|        | 2   | みやぎ生協加賀野店                | ○                |        |
|        | 3   | ツルハドラッグ登米豊里店             | ○                |        |
|        | 4   | ツルハドラッグ登米加賀野店            | ○                |        |
|        | 5   | コメリパワー佐沼店、ケーズデンキ佐沼店      | ○                |        |
|        | 6   | ヨークベニマル登米中田店             | ○                |        |
|        | 7   | 薬王堂登米加賀野店                | ○                |        |
|        | 8   | ウジェスーパー中田店               | ○                |        |
|        | 9   | ウジェスーパー佐沼本店              | ○                |        |
|        | 10  | デイリーポート新鮮館佐沼店            | ○                |        |
|        | 11  | マルホンカウボーイ佐沼店、セリア・ユニクロ佐沼店 | ○                |        |
| 医療施設   | 1   | 登米市民病院                   | ○                |        |
|        | 2   | 米谷病院                     | ○                |        |
|        | 3   | 豊里病院                     | ○                |        |
|        | 4   | 上沼診療所                    | —                |        |
| 高校     | 1   | 登米高等学校                   | ○                |        |
|        | 2   | 佐沼高等学校                   | ○                |        |
|        | 3   | 登米総合産業高等学校               | ○                |        |
|        | 4   | 迫桜高等学校                   | ○                | 栗原市に立地 |
|        | 5   | 飛鳥未来きずな高等学校登米本校          | ○                |        |

※1 「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き 実践編（令和5（2023）年10月）」（国土交通省）を踏まえ「役所・支所」「商業施設」「医療施設」、また、本市のバス利用特性から「高校」を主要施設として設定した。

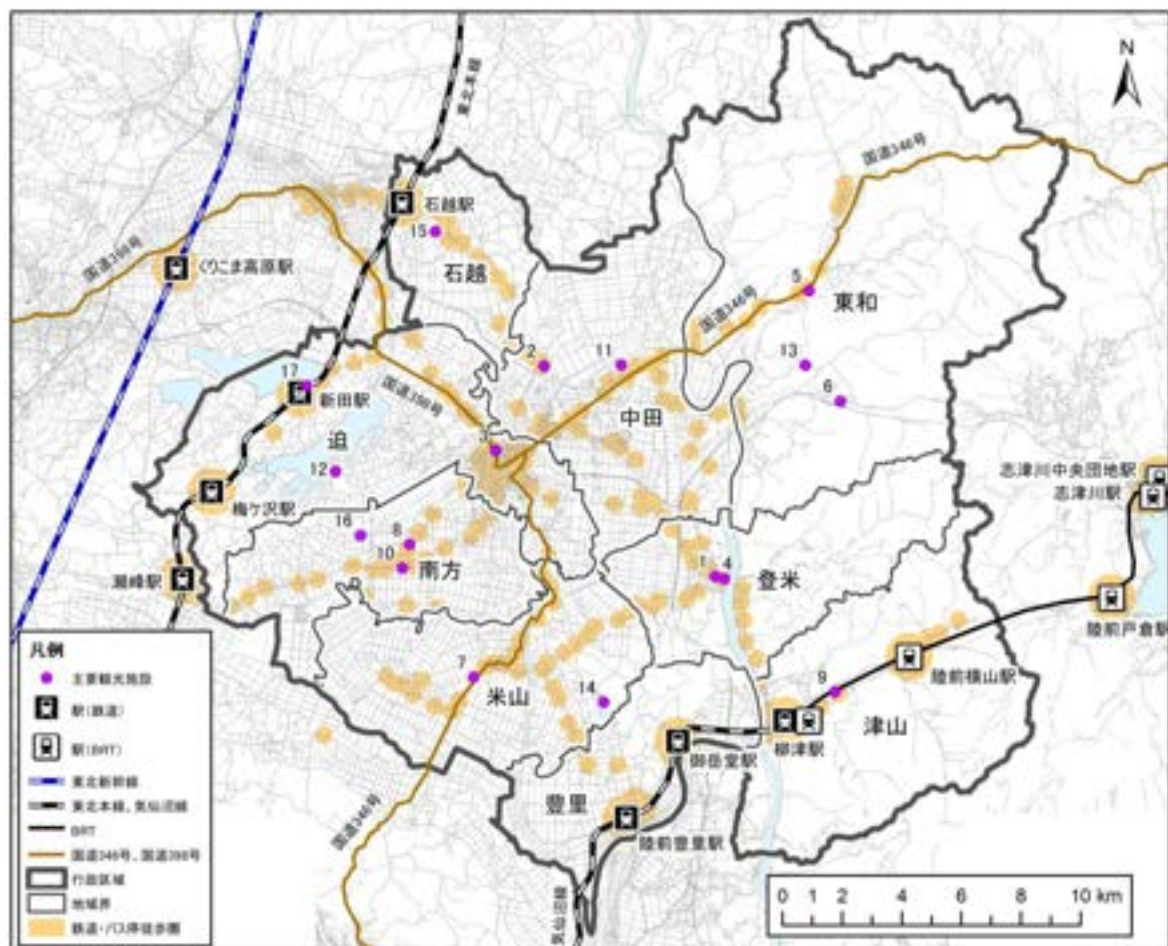
※2 「都市構造の評価に関するハンドブック（平成26年8月）」（国土交通省）に基づき、鉄道駅の徒歩利用圏を800m、バス停の徒歩利用圏を300mと設定。

資料：大規模小売店舗立地法に基づく届出

## (2) 主要観光施設

○主要観光施設は市内全域に点在しています。文化・歴史分野の施設では、みやぎの明治村や石ノ森章太郎ふるさと記念館等が、自然分野の施設では、登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターが鉄道駅やバス停の徒歩圏に含まれています。

### ■主要観光施設分布図と鉄道駅・バス停徒歩圏の状況



※「都市構造の評価に関するハンドブック（平成26年8月）」（国土交通省）に基づき、鉄道駅の徒歩利用圏を800m、バス停の徒歩利用圏を300mと設定。

# ■主要観光施設一覧表

| 分野          | No. | 施設名称                 | 鉄道駅・バス停<br>徒歩圏※ |
|-------------|-----|----------------------|-----------------|
| 文化・歴史<br>分野 | 1   | みやぎの明治村              | ○               |
|             | 2   | 石ノ森章太郎ふるさと記念館        | ○               |
|             | 3   | 登米市歴史博物館             | ○               |
|             | 4   | とよま観光物産センター          | ○               |
|             | 5   | 道の駅 林林館（森の茶屋）        | ○               |
|             | 6   | 道の駅 三滝堂              | －               |
|             | 7   | 道の駅 米山（ふる里センターY.Y）   | ○               |
|             | 8   | 道の駅 みなみかた（もっこのり）     | ○               |
|             | 9   | 道の駅 津山（もくもくランド）      | ○               |
|             | 10  | 南方歴史民俗資料館            | ○               |
|             | 11  | サトル・サトウ・アート・ミュージアム   | －               |
| 自然分野        | 12  | 長沼フートピア公園            | －               |
|             | 13  | 大関川河川公園（三滝堂ふれあい公園）   | －               |
|             | 14  | 平筒沼ふれあい公園            | －               |
|             | 15  | 石越高森公園（チャチャワールドいしこし） | －               |
|             | 16  | 南方花菖蒲の郷公園            | －               |
|             | 17  | 登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター | ○               |

※「都市構造の評価に関するハンドブック（平成26年8月）」（国土交通省）に基づき、鉄道駅の徒歩利用圏を800m、バス停の徒歩利用圏を300mと設定。

資料：No. 10～11及び17は登米市調べ、

上記以外の施設は「登米市商工観光振興計画 中間見直し版」（令和3年3月公表）

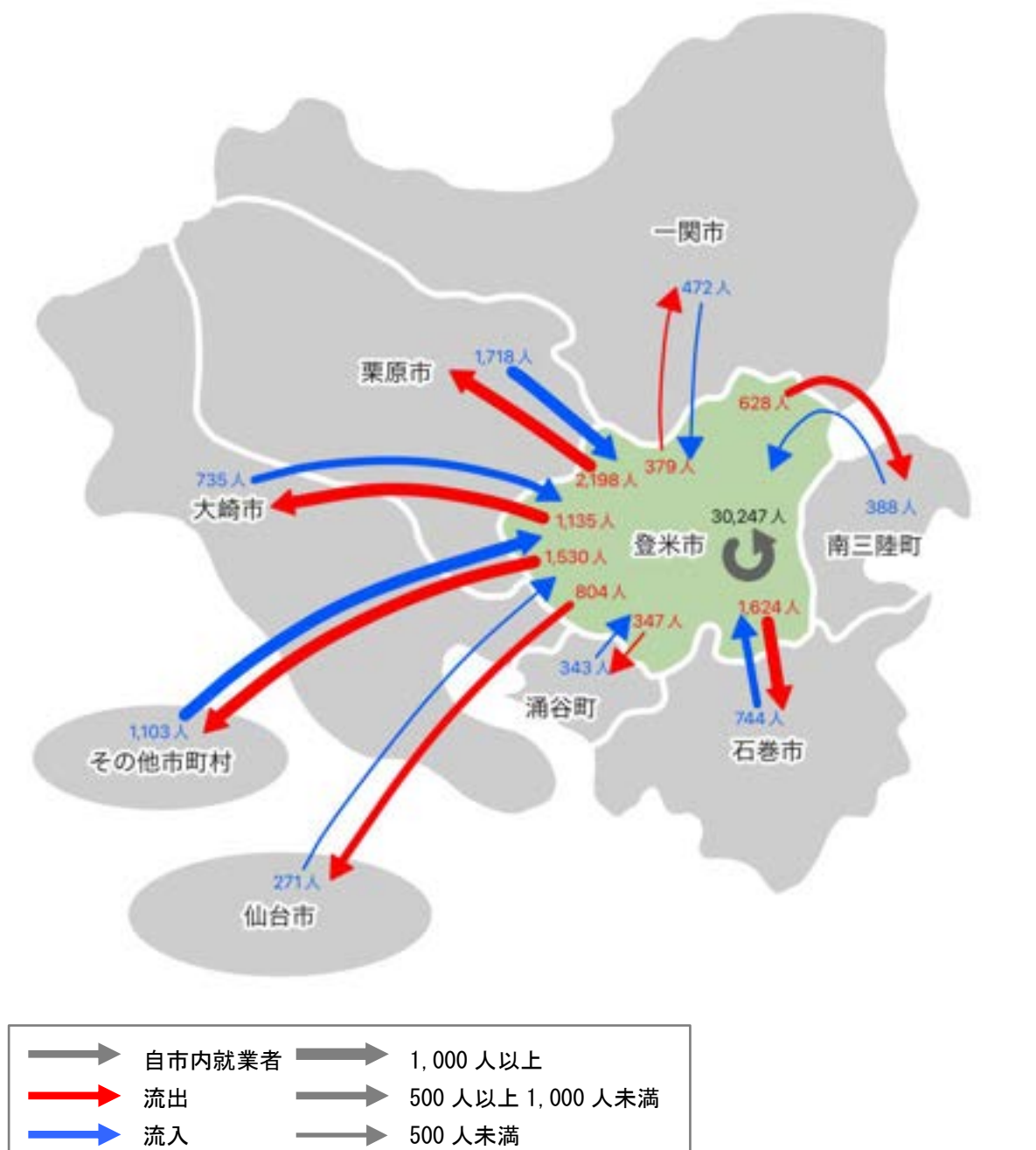
## 1.3 移動実態

### (1) 市町村間流動

#### ① 通勤に関する流動

○本市を居住地とする15歳以上の就業者38,892人のうち、30,247人(77.8%)が本市を従業地としており、他市町村を従業地とする人(流出)は8,645人(22.2%)です。本市を従業地とする36,021人のうち、他市町村を居住地とする人(流入)は5,774人(16.0%)です。

#### ■登米市の通勤流動



## ② 通学に関する流動

○本市を居住地とする 15 歳以上の通学者 2,846 人のうち、1,800 人（63.2%）が市内に通学しており、他市町村に通学している人（流出）は 1,046 人（36.8%）です。

本市を通学先とする 2,049 人のうち、他市町村を居住とする人（流入）は 249 人（12.2%）です。

### ■登米市の通学流動



資料：令和 2 年国勢調査

---

## (2) 市内間流動

○18 歳以上の市民を対象とした「登米市の公共交通に関する市民アンケート※」調査結果では、通院、買い物及び通勤・通学のいずれの目的においても、他地域から中心市街地を形成し、主要施設が多く立地する迫地域への移動が多くなっています。

○このほか、通院、買い物においては、東和地域から中田地域への移動割合が多くなっています。

○地区内の移動が多く見られる地域として、迫地域や登米地域（通勤・通学除く）、東和地域（買い物除く）、中田地域、豊里地域、米山地域（通院除く）が挙げられます。また、市外への移動が多く見られる地域として、豊里地域や石越地域、津山地域が挙げられます。

※アンケート調査については、「3. 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査」で詳述。

n=697

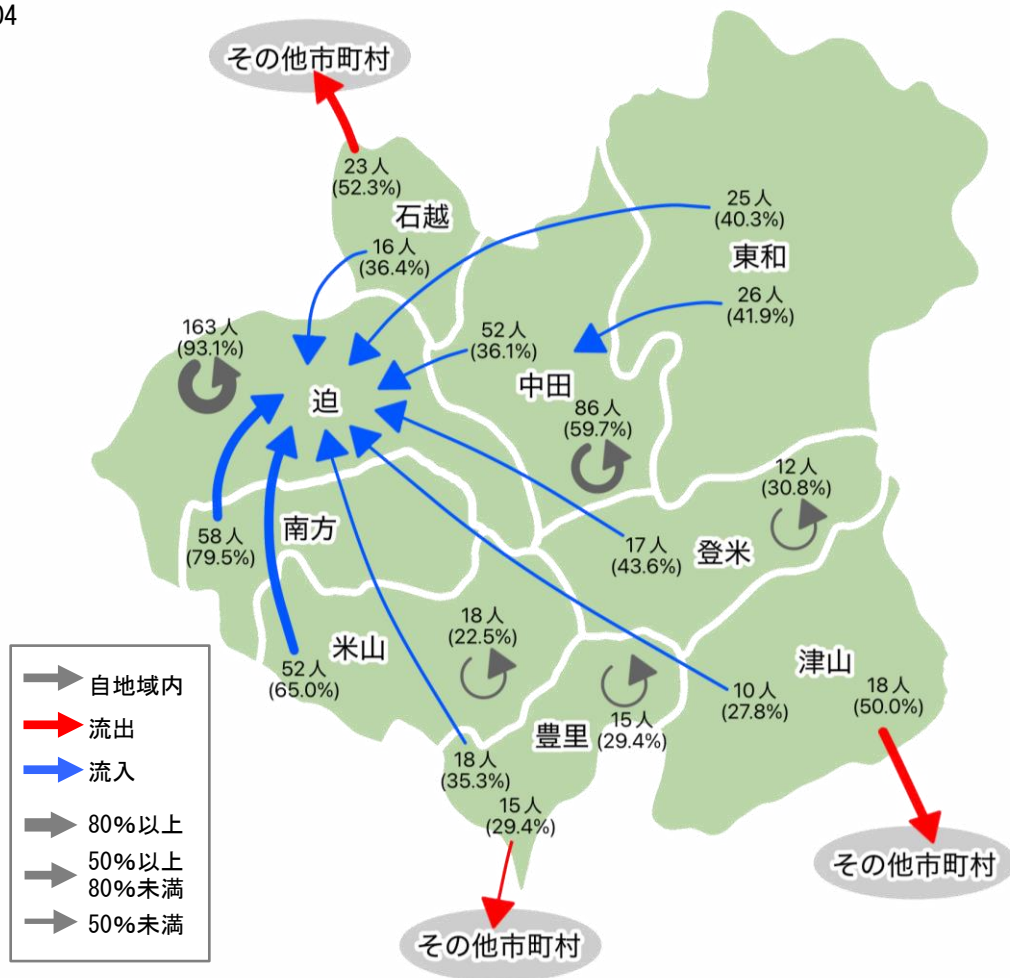


※20%以上の流動を図化。

資料：登米市の公共交通に関する市民アンケート（令和6（2024）年7月）

## ■登米市内各地域の買い物流動

n=704



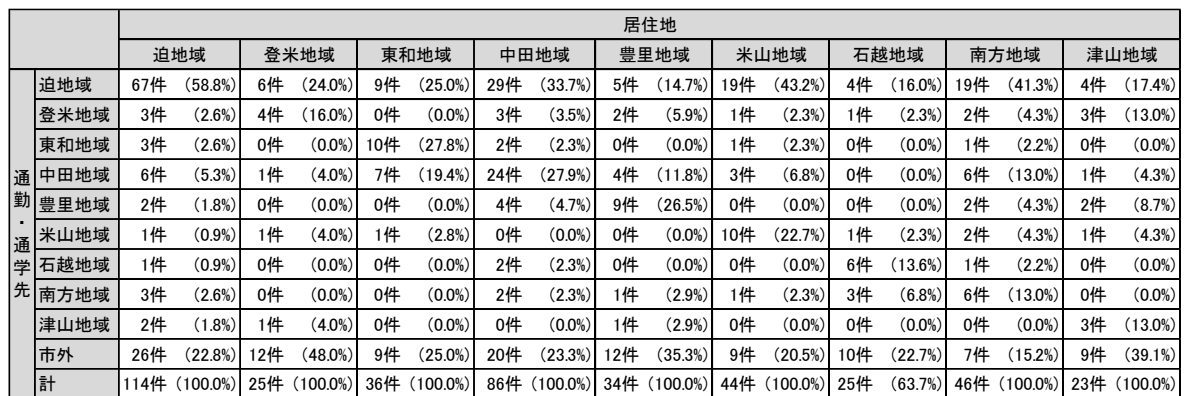
|      |      | 居住地           |              |              |               |              |              |              |              |              |  |
|------|------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--|
|      |      | 迫地域           | 登米地域         | 東和地域         | 中田地域          | 豊里地域         | 米山地域         | 石越地域         | 南方地域         | 津山地域         |  |
| 買い物先 | 迫地域  | 163件 (93.1%)  | 17件 (43.6%)  | 25件 (40.3%)  | 52件 (36.1%)   | 18件 (35.3%)  | 52件 (65.0%)  | 16件 (36.4%)  | 58件 (79.5%)  | 10件 (27.8%)  |  |
|      | 登米地域 | 0件 (0.0%)     | 12件 (30.8%)  | 2件 (3.2%)    | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 1件 (2.3%)    | 1件 (1.4%)    | 2件 (5.6%)    |  |
|      | 東和地域 | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 3件 (4.8%)    | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 1件 (1.3%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    |  |
|      | 中田地域 | 0件 (0.0%)     | 4件 (10.3%)   | 26件 (41.9%)  | 86件 (59.7%)   | 1件 (2.0%)    | 0件 (0.0%)    | 3件 (6.8%)    | 0件 (0.0%)    | 3件 (8.3%)    |  |
|      | 豊里地域 | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 1件 (1.6%)    | 0件 (0.0%)     | 15件 (29.4%)  | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 1件 (2.8%)    |  |
|      | 米山地域 | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 18件 (22.5%)  | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    |  |
|      | 石越地域 | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 1件 (2.3%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    |  |
|      | 南方地域 | 0件 (0.0%)     | 2件 (5.1%)    | 0件 (0.0%)    | 2件 (1.4%)     | 2件 (3.9%)    | 2件 (2.5%)    | 0件 (0.0%)    | 7件 (9.6%)    | 1件 (2.8%)    |  |
|      | 津山地域 | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)     | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 0件 (0.0%)    | 1件 (2.8%)    |  |
|      | 市外   | 12件 (6.9%)    | 4件 (10.3%)   | 5件 (8.1%)    | 4件 (2.8%)     | 15件 (29.4%)  | 7件 (8.8%)    | 23件 (52.3%)  | 7件 (9.6%)    | 18件 (50.0%)  |  |
| 計    |      | 175件 (100.0%) | 39件 (100.0%) | 62件 (100.0%) | 144件 (100.0%) | 51件 (100.0%) | 80件 (100.0%) | 44件 (100.0%) | 73件 (100.0%) | 36件 (100.0%) |  |

※図中の割合は、各地域における流動割合を示す。

※20%以上の流動を図化。

資料：登米市の公共交通に関する市民アンケート（令和6（2024）年7月）

n=433



※18 歳未満の就業者及び学生の流動は含まれない。

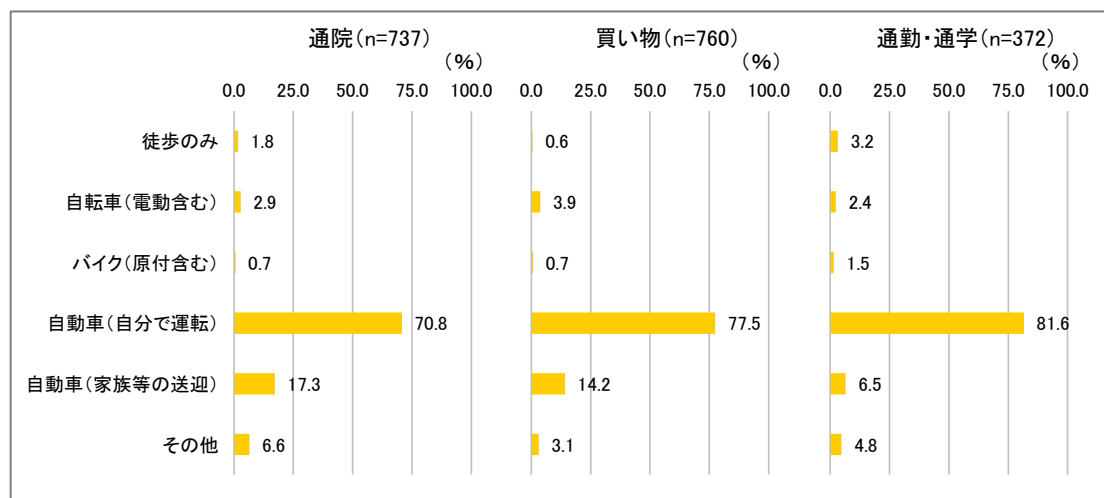
16

### (3) 移動手段

- 通院、買い物、通勤・通学といった日常生活における移動手段は、いずれも「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。
- なお、本市における運転免許証保有率は、令和5（2023）年12月末時点で53,882人であり、このうち65歳以上75歳未満の保有者は12,692人、75歳以上の保有者は6,200人であり、65歳以上75歳未満の人口の92.3%、75歳以上人口の45.4%が免許証保有者となっています。
- 本市では加齢による身体機能や判断力の低下等により運転に不安を抱える人の支援を行うため、運転免許自主返納支援事業※（以下、「支援事業という。」）を実施していますが、運転免許証返納数は、令和元（2019）年をピークに減少傾向にあります。
- 運転免許返納者による支援事業申請者数は、令和2（2020）年から令和3（2021）年にかけて大きく減少しましたが、その後はゆるやかな増加傾向にあり、令和5（2023）年では21人となっています。

※運転免許自主返納支援事業：平成20（2008）年4月1日以降に運転免許を自主返納した人を対象に、代替交通手段として市民バスの1年間無料乗車券「あしがるくん」を交付するとともに、感謝状贈呈を行っている。

#### ■外出する際の主な移動手段（主なもの2つまで選択）



※18歳未満の就業者及び学生の移動手段は含まれない。

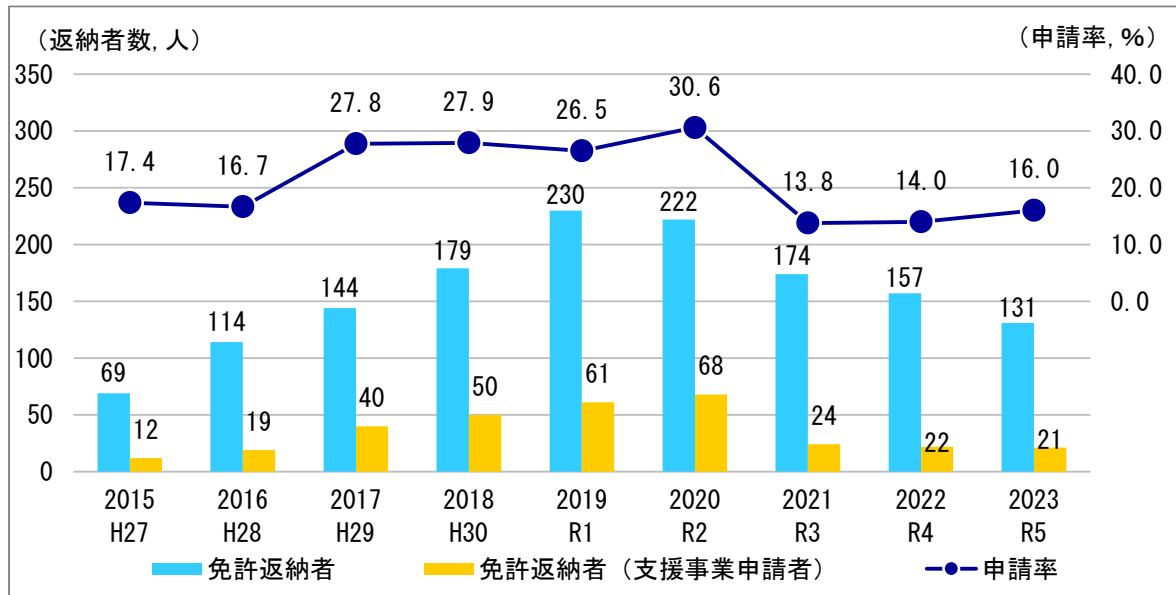
資料：登米市の公共交通に関する市民アンケート（令和6（2024）年7月）

## ■運転免許証保有者数（令和5(2023)年12月末現在）

|                              | 16歳以上              | 65歳以上75歳未満         | 75歳以上             |
|------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 人口                           | 65,206人            | 13,757人            | 13,666人           |
| 運転免許証保有者<br>(人口に対する運転免許証保有率) | 53,882人<br>(82.6%) | 12,692人<br>(92.3%) | 6,200人<br>(45.4%) |

資料：宮城県警運転免許人口統計（令和5年）

## ■運転免許証返納者及び支援事業申請者数の推移



単位: 人

|           | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 免許返納者     | 69          | 114         | 144         | 179         | 230        | 222        | 174        | 157        | 131        |
| うち支援事業申請者 | 12          | 19          | 40          | 50          | 61         | 68         | 24         | 22         | 21         |
| 申請率       | 17.4%       | 16.7%       | 27.8%       | 27.9%       | 26.5%      | 30.6%      | 13.8%      | 14.0%      | 16.0%      |

資料：登米市市民生活部資料をもとに作成

## 2. 公共交通の現状に関する整理

### 2.1 市民バス

#### (1) 運行内容

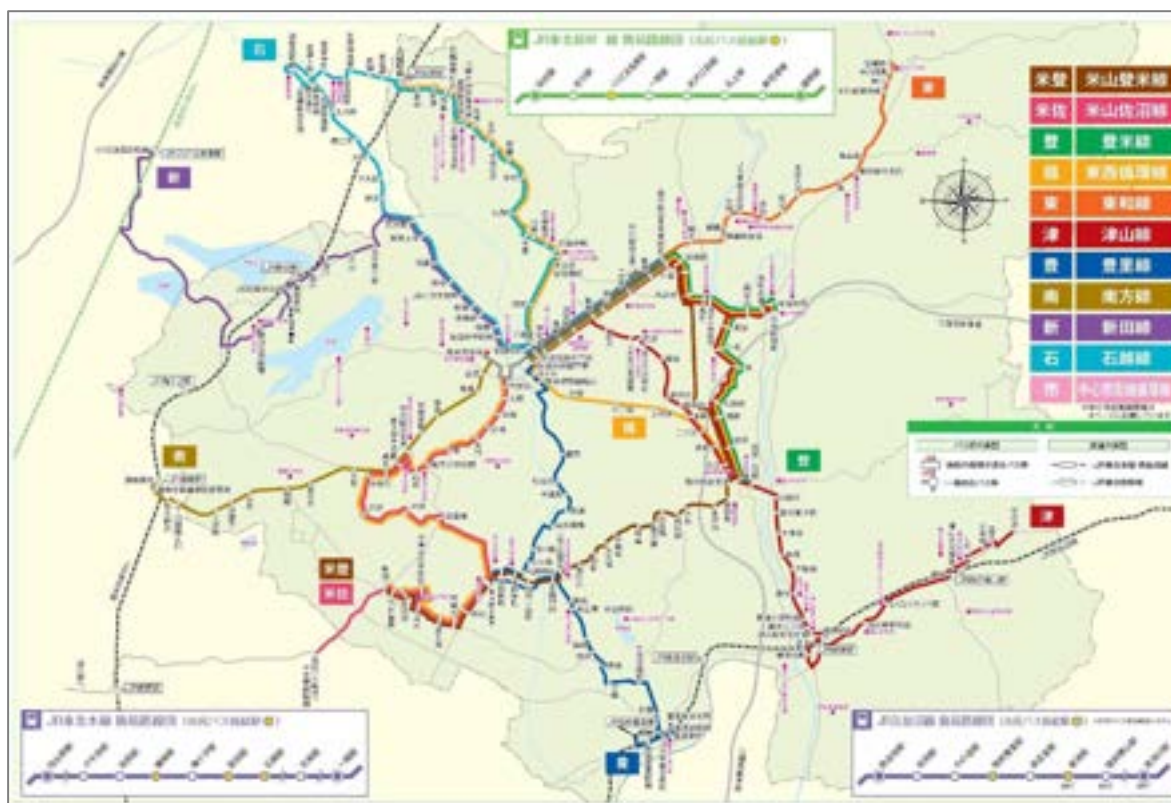
○市民バスは、平成 19（2007）年 4 月 1 日から本格運行を開始し、令和 6（2024）年 4 月 1 日現在で、11 路線 27 系統（平日 87 便・休日 54 便）で運行しています。

○令和 6（2024）年 4 月 1 日から運賃を 1 乗車 100 円から 200 円に見直す等の改定を行っています。

■市民バスの運賃表（令和 6 年 4 月 1 日現在）

| 区分         |              |      | 金額       |
|------------|--------------|------|----------|
| 大人         | 中学生以上 75 歳未満 |      | 200 円    |
|            | 75 歳以上       |      | 100 円    |
| 子ども（小学生以下） |              |      | 無料       |
| 障がい者       |              |      | 無料       |
| フリーパス      | 学生           | 1 ヶ月 | 6,400 円  |
|            |              | 3 ヶ月 | 18,000 円 |
|            |              | 6 ヶ月 | 33,600 円 |
|            | 一般           | 1 ヶ月 | 7,200 円  |
|            |              | 3 ヶ月 | 21,600 円 |
|            |              | 6 ヶ月 | 43,200 円 |

■市民バスの運行ルート（令和 6 年 4 月 1 日現在）（1/2）



■市民バスの運行（令和6年4月1日現在）（2/2）



■市民バスの運行状況（令和6年4月1日現在）

| No. | 路線名          | 便数               | 起終点                                                                                                                                            |
|-----|--------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 米山登米線        | 平日：4便<br>休日：2便   | 町田<br>～登米総合産業高校前                                                                                                                               |
| 2   | 米山佐沼線        | 平日：8便<br>休日：4便   | 町田（一部長根（大崎市））<br>～ミヤコーバス佐沼営業所（一部佐沼高校正門前）                                                                                                       |
| 3   | 登米線          | 平日：8便<br>休日：7便   | 登米三日町<br>～ミヤコーバス佐沼営業所                                                                                                                          |
| 4   | 東西循環線        | 平日：6便<br>休日：3便   | 西回り循環線<br>ミヤコーバス佐沼営業所（一部石越駅前）～登米総合支所<br>～中田総合支所～ミヤコーバス佐沼営業所<br>東回り循環線<br>ミヤコーバス佐沼営業所（一部町田）～中田総合支所<br>～登米総合支所～ミヤコーバス佐沼営業所（一部登米総合支所）             |
| 5   | 東和線          | 平日：10便<br>休日：7便  | 若草園<br>～ミヤコーバス佐沼営業所                                                                                                                            |
| 6   | 津山線          | 平日：8便<br>休日：6便   | 竹の沢<br>～ミヤコーバス佐沼営業所                                                                                                                            |
| 7   | 豊里線          | 平日：8便<br>休日：5便   | 豊里総合支所<br>～ミヤコーバス佐沼営業所（一部登米総合産業高校前）                                                                                                            |
| 8   | 南方線          | 平日：11便<br>休日：6便  | 瀬峰駅前<br>～佐沼高校正門前（一部登米総合産業高校前）                                                                                                                  |
| 9   | 新田線          | 平日：9便<br>休日：5便   | 新田公民館前（一部くりこま高原駅前）<br>～ミヤコーバス佐沼営業所（一部登米総合産業高校前）                                                                                                |
| 10  | 石越線          | 平日：11便<br>休日：5便  | 北方經由石森方面<br>迫桜高校前（一部ミヤコーバス佐沼営業所）～佐沼高校北<br>～ミヤコーバス佐沼営業所（一部登米総合産業高校前）<br>石森經由北方方面<br>ミヤコーバス佐沼営業所（一部登米総合産業高校前）<br>～佐沼高校北<br>～迫桜高校前（一部ミヤコーバス佐沼営業所） |
| 11  | 中心市街地<br>循環線 | 平日：4便<br>休日：4便   | 登米市役所～登米合庁前<br>～佐沼高校前～登米市役所                                                                                                                    |
| 計   |              | 平日：87便<br>休日：54便 |                                                                                                                                                |

---

## (2) 利用者の推移

○米山登米線、米山佐沼線、豊里線、新田線の令和 5（2023）年度の利用者は、大幅な路線の再編を行った平成 27（2015）年度の利用者より増加しています。また、中心市街地循環線の利用者においても、運行が開始した令和 2（2020）年度より増加傾向にあります。一方で、登米線、東西循環線、東和線、津山線、南方線、石越線の令和 5（2023）年度の利用者は、平成 27（2015）年度の利用者より減少しています。

○各路線の利用者の推移は以下の通りです。

### 【米山登米線】

令和 5（2023）年度の利用者は 14,877 人で、平成 27（2015）年度の 8,528 人から 1.74 倍となっています。

### 【米山佐沼線】

令和 5（2023）年度の利用者は 11,666 人で、平成 27（2015）年度の 10,337 人から 1.13 倍となっています。

### 【登米線】

令和 5（2023）年度の利用者は 18,245 人で、平成 27（2015）年度の 26,858 人から 0.68 倍となっています。

### 【東西循環線】

令和 5（2023）年度の利用者は 25,982 人で、平成 27（2015）年度の 38,990 人から 0.67 倍となっています。

### 【東和線】

令和 5（2023）年度の利用者は 26,856 人で、平成 27（2015）年度の 38,540 人から 0.70 倍となっています。

### 【津山線】

令和 5（2023）年度の利用者は 22,848 人で、平成 27（2015）年度の 36,408 人から 0.63 倍となっています。

### 【豊里線】

令和 5（2023）年度の利用者は 29,282 人で、平成 27（2015）年度の 28,222 人から 1.04 倍となっています。

### 【南方線】

令和 5（2023）年度の利用者は 34,038 人で、平成 27（2015）年度の 41,778 人から 0.81 倍となっています。

### 【新田線】

令和 5（2023）年度の利用者は 20,359 人で、平成 27（2015）年度の 16,225 人から 1.25 倍となっています。

### 【石越線】

令和 5（2023）年度の利用者は 43,852 人で、平成 27（2015）年度の 60,756 人から 0.72 倍となっています。

### 【中心市街地循環線】

令和 5（2023）年度の利用者は 9,324 人で、運行が開始した令和 2（2020）年度の 4,957 人から 1.88 倍となっています。

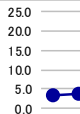
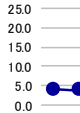
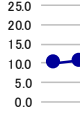
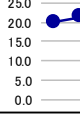
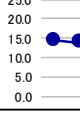
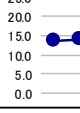
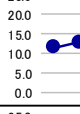
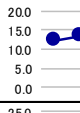
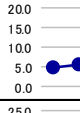
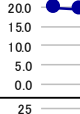
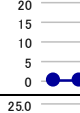
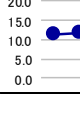
## ■市民バス利用者の推移

単位：人

| 路線       | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 | 推移(H27=1.00)<br>※中心市街地循環線R2=1.00 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------------------------------|
| 米山登米線    | 8,528       | 9,250       | 13,125      | 12,659      | 13,058     | 10,377     | 15,178     | 15,524     | 14,877     |                                  |
| 米山佐沼線    | 10,337      | 9,711       | 9,833       | 11,120      | 12,843     | 9,191      | 8,961      | 10,434     | 11,666     |                                  |
| 登米線      | 26,858      | 28,445      | 29,832      | 28,844      | 25,279     | 12,132     | 13,495     | 12,641     | 18,245     |                                  |
| 東西循環線    | 38,990      | 41,472      | 40,358      | 41,438      | 38,324     | 28,329     | 27,613     | 26,244     | 25,982     |                                  |
| 東和線      | 38,540      | 37,165      | 37,336      | 35,800      | 38,727     | 28,449     | 28,061     | 27,926     | 26,856     |                                  |
| 津山線      | 36,408      | 37,153      | 35,604      | 39,395      | 38,727     | 31,186     | 27,207     | 28,469     | 22,848     |                                  |
| 豊里線      | 28,222      | 31,269      | 32,495      | 30,537      | 31,424     | 25,521     | 25,201     | 25,478     | 29,282     |                                  |
| 南方線      | 41,778      | 45,814      | 47,608      | 42,641      | 41,893     | 30,936     | 29,562     | 29,153     | 34,038     |                                  |
| 新田線      | 16,225      | 18,779      | 20,544      | 23,410      | 25,249     | 20,805     | 22,140     | 20,575     | 20,359     |                                  |
| 石越線      | 60,756      | 58,797      | 63,110      | 64,374      | 58,712     | 47,176     | 47,714     | 50,963     | 43,852     |                                  |
| 中心市街地循環線 | -           | -           | -           | -           | -          | 4,957      | 7,083      | 7,736      | 9,324      |                                  |
| 計        | 306,642     | 317,855     | 329,845     | 330,218     | 324,236    | 249,059    | 252,215    | 255,143    | 257,329    |                                  |

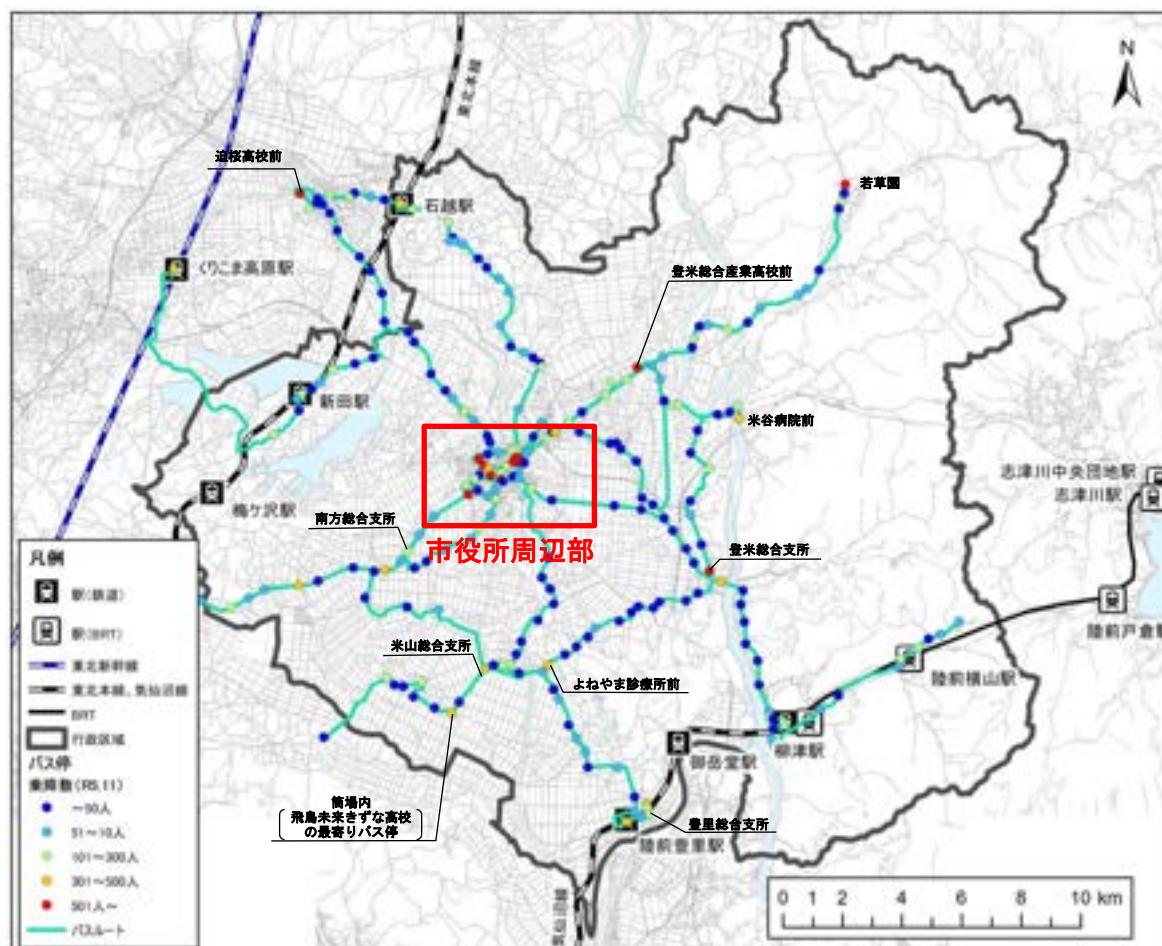
## ■市民バス 1 便あたりの利用者の推移

単位: 人/便

| 路線名      | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 | 推移                                                                                    |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 米山登米線    | 3.3         | 3.6         | 5.1         | 5.0         | 5.1        | 8.5        | 12.5       | 12.8       | 12.2       |    |
| 米山佐沼線    | 4.0         | 3.8         | 3.8         | 4.4         | 5.0        | 4.7        | 4.6        | 5.4        | 4.8        |    |
| 登米線      | 10.0        | 10.6        | 11.2        | 10.8        | 9.5        | 5.3        | 5.9        | 5.5        | 6.5        |    |
| 東西循環線    | 20.0        | 21.3        | 20.7        | 21.3        | 19.7       | 15.6       | 15.2       | 14.4       | 14.2       |    |
| 東和線      | 14.3        | 13.9        | 13.9        | 13.4        | 14.4       | 9.0        | 8.9        | 8.8        | 8.2        |    |
| 津山線      | 13.5        | 13.9        | 13.3        | 14.7        | 14.4       | 11.7       | 10.2       | 10.7       | 8.5        |   |
| 豊里線      | 11.5        | 12.8        | 13.3        | 12.5        | 12.9       | 10.5       | 10.4       | 10.5       | 11.5       |  |
| 南方線      | 12.2        | 13.4        | 14.0        | 12.5        | 12.3       | 9.1        | 8.7        | 8.6        | 10.0       |  |
| 新田線      | 4.7         | 5.5         | 6.0         | 6.4         | 6.9        | 7.8        | 8.3        | 7.7        | 7.3        |  |
| 石越線      | 19.9        | 19.3        | 20.7        | 21.1        | 19.3       | 14.4       | 14.6       | 15.5       | 13.4       |  |
| 中心市街地循環線 | -           | -           | -           | -           | -          | 3.4        | 4.9        | 5.3        | 6.4        |  |
| 計        | 11.2        | 11.6        | 12.0        | 11.9        | 12.0       | 9.5        | 9.6        | 9.7        | 9.3        |  |

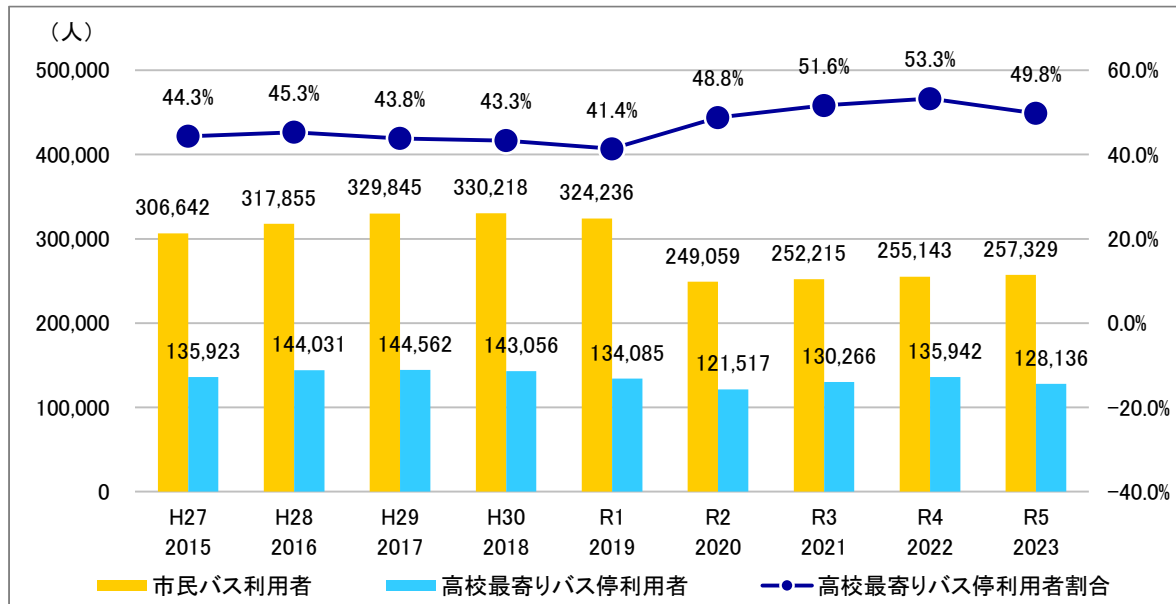
- バス停別乗降者数をみると、市役所周辺部で乗降者が多く見られます。
- このほか、各地域の支所や高校、病院、鉄道駅（JR 東北本線\_石越駅、JR 気仙沼線\_陸前豊里駅、東北新幹線\_くりこま高原駅）、障がい者活動センター等に停車するバス停についても、乗降者が多くなっています。

# ■バス停別月間乗降者数（令和 5（2023）年 11 月）



○市民バス全体の利用者は、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元（2019）年以降、大きく減少（ $R2/R1 \div 0.77$ ）していますが、各高校の最寄りバス停利用者は市民バス全体と比べ利用者数の減少割合は小さくなっています（ $R2/R1 \div 0.91$ ）。

### ■高校最寄りバス停利用者割合



単位：人

|               | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 市民バス利用者       | 306,642     | 317,855     | 329,845     | 330,218     | 324,236    | 249,059    | 252,215    | 255,143    | 257,329    |
| 高校最寄りバス停利用者   | 135,923     | 144,031     | 144,562     | 143,056     | 134,085    | 121,517    | 130,266    | 135,942    | 128,136    |
| 高校最寄りバス停利用者割合 | 44.3%       | 45.3%       | 43.8%       | 43.3%       | 41.4%      | 48.8%      | 51.6%      | 53.3%      | 49.8%      |

※以下のバス停を高校最寄りバス停と設定する。

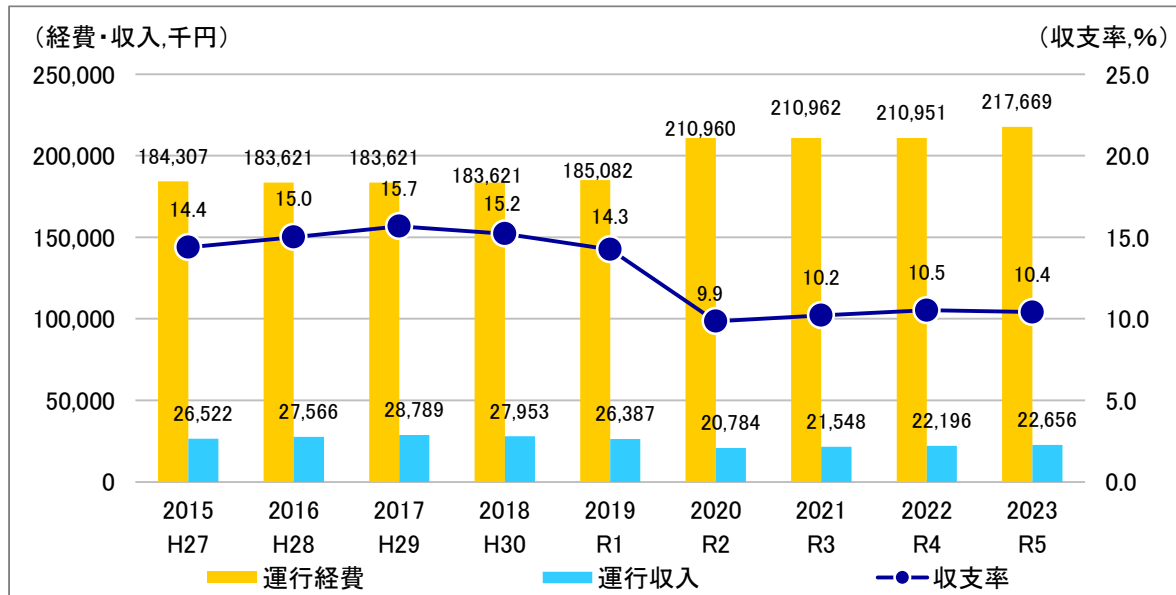
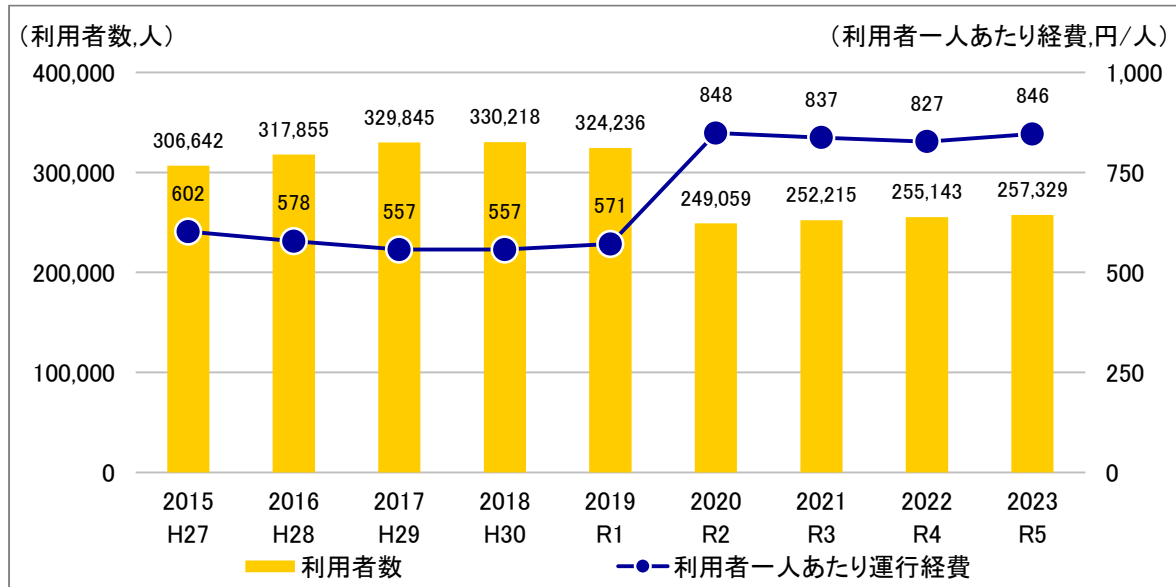
- －佐沼高校：佐沼高校正門前、佐沼高校西門前、佐沼高校北
- －登米高校：登米総合支所
- －登米総合産業高校：登米総合産業高校前
- －迫桜高校：迫桜高校前

---

### (3) 収支状況

- 運行経費は、大幅な路線の再編を行った平成27（2015）年度及び令和2（2020）年度に大きく増加しており、平成24（2012）年度と比較し、令和5（2023）年度の運行経費は1.51倍に増加しています。
- 一方、運行収入は、大幅な路線の再編を行った令和2（2020）年度に前年度から約22%減少し、その後は、増加傾向にありますが、令和2（2020）年度以前の収入より低い水準で推移しています。平成24（2012）年度と比較し、令和5（2023）年度の運行収入は10%減少しています。
- 収支率については、令和元（2019）年度までは15%程度で推移していましたが、令和2（2020）年度以降は、路線再編による運行経費の増加及び利用者数の減少による運行収入の減少に伴い、10%程度まで減少しています。

## ■市民バスの収支状況の推移



| 年度  |      | 利用者数<br>(人) | 運行経費<br>(千円) | 運行収入<br>(千円) | 収支率<br>(%) | 利用者一人<br>あたりの<br>運行経費<br>(円/人) |
|-----|------|-------------|--------------|--------------|------------|--------------------------------|
| H27 | 2015 | 306,642     | 184,307      | 26,522       | 14.4       | 602                            |
| H28 | 2016 | 317,855     | 183,621      | 27,566       | 15.0       | 578                            |
| H29 | 2017 | 329,845     | 183,621      | 28,789       | 15.7       | 557                            |
| H30 | 2018 | 330,218     | 183,621      | 27,953       | 15.2       | 557                            |
| R1  | 2019 | 324,236     | 185,082      | 26,387       | 14.3       | 571                            |
| R2  | 2020 | 249,059     | 210,960      | 20,784       | 9.9        | 848                            |
| R3  | 2021 | 252,215     | 210,962      | 21,548       | 10.2       | 837                            |
| R4  | 2022 | 255,143     | 210,951      | 22,196       | 10.5       | 827                            |
| R5  | 2023 | 257,329     | 217,669      | 22,656       | 10.4       | 846                            |

## 2.2 住民バス

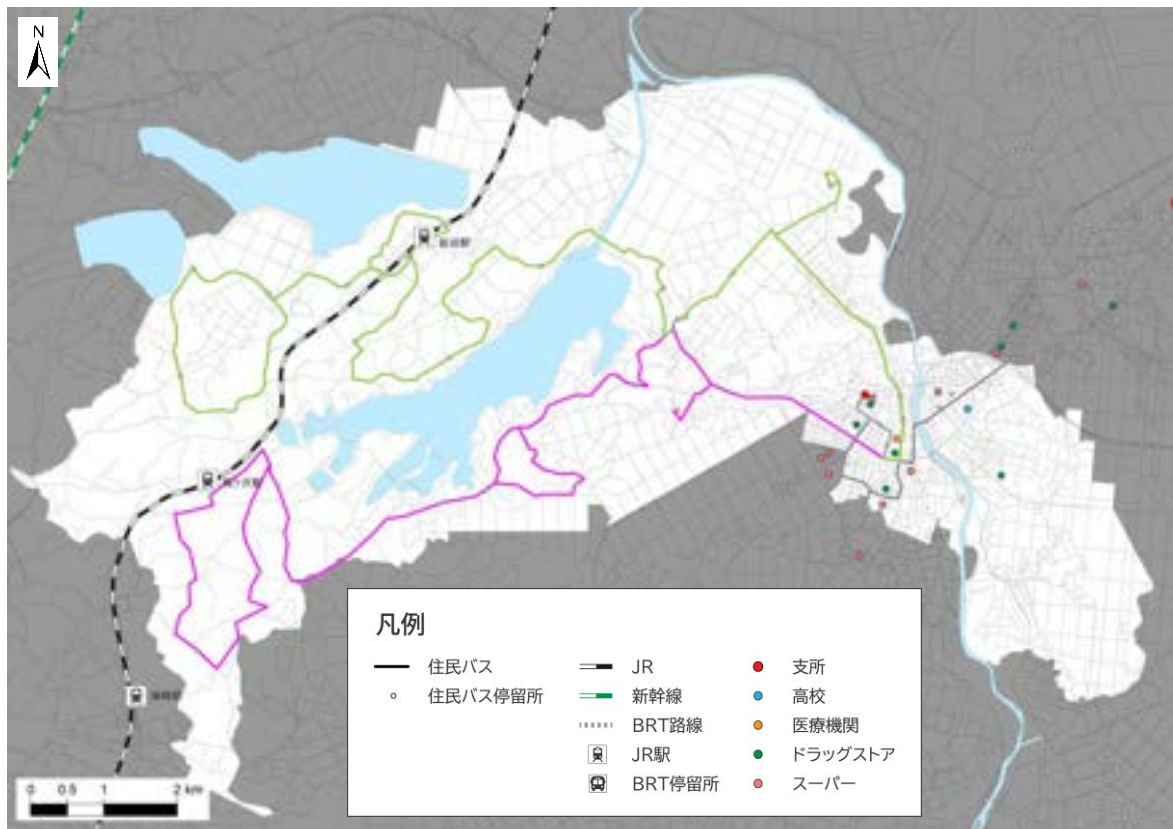
### (1) 運行内容

- 住民バスは、市民バスが運行していない地区の輸送サービスとして、主にスクールバスの空き時間帯を活用し運行されています。
- 運賃は無料で、一部エリアを除き、フリー乗降制（バス停留所以外でも路線上の任意の場所で乗降できる制度）を導入しています。

#### ① 迫地域

- デマンド型乗合タクシー（詳細は「2.3 デマンド型乗合タクシー」にて後述。）が運行している森地区を除いたエリアにおいて、「梅ヶ沢方面」「飯島・大形方面」の2路線で運行しています。
- 各路線ともに、平日3便の運行となっています。

### ■令和6年度運行路線図・運行内容（迫地域）



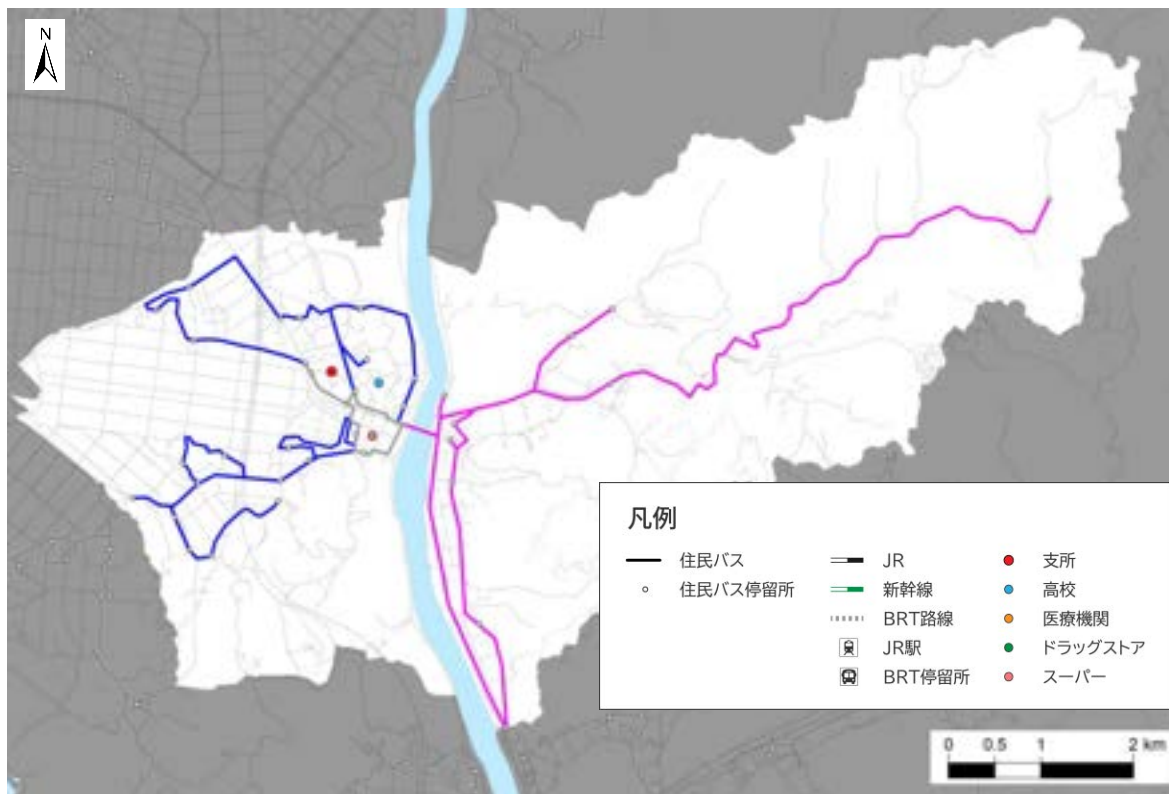
| 路線名等    | 便数    | 車両            | 主な経路                                        |
|---------|-------|---------------|---------------------------------------------|
| 梅ヶ沢方面   | 平日：3便 | 北方小<br>スクールバス | ・北方小学校～兵糧山入口～梅ヶ沢駅前～北方小学校<br>・登米市役所迫庁舎～北方小学校 |
| 飯島・大形方面 | 平日：3便 | 新田小<br>スクールバス | ・市役所～北方小～兵糧山入口～梅ヶ沢駅前                        |

※灰色のライン（—）は、すべての住民バスが重複している区間。

## ② 登米地域

- 「日根牛線」「日野渡線・小島線」の2路線で運行しています。
- 各路線ともに平日のみの運行となっており、日根牛線が1日3便、月曜日・火曜日の運行で、日野渡線・小島線が1日4便、水曜日から金曜日の運行となっています。

### ■令和6年度運行路線図・運行内容（登米地域）



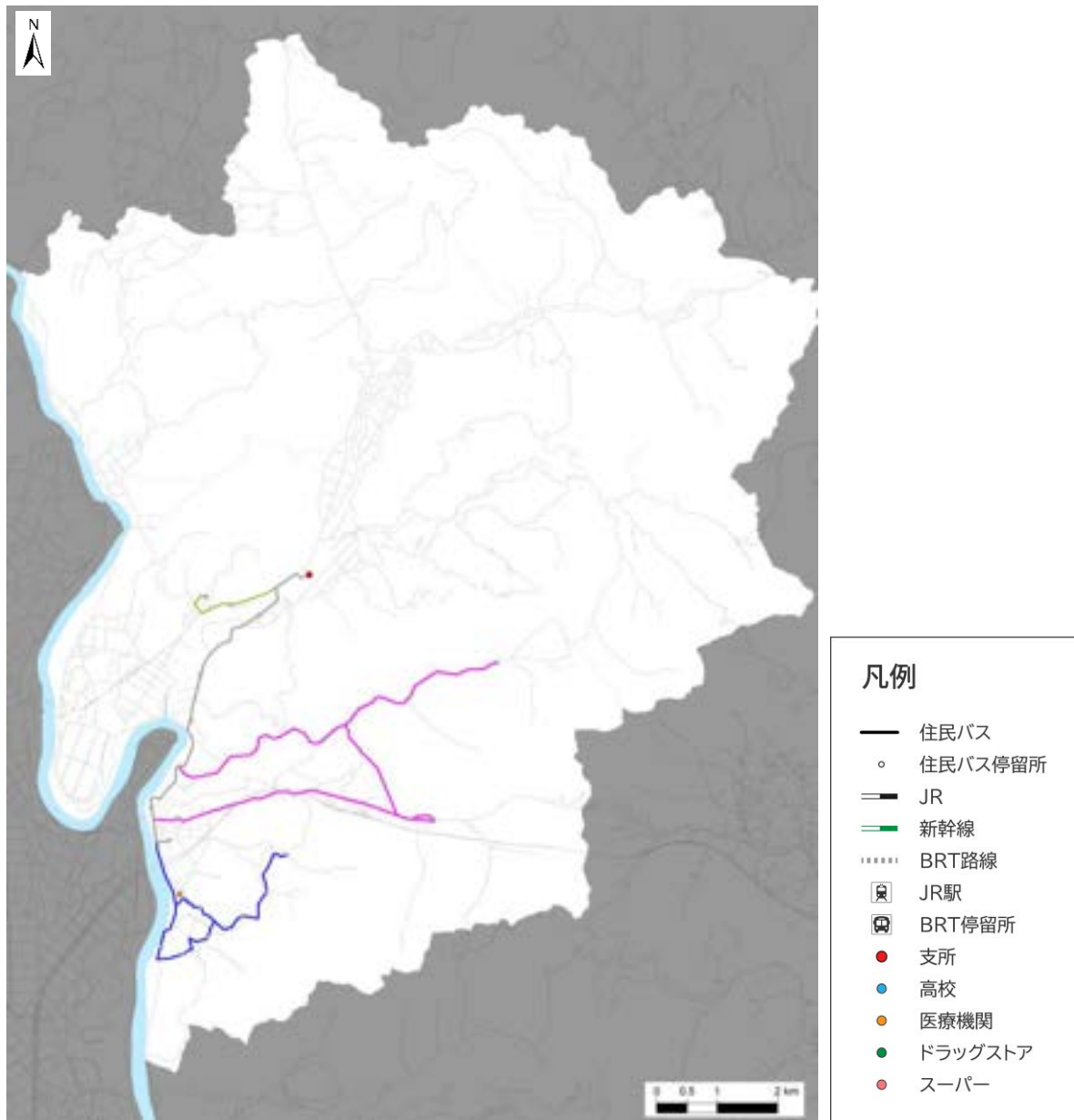
| 路線名等       | 便数              | 車両            | 主な経路                                                                                                                  |
|------------|-----------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| — 日根牛線     | 平日：3 便<br>月・火   | 登米小<br>スクールバス | <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽沢（馬鞍沢橋）～日根牛コミュニティセンター～小出医院前～登米総合支所</li> <li>・小出医院前～旧登米診療所前～登米総合支所</li> </ul> |
| — 日野渡線・小島線 | 平日：4 便<br>水・木・金 | 登米小<br>スクールバス | <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋江（揚水機場付近）～遠見台ごみ集積所前～登米総合支所</li> </ul>                                        |

※灰色のライン（—）は、すべての住民バスが重複している区間。

### ③ 東和地域

○米谷地区において、「米谷病院～東和総合支所」「楼台地区」「相川地区」の3路線で平日のみ運行していますが、デマンド型乗合タクシーの運行開始に伴い、令和7（2025）年度に全線廃止されました。

#### ■令和6年度運行路線図・運行内容（東和地域）



| 路線名等          | 便数           | 車両            | 主な経路                      |
|---------------|--------------|---------------|---------------------------|
| — 米谷病院～東和総合支所 | 平日：8便        | 米谷小<br>スクールバス | ・東和総合支所前～細野～米谷高校前～米谷病院    |
| — 楼台地区        | 平日：2便<br>火・金 | 東和<br>患者輸送バス  | ・新山停留所～楼台コミュニティセンター前～米谷病院 |
| — 相川地区        | 平日：2便<br>月・水 | 東和<br>患者輸送バス  | ・下相川停留所～平倉集会所前～米谷病院       |

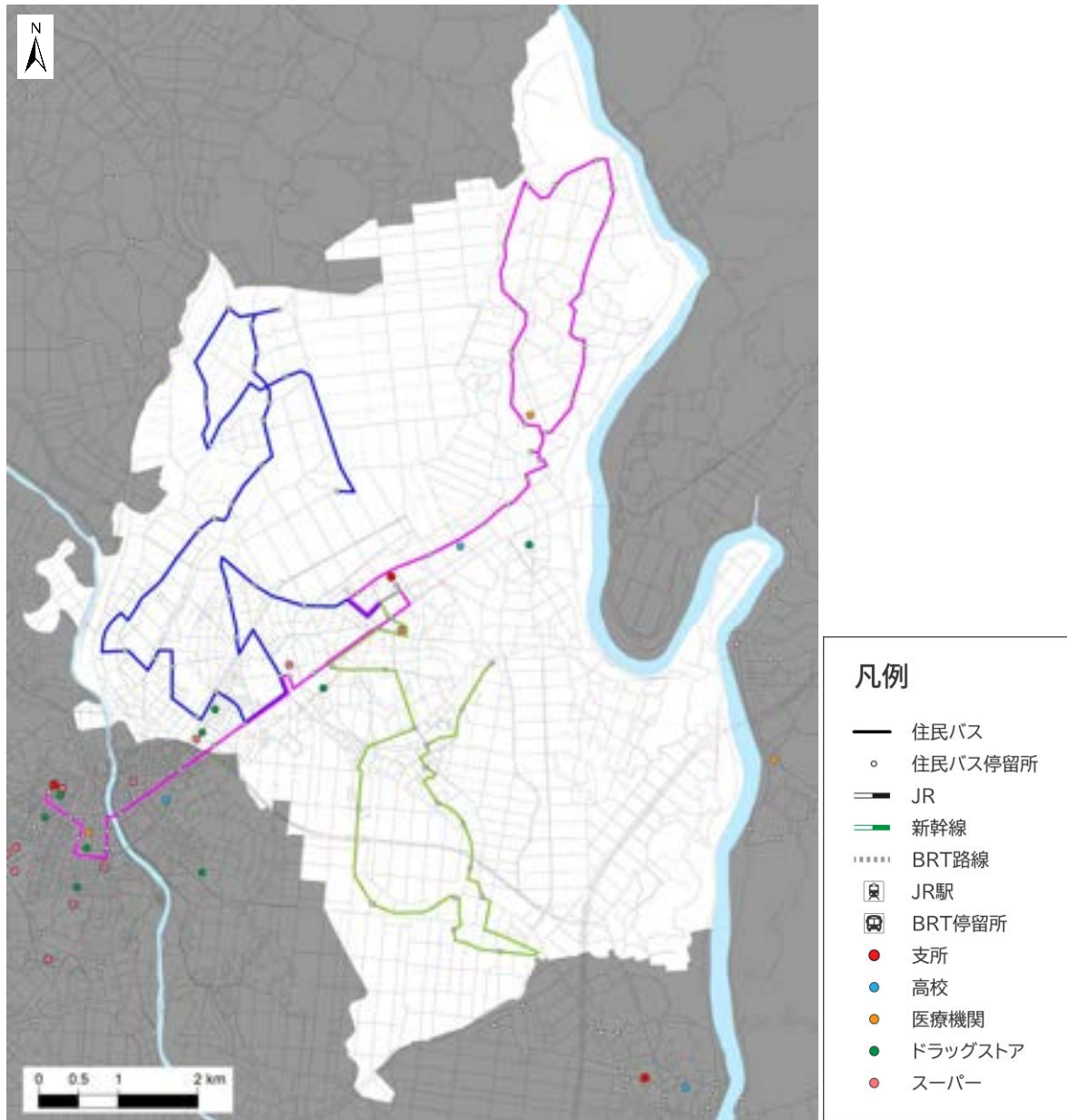
※灰色のライン（—）は、すべての住民バスが重複している区間。

#### ④ 中田地域

○「石森線」「上沼線」「宝江線」の3路線で運行しています（デマンド型乗合タクシーが運行している浅水地区を除く）。

○各路線ともに平日3便の運行となっています。

#### ■令和6年度運行路線図・運行内容（中田地域）



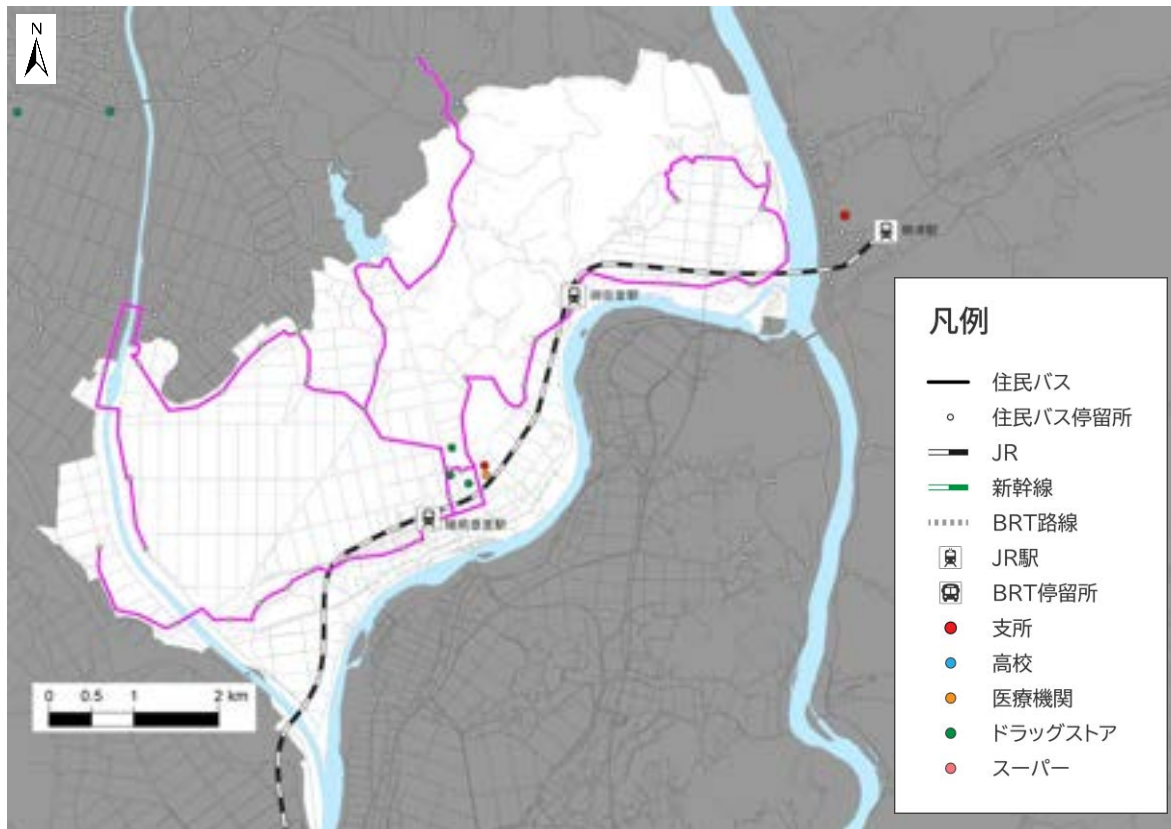
| 路線名等  | 便数    | 車両        | 主な経路                                 |
|-------|-------|-----------|--------------------------------------|
| — 石森線 | 平日：3便 | 上沼小スクールバス | ・小塚集会所～桑代～石森小学校～愛菜館前～中田総合支所          |
| — 上沼線 | 平日：3便 | 上沼小スクールバス | ・上沼小学校～八幡山～大泉～弥勒寺前～中田総合支所～登米市役所迫庁舎   |
| — 宝江線 | 平日：3便 | 宝江小スクールバス | ・東～宝江ふれあいセンター～新井田（停留所）～中田中学校前～中田総合支所 |

※灰色のライン（—）は、すべての住民バスが重複している区間。

⑤ 豊里地域(患者輸送バス兼用)

○1 路線で平日 2 便運行されています。また、曜日や午前と午後によって異なる経路での運行となっています。

■令和 6 年度運行路線図・運行内容（豊里地域）

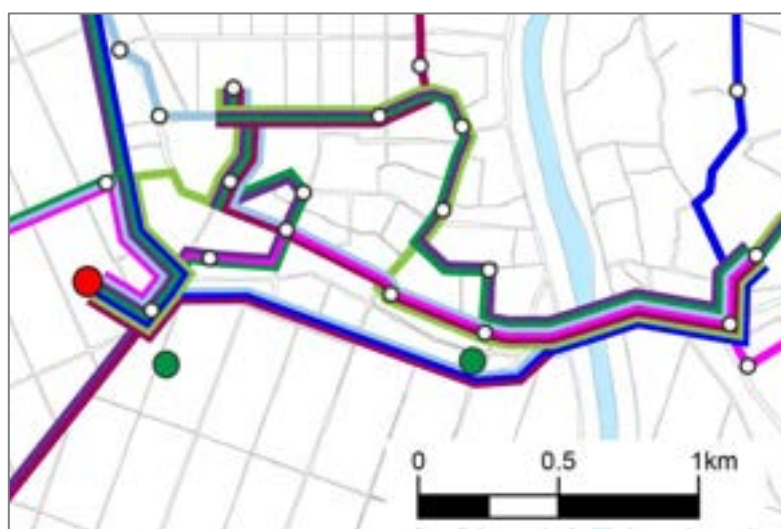


| 路線名等   | 便数     | 車両             | 主な経路                                                                                                                                                                          |
|--------|--------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| — 豊里地域 | 平日：2 便 | 豊里病院<br>患者送迎バス | <p>月・水・金：</p> <p>(午前) 鵜波三区方面<br/>～庚申・竹花方面</p> <p>(午後) 番江・十五貫・大曲方面<br/>～上谷地・ニッ屋・下町方面</p> <p>火・木：</p> <p>(午前) 番江・十五貫・大曲方面<br/>～上谷地・ニッ屋・下町方面</p> <p>(午後) 鵜波三区方面<br/>～庚申・竹花方面</p> |

## ⑥ 米山地域

○8 路線で平日のみの運行がされており、路線によって運行の曜日、本数が異なる運行となっています。

### ■令和6年度運行路線図（米山地域）



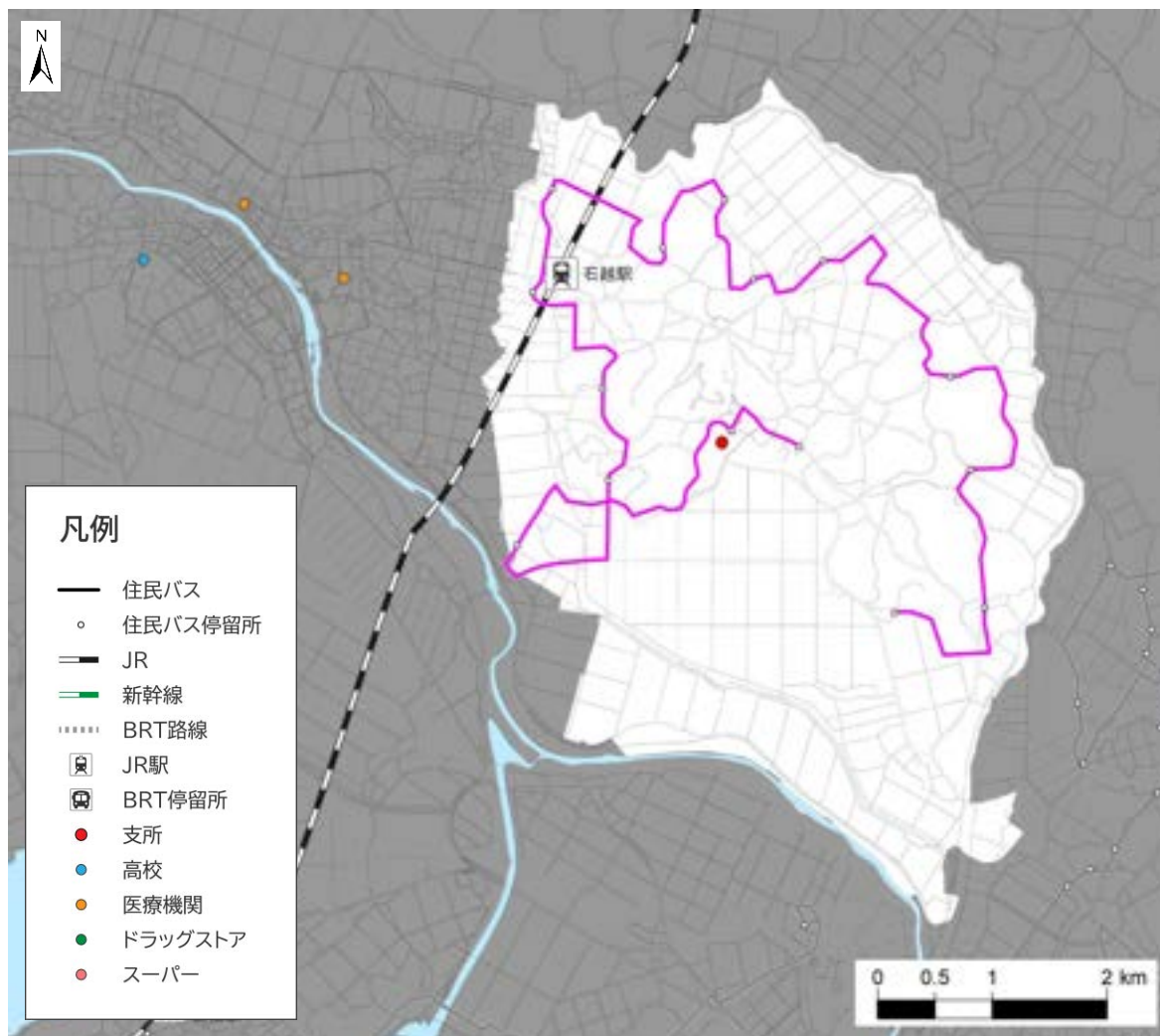
■令和 6 年度運行内容（米山地域）

| 路線名等                                                         | 便数                | 車両                  | 主な経路                                                                        |
|--------------------------------------------------------------|-------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1 号線<br>（平埴～中津山公民館）                                          | 平日：3 便<br>火・木     | 中津山小<br>スクール<br>バス  | ・平埴～新田～狐崎～今泉西～登米市米<br>山総合支所（仮庁舎前）～中津山公民館                                    |
| 2 号線<br>（末田～登米市米山総<br>合支所（仮庁舎））                              | 平日：3 便<br>火・木     | 米岡小<br>スクール<br>バス   | ・末田～永沢会館前～和道集落センター<br>前～善王寺コミュニティセンター～米<br>市米山総合支所（仮庁舎前）                    |
| 3 号線<br>（町吉田集会所前～よ<br>ねやま診療所（火曜日：<br>町吉田集会所前～市民<br>病院 1 往復）） | 火曜：2 便<br>木曜：3 便  | 米山東小<br>スкуль<br>バス | ・町吉田集会所前～櫓場～峯前子～よね<br>やま診療所                                                 |
| 4 号線<br>（楠田（狐崎集落セン<br>ター）～内）                                 | 平日：3 便<br>火・木     | 米山東小<br>スクール<br>バス  | ・楠田～貝待井～平筒沼ふれあい公園～<br>相の山～町吉田集会所前～内                                         |
| 5 号線<br>（東千貫～吉田運動広<br>場前（水曜日：総合支所<br>～市民病院 1 往復））            | 平日：5 便<br>月・水（隔週） | 中津山小<br>スクール<br>バス  | ・東千貫～齊藤集会所前～瀬ヶ崎生活セ<br>ンター前～中津山小学校前～米市米山<br>総合支所（仮庁舎前）～吉田運動広場前               |
| 6 号線<br>（齊藤集会所前～吉田<br>運動広場前（水曜日：<br>総合支所～市民病院 1<br>往復））      | 平日：5 便<br>水（隔週）・金 | 米岡小<br>スクール<br>バス   | ・齊藤集会所前～三方江（生活センター）<br>～清水西～米市米山総合支所（仮庁舎<br>前）～後小路南～吉田運動広場前                 |
| 7 号線<br>（猪込 1～砥落 1）                                          | 平日：5 便<br>月・水（隔週） | 米山東小<br>スクール<br>バス  | ・猪込 1～筒場内～中津山公民館～米市米<br>山総合支所（仮庁舎前）～よねやま診療<br>所～総合保健福祉センター～砥落 1             |
| 8 号線<br>（平埴北～穴山）                                             | 平日：5 便<br>水（隔週）・金 | 米山東小<br>スクール<br>バス  | ・平埴北～大貝構造改善センター前～柳<br>渕～中津山公民館～米市米山総合支所<br>（仮庁舎前）～よねやま診療所～米山<br>中学校東～藤渡戸～穴山 |

## ⑦ 石越地域

○1 路線で平日 3 便の運行となっています。

### ■令和 6 年度運行路線図・運行内容（石越地域）

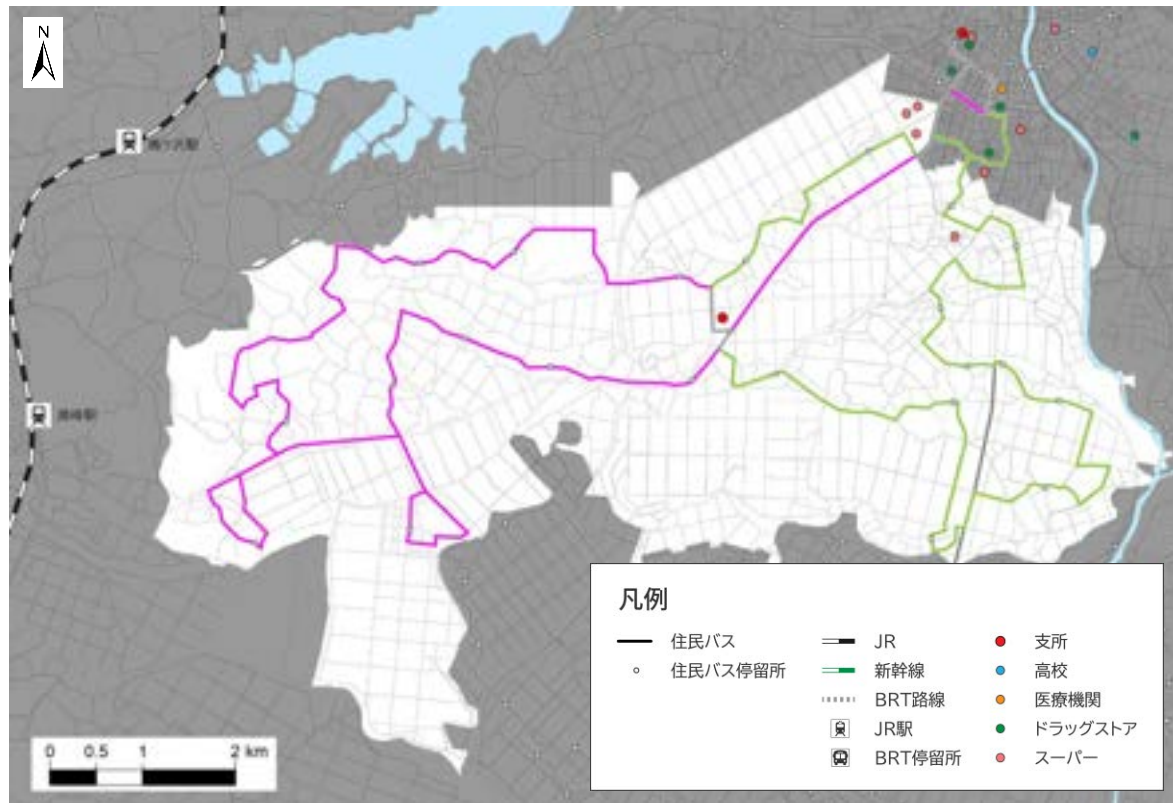


| 路線名等   | 便数     | 車両            | 主な経路                                                    |
|--------|--------|---------------|---------------------------------------------------------|
| — 石越地域 | 平日：3 便 | 石森小<br>スクールバス | ・ 第 12 区集会所～赤谷区集会所～<br>駅前区集会所～渋川区集会所～<br>石越総合支所～JA 石越支店 |

## ⑧ 南方地域

○南方総合支所を起点に、「西郷地区」「東郷地区」の2路線で平日3便での運行がされています。

### ■令和6年度運行路線図・運行内容（南方地域）



| 路線名等 | 便数    | 車両            | 主な経路                                      |
|------|-------|---------------|-------------------------------------------|
| 西郷地区 | 平日：3便 | 西郷小<br>スクールバス | ・南方総合支所～須崎公民館～一ノ曲公民館～西郷小学校～JA 南方支店～南方総合支所 |
| 東郷地区 | 平日：3便 | 東郷小<br>スクールバス | ・南方総合支所～梶沼公民館～東郷小学校～登米市民病院前～南方総合支所        |

※灰色のライン（—）は、すべての住民バスが重複している区間。

## ⑨ 津山地域

○1 路線で平日 3 便の運行がされていますが、このうち、横山地区で月・水・金曜日の 3 日間、柳津地区で火・木曜日の 2 日間での運行となっています。

### ■令和 6 年度運行路線図・運行内容（津山地域）



| 路線名等        | 便数     | 車両            | 主な経路                                                                                                                               |
|-------------|--------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| — 横山地区・柳津地区 | 平日 3 便 | 柳津小<br>スクールバス | <p>横山地区（月・水・金）<br/>水沢入口付近～北沢橋付近～横山ドライブイン様前～おおともクリニック様～津山総合支所</p> <p>柳津地区（火・木）<br/>津山総合支所～旧黄牛入沢老人憩の家前～おおともクリニック様～大柳津入口付近～津山総合支所</p> |

---

## (2) 利用者の推移

○令和 5（2023）年度の利用者は、米山地域を除いたすべての地域で平成 27（2015）年度の利用者より減少しています。特に、登米地域では 2 割程度、東和地域では 1 割程度まで減少しています。

○各地域の利用者の推移は以下の通りです。

### 【迫地域】

令和 5（2023）年度の利用者数は全地域で最も多く 7,767 人となっており、平成 27（2015）年度の 0.70 倍となっています。令和 2（2020）年度以前の推移は横ばいの傾向にありましたが、令和 3（2021）年度以降減少傾向にあります。

### 【登米地域】

令和 5（2023）年度の利用者数は全地域で最も少なく 282 人となっており、平成 27（2015）年度の 0.21 倍となっています。平成 27 年（2015）年度以降、利用者は減少傾向にあります。

### 【東和地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 0.11 倍となっており、平成 27（2015）年度以降、減少傾向にあります。

### 【中田地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 0.65 倍となっており、平成 27（2015）年度以降、減少傾向にあります。

### 【豊里地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 0.47 倍となっており、平成 27（2015）年度以降、減少傾向にあります。

### 【米山地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 1.03 倍となっています。令和 3（2021）年度まで減少傾向にありましたが、令和 4（2022）年度以降は増加傾向にあります。

### 【石越地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 0.52 倍となっています。平成 29（2017）年度まで増加傾向にありましたが、以降は横ばいとなり、令和 2（2020）年度以降は減少傾向にあります。

### 【南方地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 0.47 倍となっており、平成 27 年（2015）年度以降、減少傾向にあります。

### 【津山地域】

令和 5（2023）年度の利用者は平成 27（2015）年度の 0.53 倍となっています。平成 30（2018）年度まで増加傾向にありましたが、それ以降は減少傾向にあります。

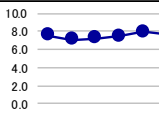
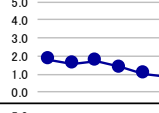
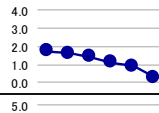
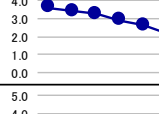
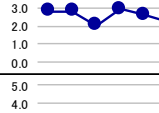
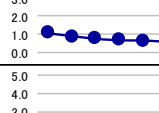
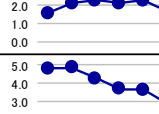
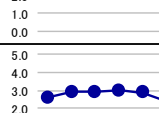
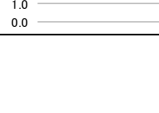
## ■住民バス利用者の推移

単位:人

| 地域   | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 | 推移 (H26=1.00) |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|
| 迫地域  | 11,037      | 10,355      | 10,569      | 10,950      | 11,490     | 11,184     | 9,236      | 8,696      | 7,767      |               |
| 登米地域 | 1,334       | 1,160       | 1,240       | 1,202       | 901        | 731        | 619        | 254        | 282        |               |
| 東和地域 | 4,762       | 4,441       | 3,884       | 3,162       | 2,495      | 817        | 611        | 585        | 532        |               |
| 中田地域 | 7,895       | 7,460       | 7,140       | 6,331       | 5,659      | 4,863      | 4,883      | 4,815      | 5,142      |               |
| 豊里地域 | 6,830       | 6,799       | 4,930       | 4,963       | 5,009      | 3,794      | 3,666      | 3,316      | 3,215      |               |
| 米山地域 | 2,742       | 2,243       | 1,916       | 1,766       | 1,661      | 1,428      | 1,393      | 2,175      | 2,815      |               |
| 石越地域 | 1,142       | 1,531       | 1,656       | 1,547       | 1,630      | 1,207      | 780        | 862        | 597        |               |
| 南方地域 | 6,969       | 7,030       | 6,206       | 5,326       | 5,205      | 4,126      | 3,622      | 3,432      | 3,241      |               |
| 津山地域 | 1,876       | 2,123       | 2,126       | 2,186       | 2,056      | 1,725      | 1,494      | 1,287      | 991        |               |

## ■住民バス 1 便あたりの利用者の推移

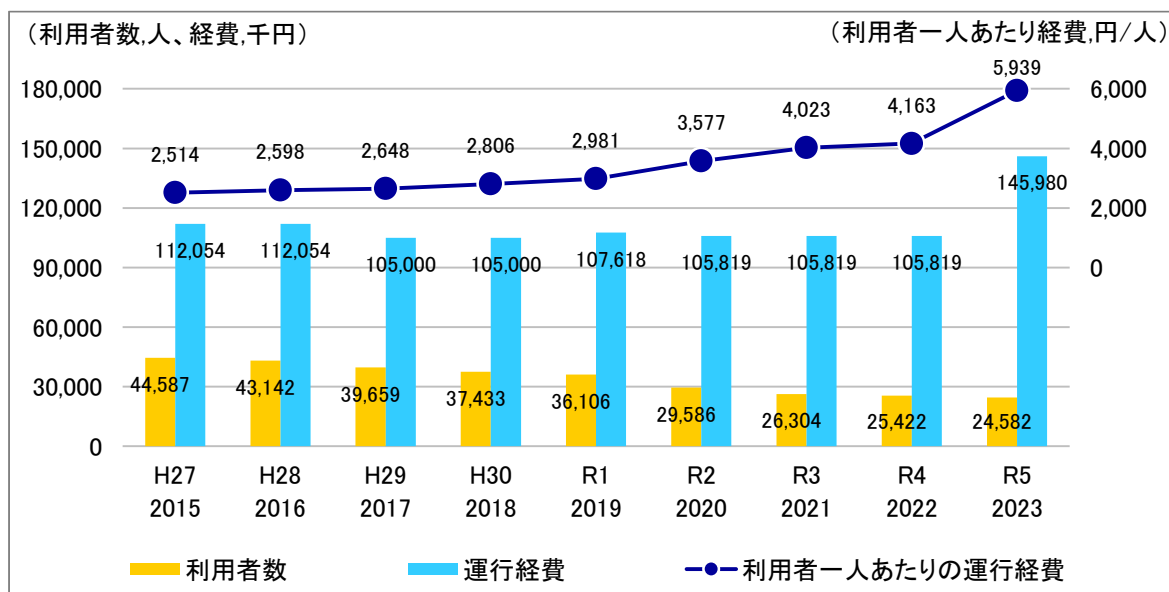
単位:人/便

| 地域   | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 | 推移                                                                                    |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 迫地域  | 7.6         | 7.1         | 7.2         | 7.5         | 8.0        | 7.7        | 6.4        | 6.0        | 5.3        |    |
| 登米地域 | 1.8         | 1.6         | 1.7         | 1.4         | 1.0        | 0.8        | 0.7        | 0.3        | 0.3        |    |
| 東和地域 | 1.7         | 1.6         | 1.4         | 1.1         | 0.9        | 0.3        | 0.2        | 0.3        | 0.2        |    |
| 中田地域 | 3.6         | 3.4         | 3.3         | 2.9         | 2.6        | 2.2        | 2.2        | 2.2        | 2.4        |    |
| 豊里地域 | 2.8         | 2.8         | 2.0         | 2.9         | 2.6        | 2.2        | 2.2        | 1.9        | 1.9        |    |
| 米山地域 | 1.1         | 0.9         | 0.7         | 0.7         | 0.6        | 0.5        | 0.5        | 0.8        | 1.1        |   |
| 石越地域 | 1.6         | 2.1         | 2.3         | 2.1         | 2.3        | 1.7        | 1.1        | 1.2        | 0.8        |  |
| 南方地域 | 4.8         | 4.8         | 4.3         | 3.6         | 3.6        | 2.8        | 2.5        | 2.4        | 2.2        |  |
| 津山地域 | 2.6         | 2.9         | 2.9         | 3.0         | 2.9        | 2.4        | 2.1        | 1.8        | 1.4        |  |

### (3) 運行経費状況

○住民バスの運行経費（スクールバスと併せた総経費を運行距離等により案分した概算額）について、平成 27（2015）年度以降の推移をみると、令和 4（2022）年度まではゆるやかな増加傾向にありましたが、令和 5（2023）年度に 145,980 千円と大きく増加しています。

#### ■住民バスの運行経費・利用者の推移



| 年度  |      | 利用者数<br>(人) | 運行経費<br>(千円) | 利用者一人<br>あたりの<br>運行経費<br>(円/人) |
|-----|------|-------------|--------------|--------------------------------|
| H27 | 2015 | 44,587      | 112,054      | 2,514                          |
| H28 | 2016 | 43,142      | 112,054      | 2,598                          |
| H29 | 2017 | 39,659      | 105,000      | 2,648                          |
| H30 | 2018 | 37,433      | 105,000      | 2,806                          |
| R1  | 2019 | 36,106      | 107,618      | 2,981                          |
| R2  | 2020 | 29,586      | 105,819      | 3,577                          |
| R3  | 2021 | 26,304      | 105,819      | 4,023                          |
| R4  | 2022 | 25,422      | 105,819      | 4,163                          |
| R5  | 2023 | 24,582      | 145,980      | 5,939                          |

## 2.3 デマンド型乗合タクシー

### (1) 運行エリア・運行内容

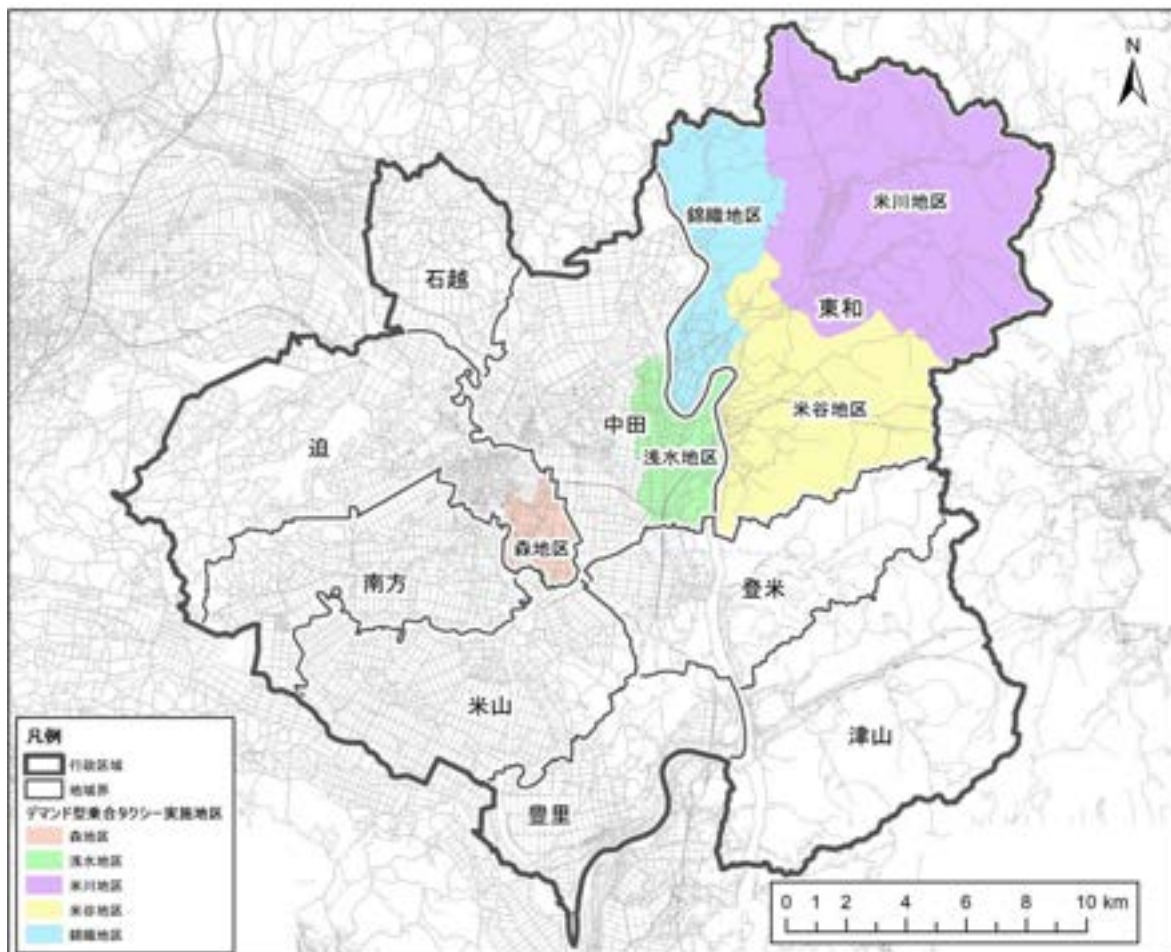
○地域内におけるよりきめ細やかな移動手段の確保を図るため、コミュニティ組織が運営主体となって、デマンド型乗合タクシーが運行されています。

○迫地域内の森地区、東和地域内の米川地区・錦織地区・米谷地区、中田地域内の浅水地区の5地区で運行されており、地区内移動の場合の運賃は300円となっています。

○このうち米谷地区については実証運行事業※として運行が開始されています。

※運行事業の実施を希望する地区について、運行が効果的かつ円滑に実施されるかを検証するため、本格運行に先立ち実施されるもの。

### ■デマンド型乗合タクシー実施地区



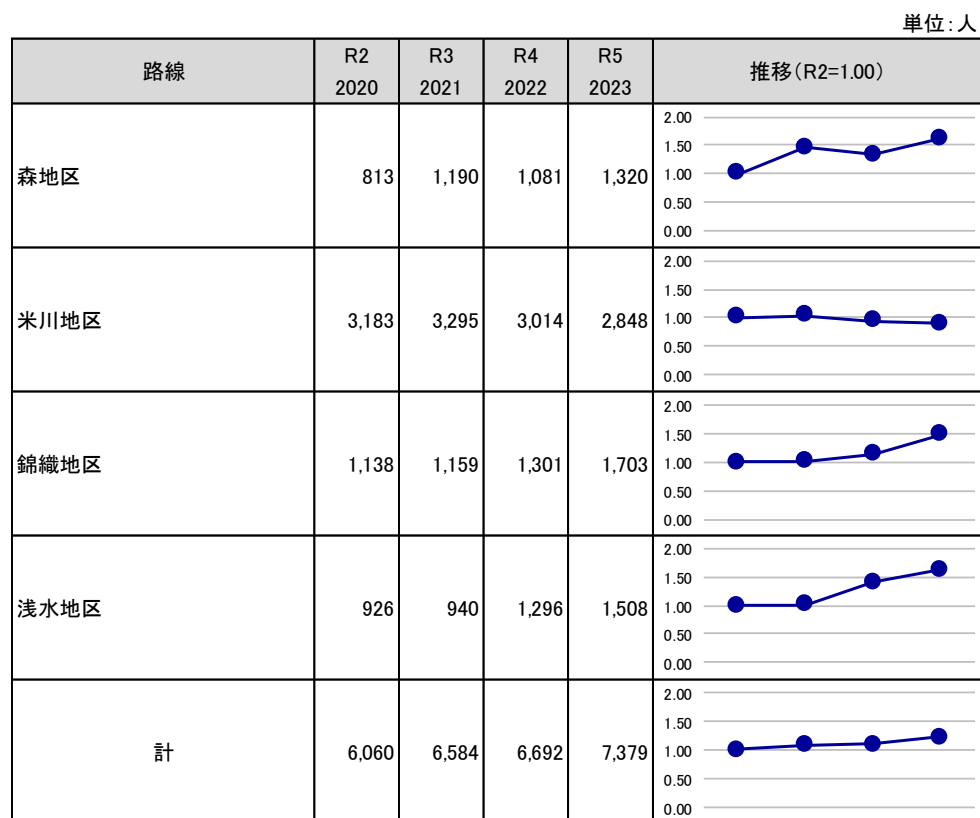
■運行内容（令和 6（2023）年 4 月 1 日現在）

| 地域      | 迫地域                                            | 東和地域                                           |                                                |                                                | 中田地域                                           |
|---------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 運行地区    | 森地区                                            | 米川地区                                           | 錦織地区                                           | 米谷地区                                           | 浅水地区                                           |
| 運営主体    | 森地区コミュニティ推進協議会                                 | 米川地域振興会                                        | 錦織地域振興会                                        | 米谷地域づくり推進協議会                                   | 浅水コミュニティ運営協議会                                  |
| 乗降場所    | 自宅及び登録施設間                                      |                                                |                                                |                                                |                                                |
| 運賃（地区内） | 一般：300 円、小学生：100 円、小学生未満：無料（※未登録者は通常運賃の倍額）     |                                                |                                                |                                                |                                                |
| 運行日     | 月・火・木・金                                        | 月～金                                            | 月～金                                            | 月～金                                            | 月・火・水・金                                        |
| 便数      | 14 便                                           | 14 便                                           | 14 便                                           | 8 便                                            | 14 便                                           |
| 運行開始時期  | 実証運行事業開始：令和 2（2020）年度<br>本格運行事業開始：令和 3（2021）年度 | 実証運行事業開始：令和 2（2020）年度<br>本格運行事業開始：令和 3（2021）年度 | 実証運行事業開始：令和 2（2020）年度<br>本格運行事業開始：令和 3（2021）年度 | 実証運行事業開始：令和 6（2024）年度<br>本格運行事業開始：令和 7（2025）年度 | 実証運行事業開始：令和 2（2020）年度<br>本格運行事業開始：令和 3（2021）年度 |
| 備考      |                                                | 平成 19（2007）年度から米川地区乗合タクシーとして運行開始               |                                                |                                                |                                                |

## (2) 利用者の推移

- デマンド型乗合タクシーの利用者は、平成 19（2007）年度から米川地区乗合タクシーとして運行していた米川地区を除き、増加傾向にあります。
- 令和 5（2023）年度のデマンド型乗合タクシーの利用者は、米川地区で最も多く 2,848 人、森地区で最も少なく 1,320 人となっています。

### ■デマンド型乗合タクシー利用者の推移

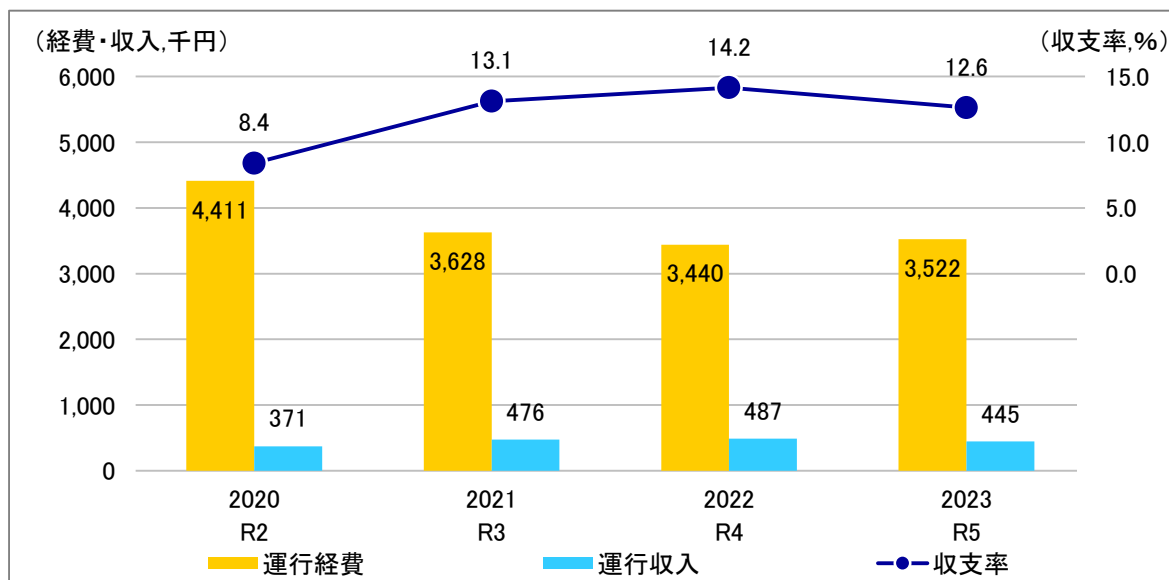
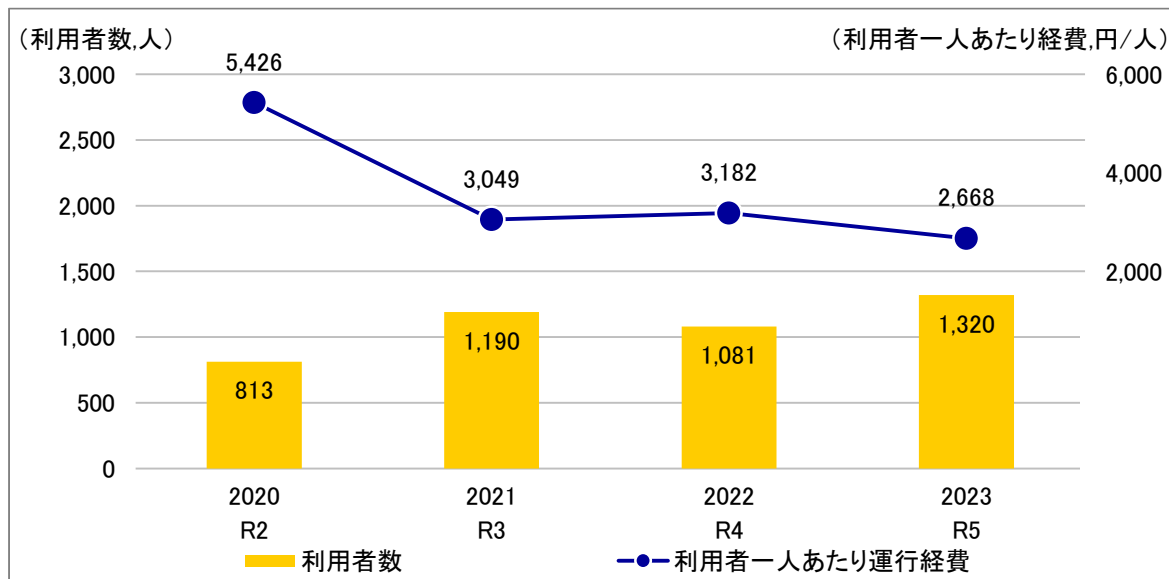


### (3) 収支状況

#### ① 森地区

○運行が始まった令和2(2020)年度と令和5(2023)年度を比較すると、利用者数は1.6倍になり、それに伴い収入も増加しています。加えて令和3(2021)年度に運行日数を週5日から週4日へ見直したことにより運行経費が抑制され、収支率は上昇しています。

#### ■デマンド型乗合タクシーの利用者あたり経費・収支状況の推移(森地区)



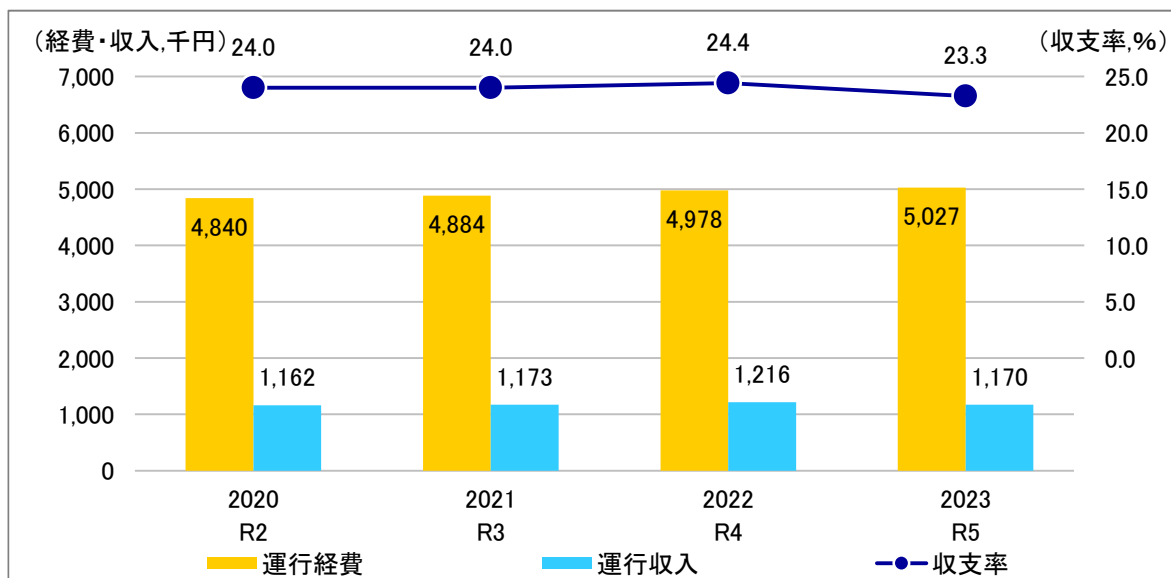
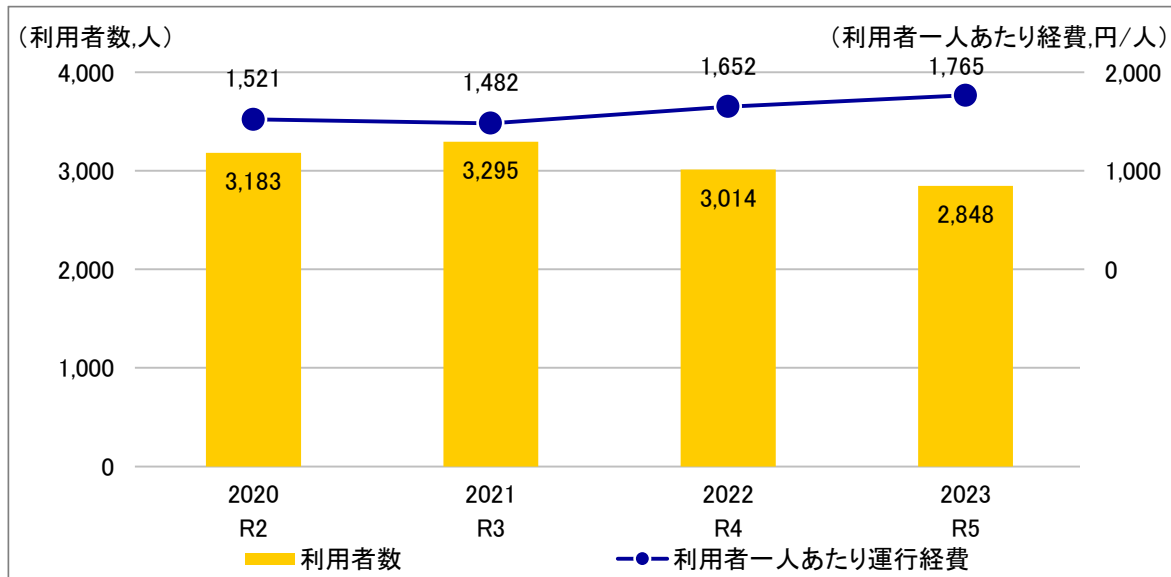
※経費は運行委託料、収入は登録料や運賃、協賛金等の合計。

## ② 米川地区

○運行が始まった令和 2（2020）年度と令和 5（2023）年度を比較すると、利用者数は減少していますが、運行収入は横ばいとなっています。また、運行車両はジャンボタクシーを利用しており、他の地域より経費が多くなっています。

○米川地区は、現在の制度による運行が始まる前の平成 19（2007）年度から地域住民によるデマンド型乗合タクシーを運行しており、地域での認知度が高く、他の地域よりも利用者数が多い状況です。

### ■デマンド型乗合タクシーの利用者あたり経費・収支状況の推移（米川地区）

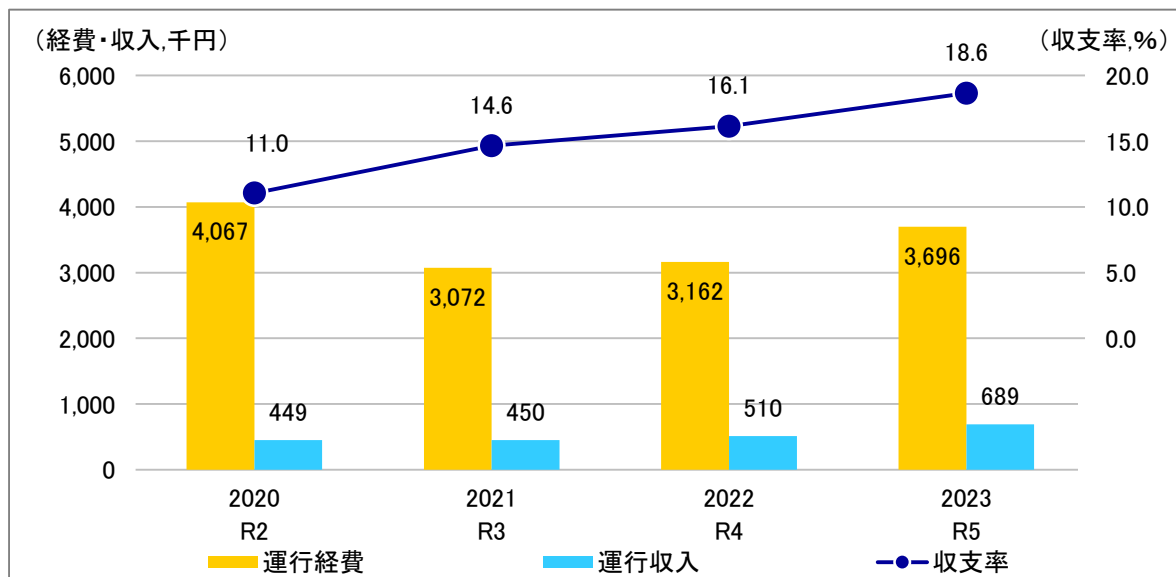
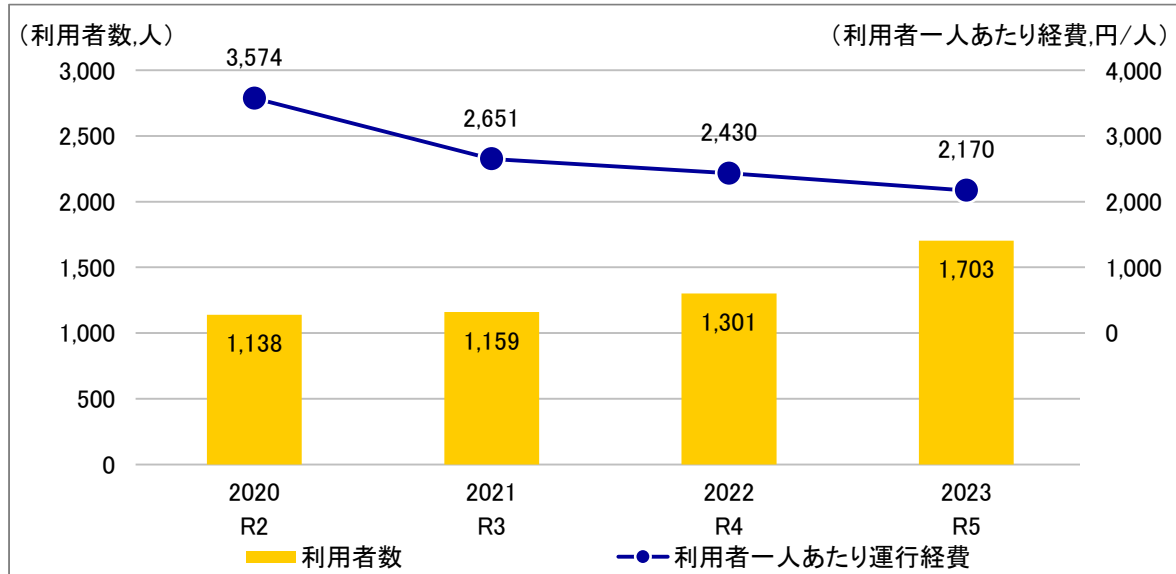


※経費は運行委託料、収入は登録料や運賃、協賛金等の合計。

### ③ 錦織地区

○運行が始まった令和 2（2020）年度以降、利用者数は増加傾向にあり、それに伴い収入が増加し、収支率が増加しています。加えて、令和 5（2023）年度まで毎年運行日数や運行時間の見直しを行ったため、運行経費の増減が見られます。

#### ■デマンド型乗合タクシーの利用者あたり経費・収支状況の推移（錦織地区）

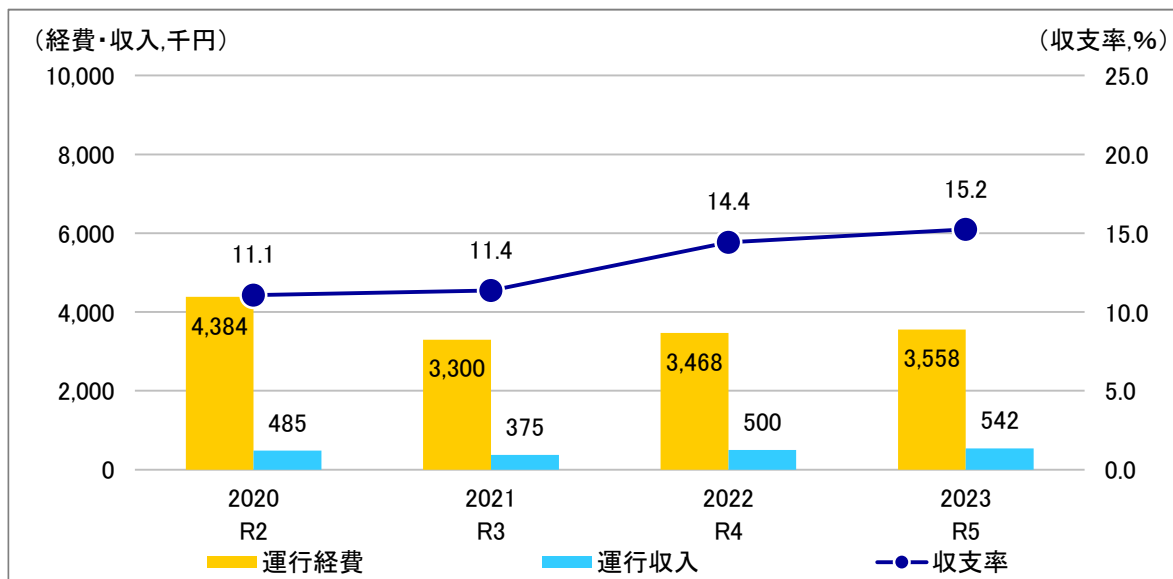
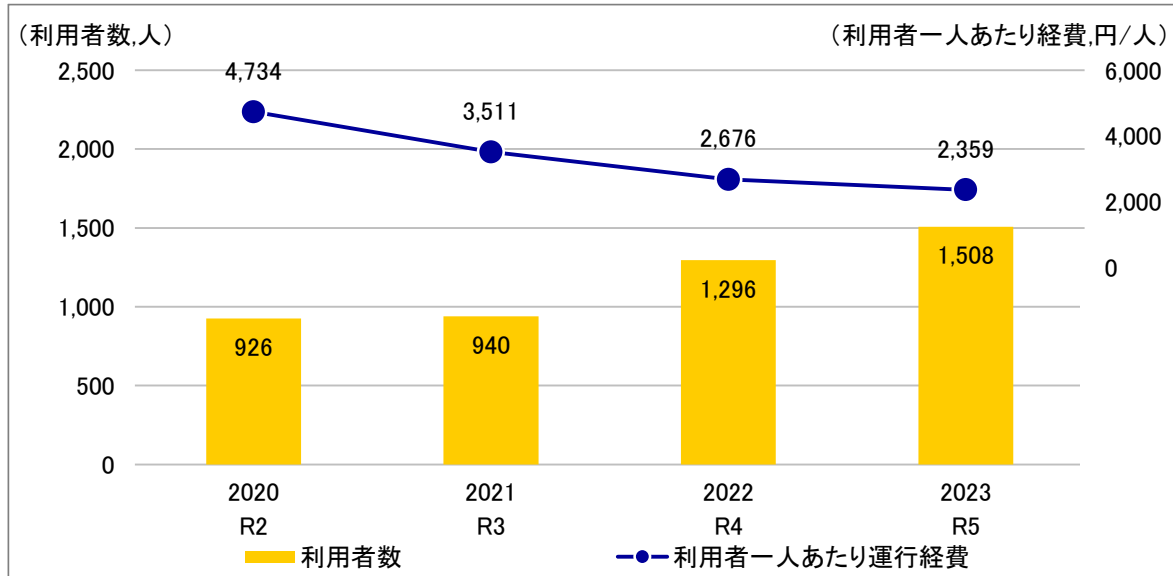


※経費は運行委託料、収入は登録料や運賃、協賛金等の合計。

#### ④ 浅水地区

○運行が始まった令和 2（2020）年度以降、利用者数は増加傾向にあり、それに伴い、収入も増加しています。加えて令和 3（2021）年度に運行日数を週 5 日から週 4 日へ見直したことにより運行経費が抑制され、収支率は上昇しています。

#### ■デマンド型乗合タクシーの利用者あたり経費・収支状況の推移（浅水地区）



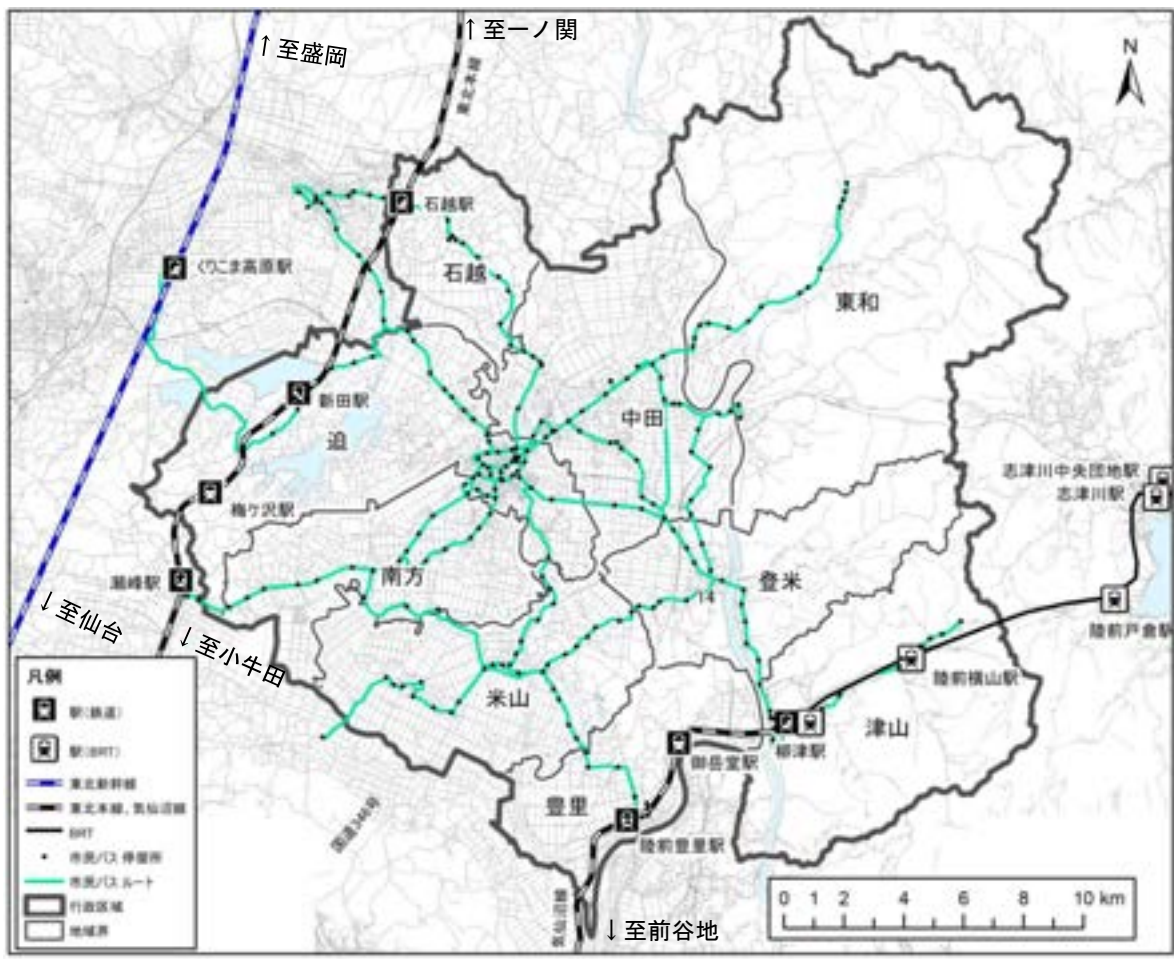
※経費は運行委託料、収入は登録料や運賃、協賛金等の合計。

## 2.4 鉄道・BRT

### (1) 運行内容

- 本市は、JR 東北本線及び JR 気仙沼線（BRT 含む）が運行しています。
- 鉄道駅についてはすべて市域の外縁部に位置しており、JR 東北本線では梅ヶ沢駅、新田駅、石越駅、JR 気仙沼線では陸前豊里駅、御岳堂駅、柳津駅（BRT 含む）、陸前横山駅（BRT のみ）が整備されているほか、隣接する栗原市に東北新幹線のくりこま高原駅が整備されています。
- この中で、JR 東北本線の新田駅、石越駅、JR 気仙沼線の陸前豊里駅、柳津駅、東北新幹線のくりこま高原駅には、市民バスが接続しています。
- 運行本数は JR 東北本線では多い駅で 18 便、少ない駅で 14 便、JR 気仙沼線では多い駅で 15 便、少ない駅で 5 便、東北新幹線のくりこま高原駅では約 20 便が停車しています。

### ■鉄道・BRT の状況



資料：国土数値情報（国土交通省）

■鉄道・BRTの運行状況

| 路線    | 駅              | 市民バス<br>接続有無 | 便数                                   | 起終点                                 |
|-------|----------------|--------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 東北本線  | 梅ヶ沢駅           | -            | 上 平日：16 便<br>り 休日：16 便               | 一ノ関駅（一部石越駅始発）<br>～小牛田駅（一部仙台駅・岩沼駅終点） |
|       |                |              | 下 平日：18 便<br>り 休日：18 便               | 小牛田駅（一部仙台駅）<br>～一ノ関駅（一部石越駅終点）       |
|       | 新田駅            | ○            | 上 平日：16 便<br>り 休日：16 便               | 一ノ関駅（一部石越駅始発）<br>～小牛田駅（一部仙台駅・岩沼駅終点） |
|       |                |              | 下 平日：18 便<br>り 休日：18 便               | 小牛田駅（一部仙台駅）<br>一ノ関駅（一部石越駅終点）        |
|       | 石越駅            | ○            | 上 平日：16 便<br>り 休日：16 便               | 一ノ関駅（一部石越駅始発）<br>小牛田駅（一部仙台駅・岩沼駅終点）  |
|       |                |              | 下 平日：14 便<br>り 休日：14 便               | 小牛田駅（一部仙台駅）<br>一ノ関駅                 |
| 気仙沼線  | 陸前豊里駅          | ○            | 上 平日：9 便<br>り 休日：9 便                 | 柳津駅<br>～前谷地駅（一部小牛田駅）                |
|       |                |              | 下 平日：9 便<br>り 休日：9 便                 | 前谷地駅<br>～柳津駅                        |
|       | 御岳堂駅           | -            | 上 平日：9 便<br>り 休日：9 便                 | 柳津駅<br>～前谷地駅（一部小牛田駅）                |
|       |                |              | 下 平日：9 便<br>り 休日：9 便                 | 前谷地駅<br>～柳津駅                        |
|       | 柳津駅            | ○            | 上 平日：9 便<br>り 休日：9 便                 | 柳津駅<br>～前谷地駅（一部小牛田駅）                |
|       |                |              | 下 ー                                  | ー                                   |
|       | 柳津駅<br>（BRT）   | -            | 上 平日：5 便<br>り 休日：5 便                 | 気仙沼駅<br>～前谷地駅                       |
|       |                |              | 下 平日：15 便<br>り 休日：15 便               | 前谷地駅<br>～気仙沼駅                       |
|       | 陸前横山駅<br>（BRT） | -            | 上 平日：15 便<br>り 休日：15 便               | 気仙沼駅<br>～前谷地駅                       |
|       |                |              | 下 平日：15 便<br>り 休日：15 便               | 前谷地駅<br>～気仙沼駅                       |
| 東北新幹線 | くりこま<br>高原駅    | ○            | 上 平日：20 便<br>り 休日：20 便               | 盛岡駅（一部秋田駅・新函館北駅）<br>～東京駅（一部仙台駅）     |
|       |                |              | 下 平日：20 便<br>り 休日：土曜 21 便<br>日曜 19 便 | 東京駅（一部仙台駅）<br>～盛岡駅（一部 秋田駅・新函館北駅）    |

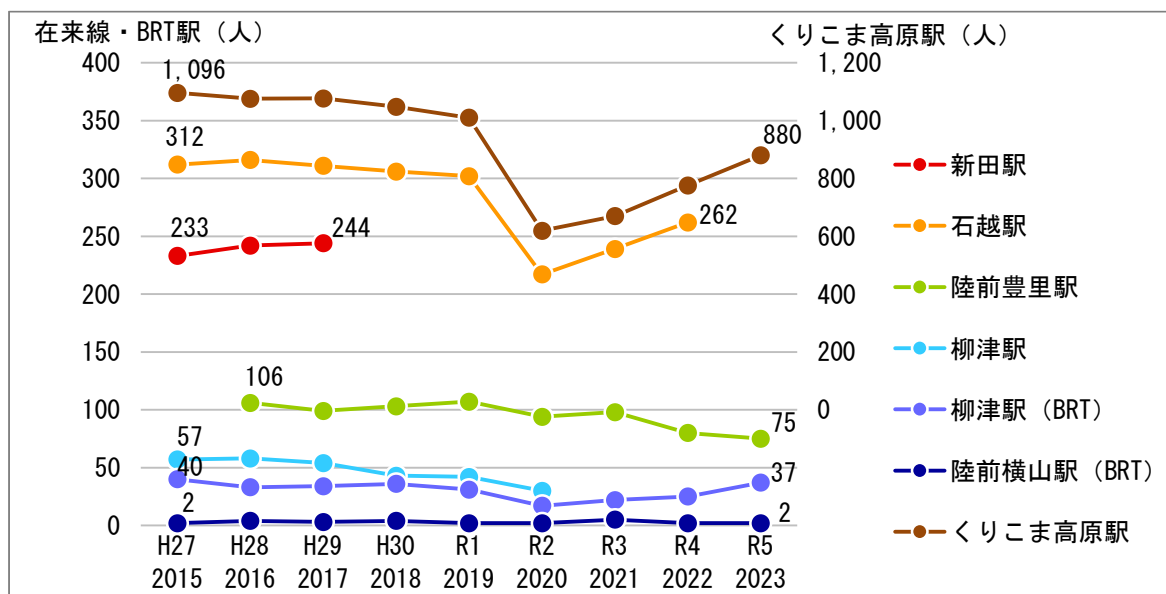
資料：JR東日本（令和6年12月時点）

## (2) 利用者の推移

○主要な駅における1日の平均乗車人員は石越駅及びくりこま高原駅を除き、ほぼ横ばいで推移しています。

○石越駅及びくりこま高原駅の1日の平均乗車人員は、令和元（2019）年度まではほぼ横ばいで推移していましたが、新型コロナウイルスが流行した令和2（2020）年度で大きく減少しました。その後は、回復傾向にあります。令和元（2019）年度以前の平均乗車人員までは回復していない状況にあります。

### ■1日平均乗車人員の推移



| 路線        | 駅              | 1日の平均乗車人員（人） |             |             |             |            |            |            |            |            |
|-----------|----------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|           |                | H27<br>2015  | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R1<br>2019 | R2<br>2020 | R3<br>2021 | R4<br>2022 | R5<br>2023 |
| 東北<br>本線  | 新田駅            | 233          | 242         | 244         | —           | —          | —          | —          | —          | —          |
|           | 石越駅            | 312          | 316         | 311         | 306         | 302        | 217        | 239        | 262        | —          |
| 気仙沼<br>線  | 陸前豊里駅          | —            | 106         | 99          | 103         | 107        | 94         | 98         | 80         | 75         |
|           | 柳津駅            | 57           | 58          | 54          | 43          | 42         | 30         | —          | —          | —          |
|           | 柳津駅<br>（BRT）   | 40           | 33          | 34          | 36          | 31         | 17         | 22         | 25         | 37         |
|           | 陸前横山駅<br>（BRT） | 2            | 4           | 3           | 4           | 2          | 2          | 5          | 2          | 2          |
| 東北<br>新幹線 | くりこま<br>高原駅    | 1,096        | 1,076       | 1,077       | 1,048       | 1,010      | 619        | 670        | 776        | 880        |

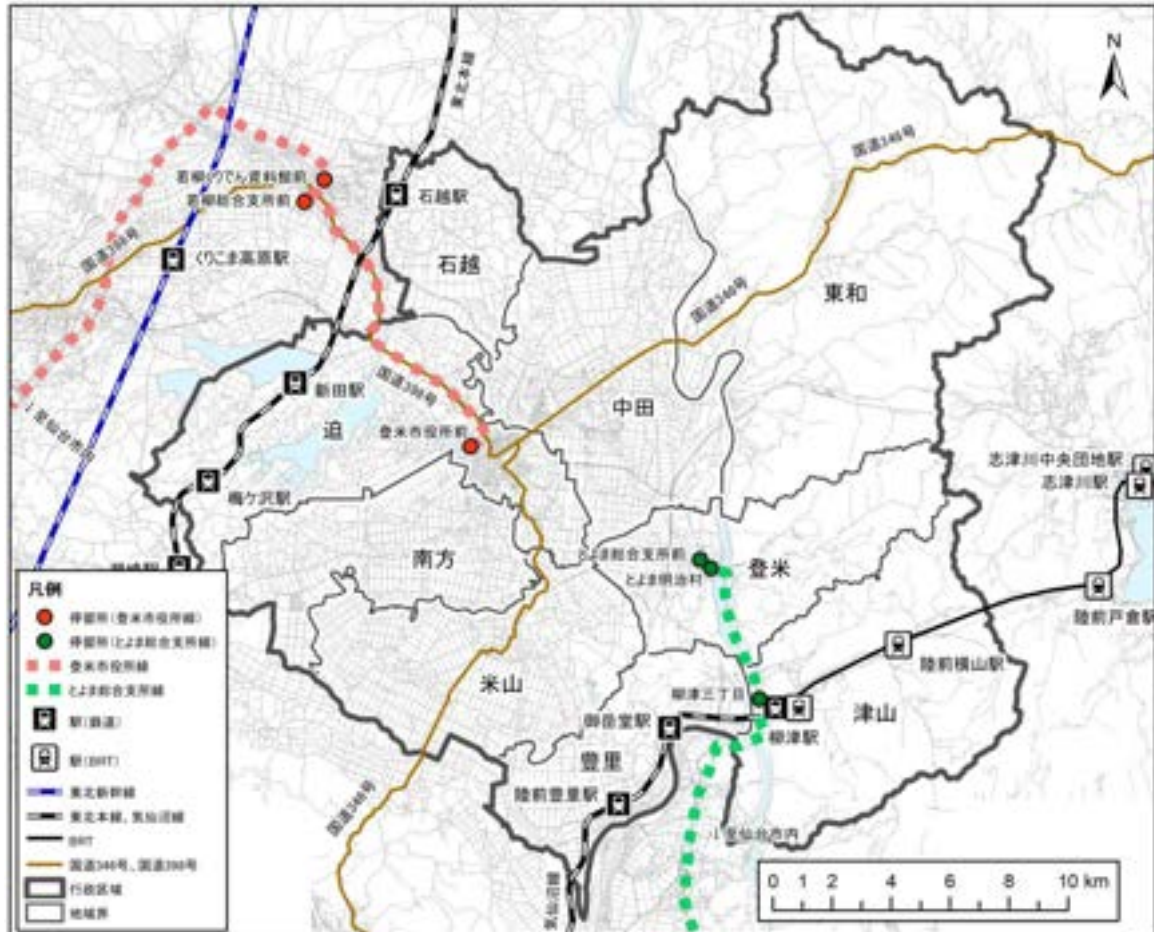
※新田駅の平成30（2018）年度以降、石越駅の令和5（2023）年度、陸前豊里駅の平成27（2015）年度、柳津駅の令和3（2021）年度以降の1日平均乗車人員は非公開。梅ヶ沢駅、御岳堂駅は無人駅のためデータなし。

資料：JR 東日本 各駅の乗車人員

## 2.5 高速バス

○本市には、迫地域と仙台市間、登米地域及び津山地域と仙台市間を結ぶ高速バスが2路線運行されています。

### ■高速バスの状況



### ■高速バスの運行状況

| 路線       | 便数     | 停留所                                                                              |
|----------|--------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 登米市役所前線  | 上り 8 便 | 仙台駅前、広瀬通一番町、若柳くりでん資料館前、若柳総合支所前、登米市役所前（登米市迫地域）                                    |
|          | 下り 9 便 |                                                                                  |
| とよま総合支所線 | 上り 7 便 | 東北大学病院前、県庁市役所前、仙台駅前、上品の郷、追波川運動公園、柳津三丁目（登米市津山地域）、とよま明治村（登米市登米地域）、とよま総合支所（登米市登米地域） |
|          | 下り 6 便 |                                                                                  |

資料：東日本急行株式会社ホームページ（令和7年1月3日時点）

---

### 3. 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査

市民の交通手段や公共交通の利用状況等を把握するため、令和 6（2024）年度に「市民アンケート調査」及び「高校生アンケート調査」「市民バス利用実態調査」「ＪＲ駅利用実態調査」「交通事業者ヒアリング」「コミュニティ組織ヒアリング」を実施しました。

#### 3.1 市民アンケート調査

市民の公共交通の利用状況やサービスに対する満足度、公共交通の維持・確保のあり方等を把握するため、以下の要領でアンケート調査を実施しました。

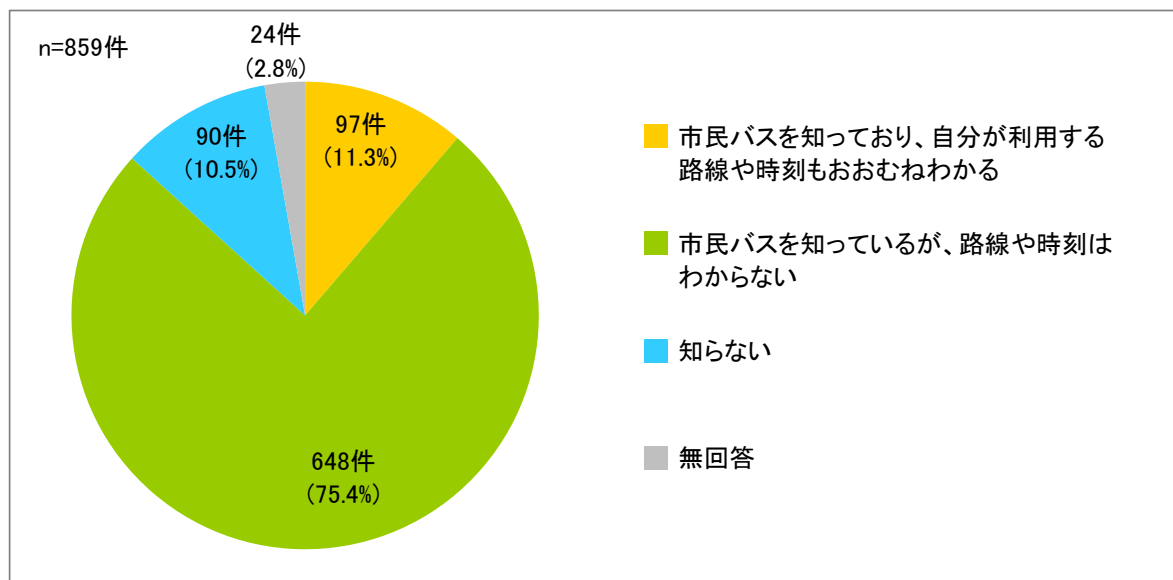
##### ■実施要領

|      |                                                |
|------|------------------------------------------------|
| 調査名  | 登米市の公共交通に関する市民アンケート                            |
| 調査対象 | 18 歳以上の市民を対象に 2,000 人無作為抽出（住民基本台帳）             |
| 調査期間 | 令和 6（2024）年 7 月 12 日（金）～令和 6（2024）年 8 月 9 日（金） |
| 調査手法 | 郵送にてアンケート調査票を配布、同封の返信用封筒にて回収                   |
| 回答状況 | 回答数 859 通 / 調査対象数 2,000 通 回答数 42.9%            |

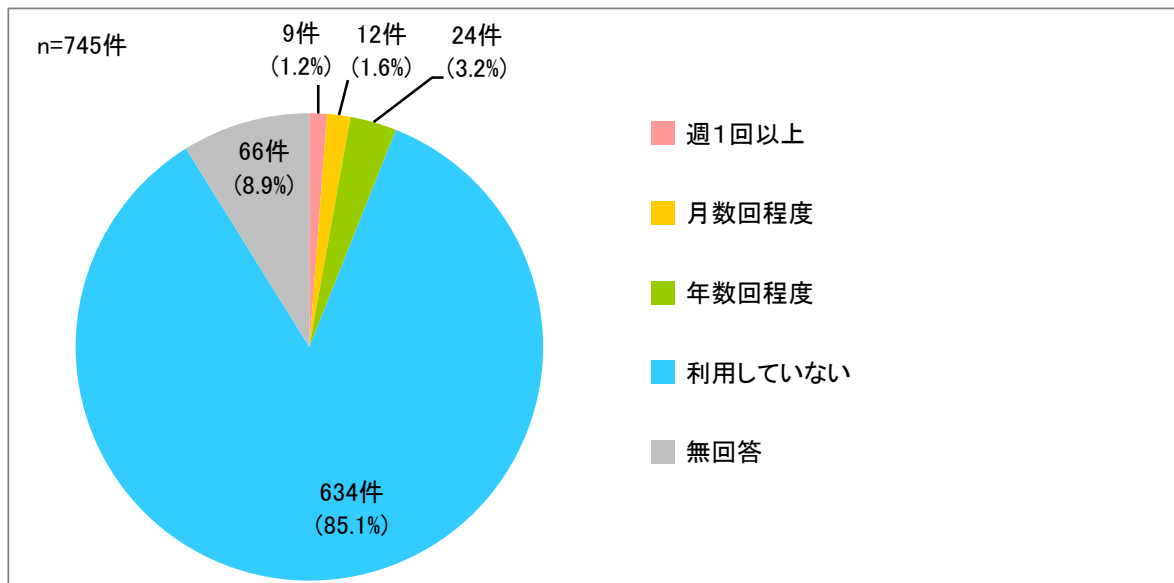
### (1) 市民バスについて

- 認知度について、「知っている」が745件（86.7%）、「知らない」が90件（10.5%）となっています。
- 利用頻度について、「年に数回以上利用している」が45件（6.0%）、「利用していない」が634件（85.1%）となっています。
- 利用している方の満足度について、「満足」「やや満足」が13件（28.9%）、「やや不満」「不満」が12件（26.7%）となっています。
- 利用しない理由について、「自家用車を利用するため」が596件（95.2%）と最も多く、次いでなっています。
- 改善策について、「今後も市民バスを利用するつもりはない」が279件（39.0%）と最も多く、次いで「乗り方や運行ダイヤなどの情報発信の充実」が171件（23.9%）、「バス停の改善（場所の変更・増設など）」が137件（19.2%）、「平日の増便」が126件（17.6%）、「休日の増便」が79件（11.0%）となっています。

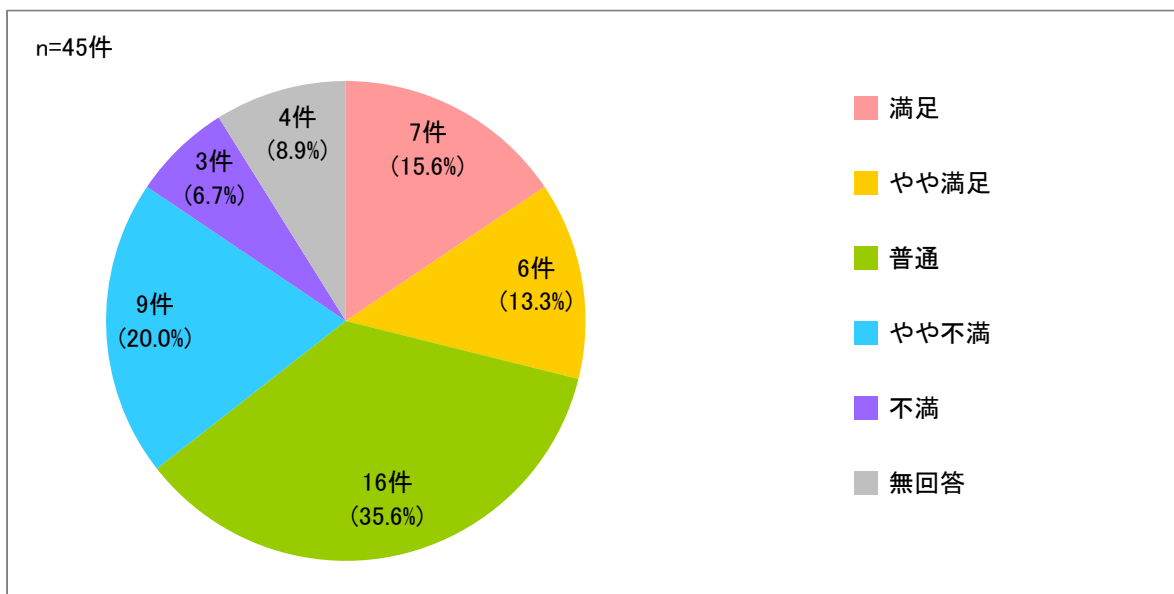
#### ■市民バスの認知度



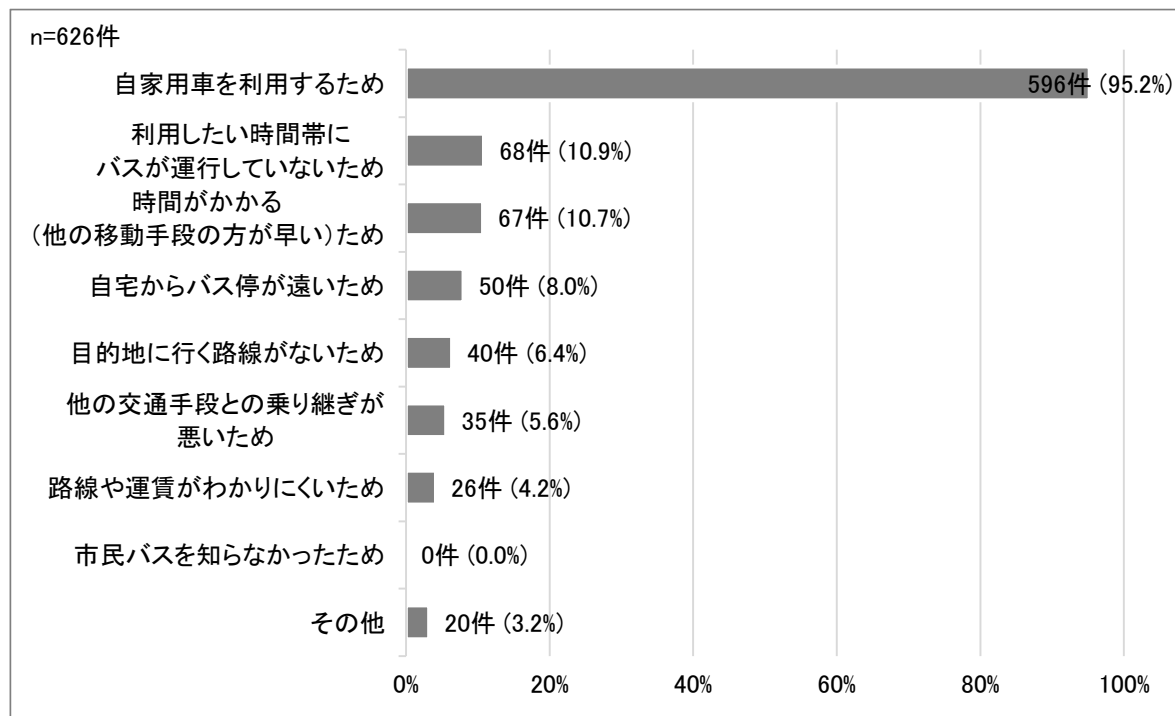
### ■市民バスの利用頻度



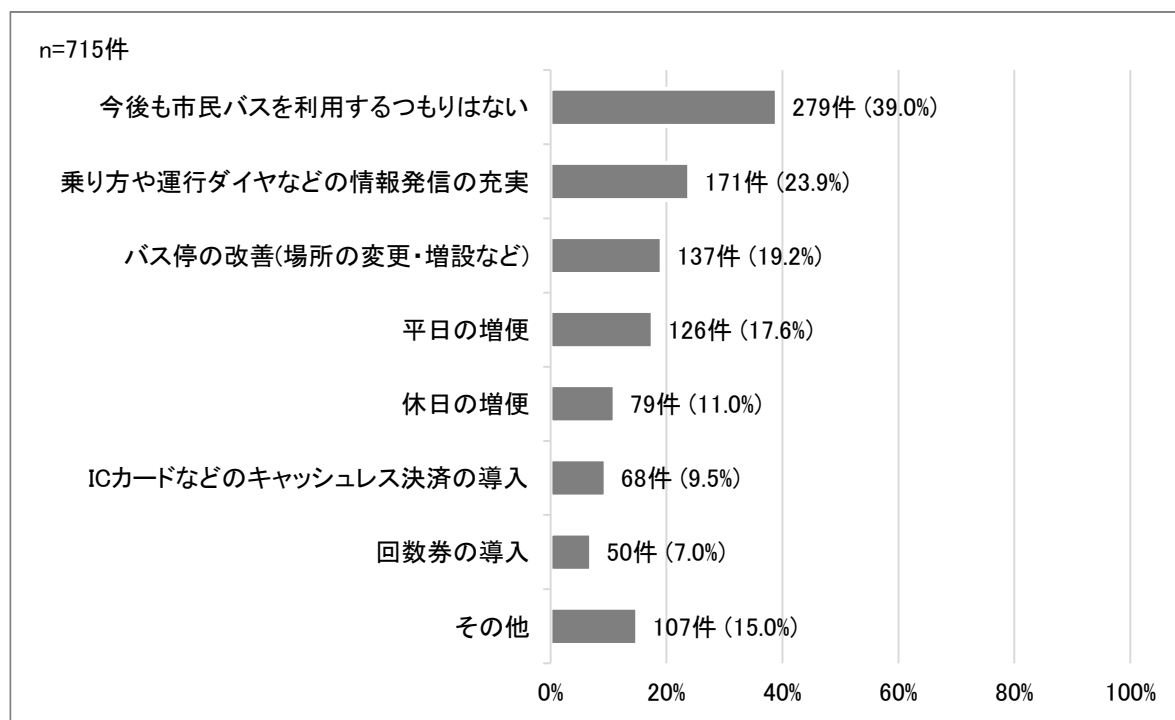
### ■市民バスの満足度



## ■市民バスを利用しない理由（主な理由を2つ選択）



## ■市民バスの改善策（複数選択可）



## (2) 住民バスについて

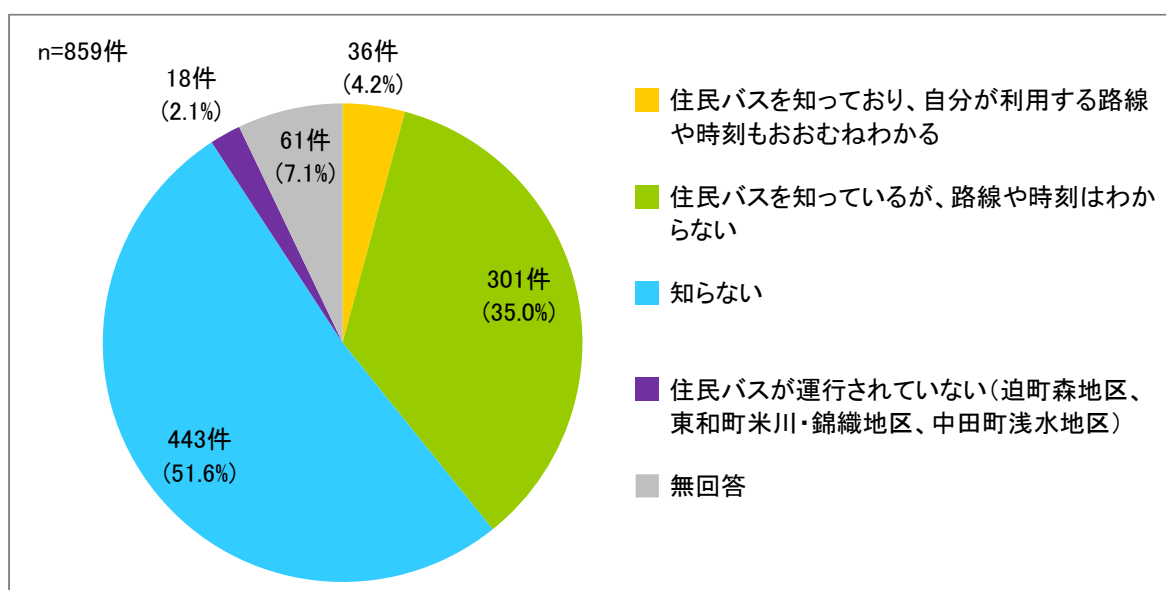
○認知度について、「知らない」が443件（51.6%）と最も多く、「知っている」が337件（39.2%）となっています。

○利用頻度について、「年に数回以上利用している」が21件（6.2%）、「利用していない」が255件（75.7%）となっています。

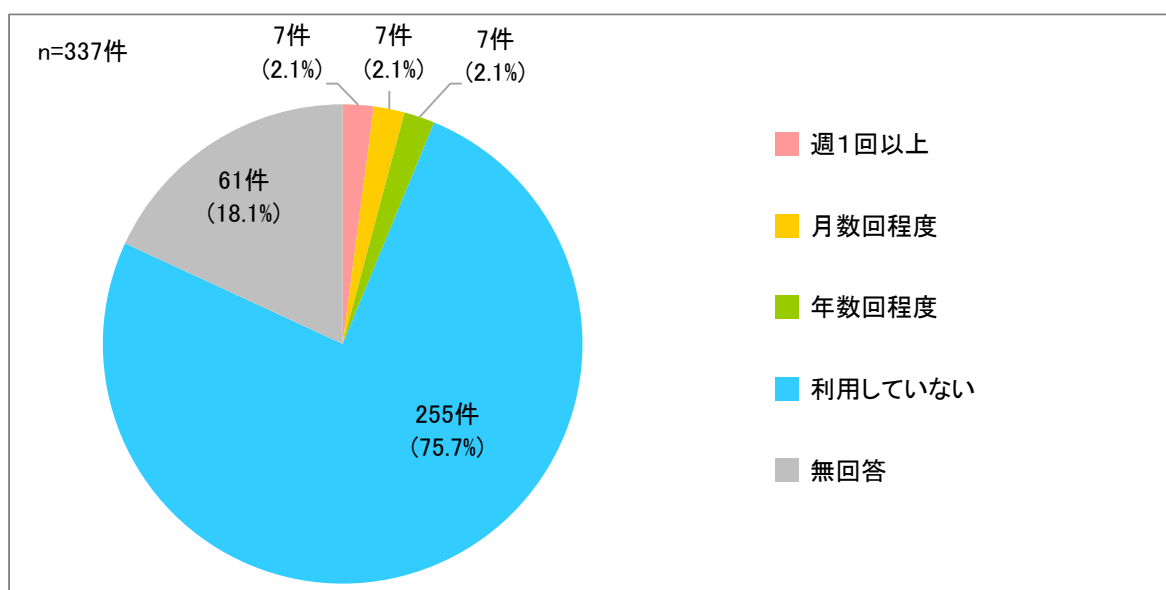
○利用している方の満足度について、「満足」「やや満足」が9件（42.9%）、「やや不満」「不満」が1件（4.8%）となっています。

○利用しない理由について、「自家用車を利用するため」が234件（93.6%）と最も多くなっています。

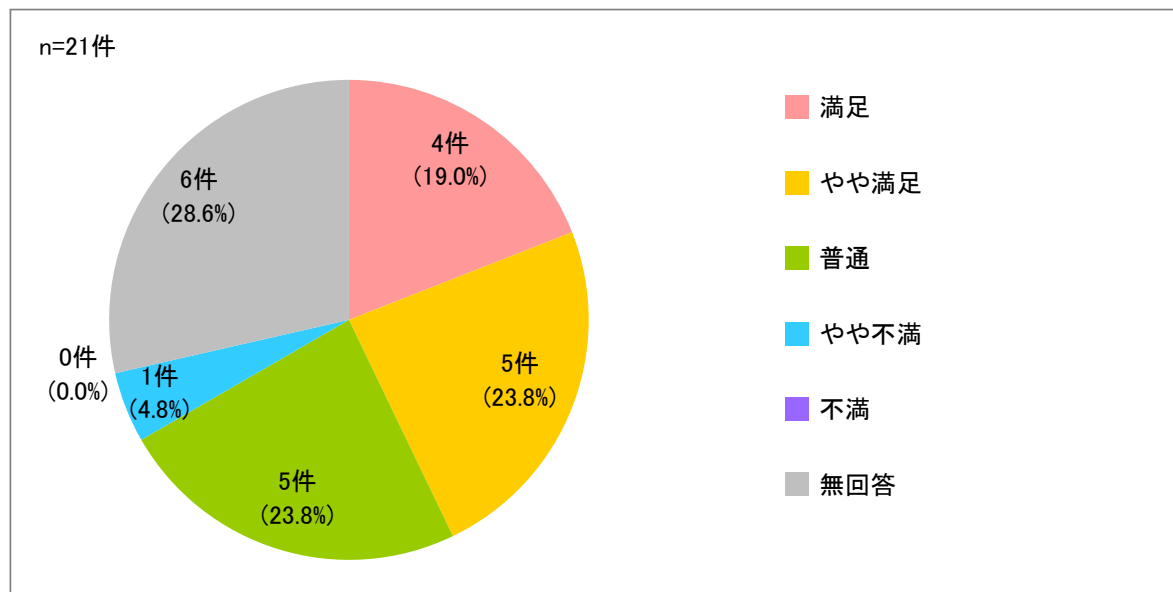
### ■住民バスの認知度



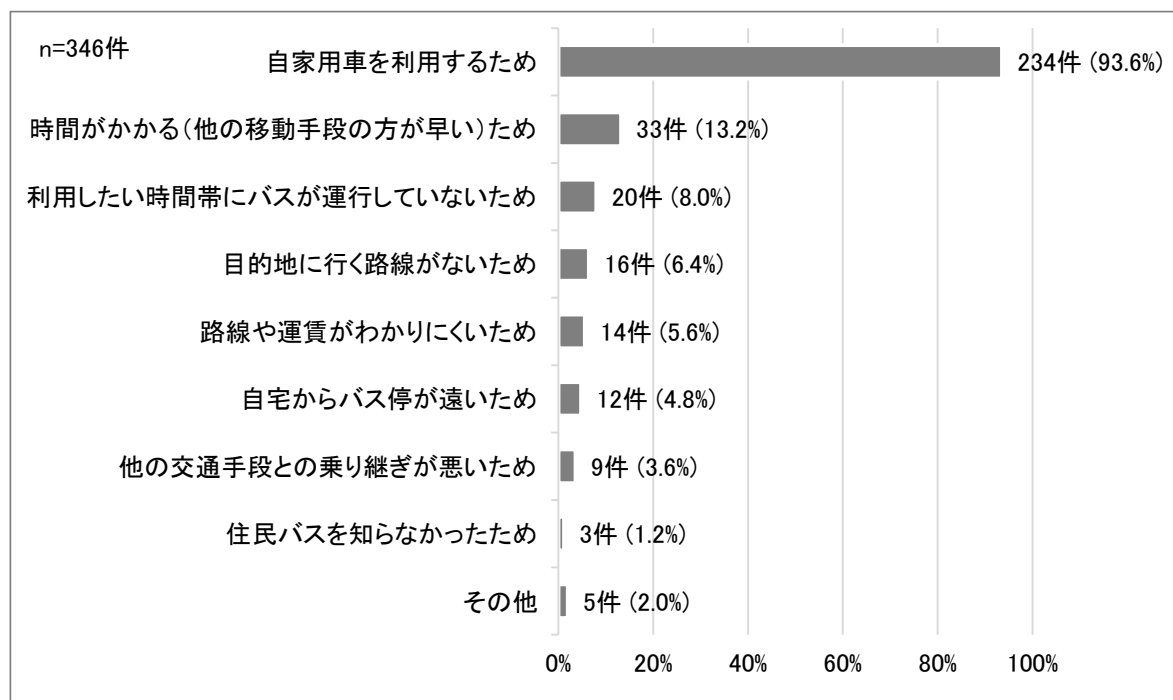
### ■住民バスの利用頻度



## ■住民バスの満足度



## ■住民バスを利用しない理由（主な理由を2つ選択）



### (3) デマンド型乗合タクシーについて

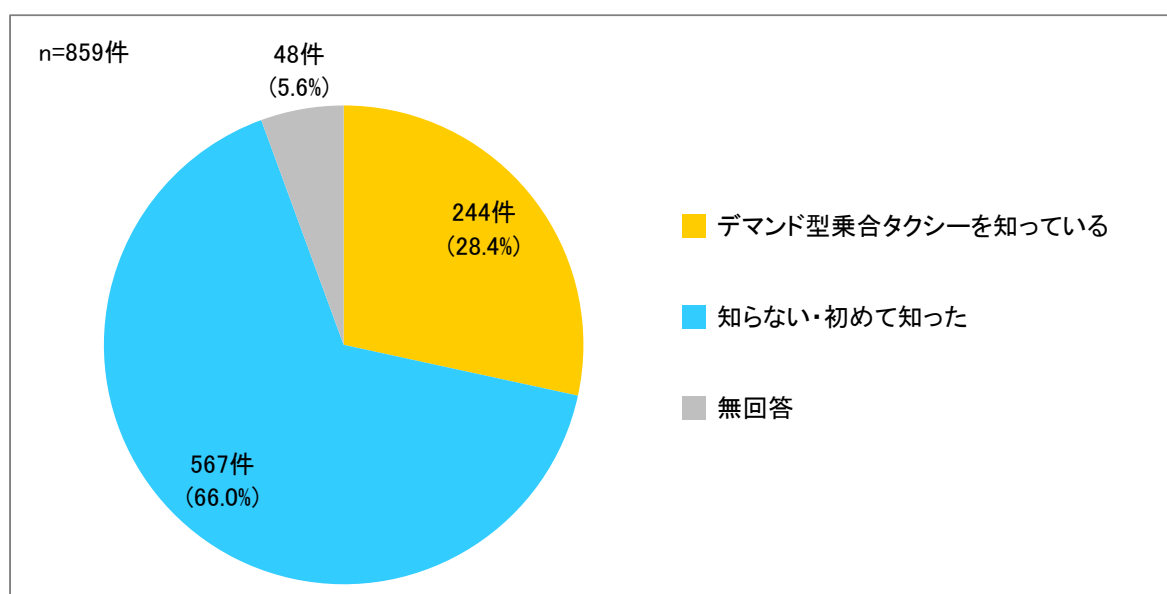
○認知度について、「知っている」が244件（28.4%）、「知らない・初めて知った」が567件（66.0%）となっています。

○利用頻度について、「年に数回以上利用している」が5件（3.9%）、「利用していない」が117件（92.1%）となっています。

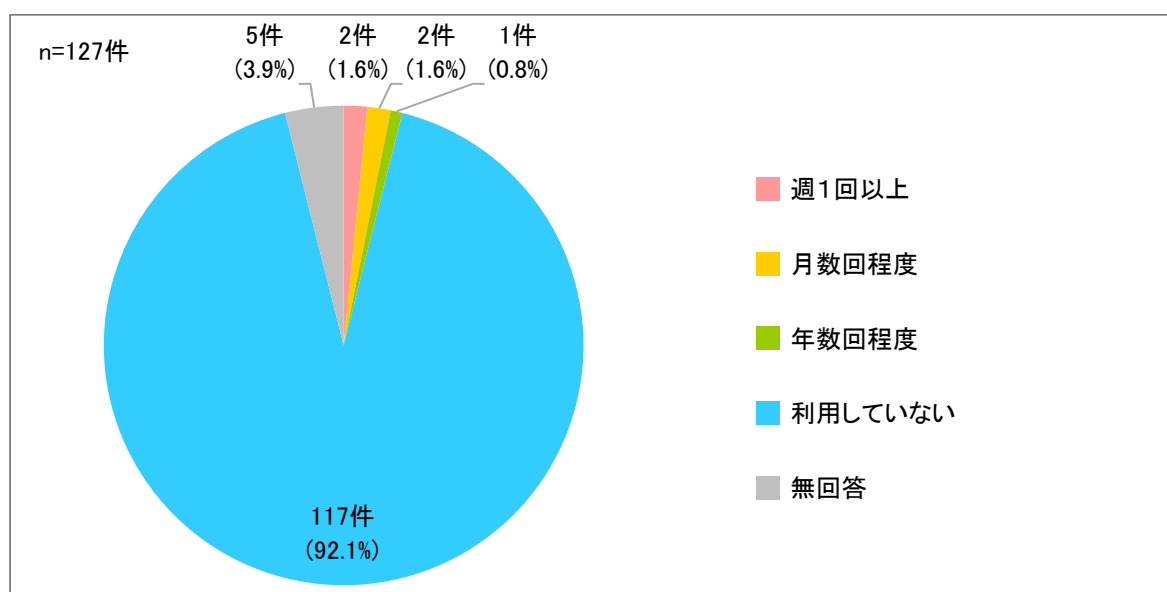
○利用している方の満足度について、「満足」「やや満足」が3件（60.0%）、「やや不満」「不満」が1件（20.0%）となっています。

○利用しない理由について「自家用車を利用するため」が119件（94.4%）と最も多くなっています。

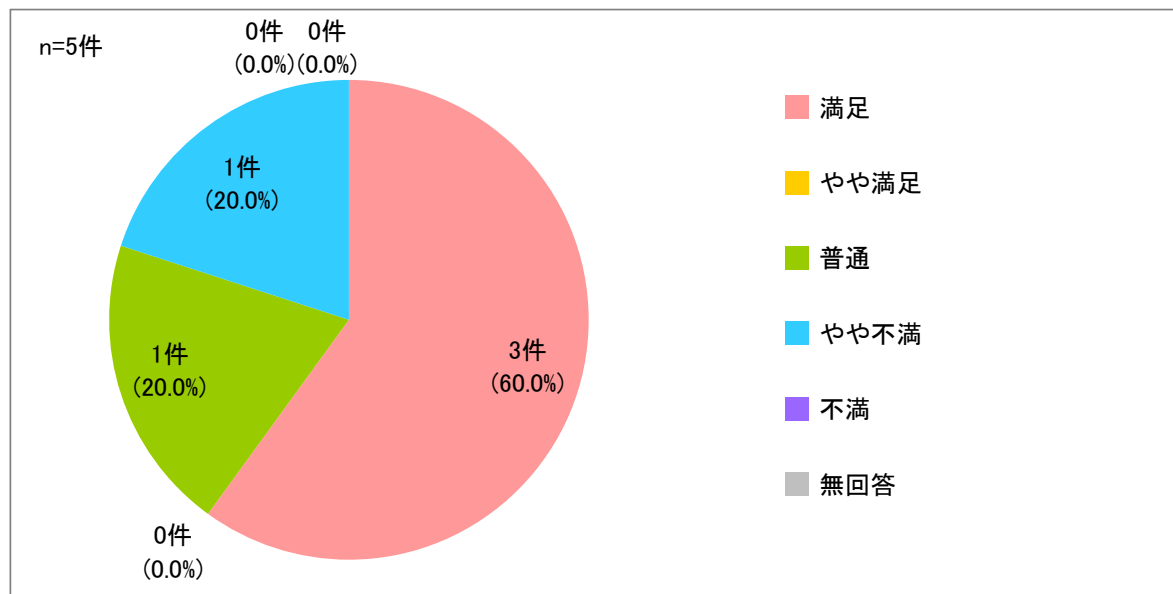
#### ■デマンド型乗合タクシーの認知度



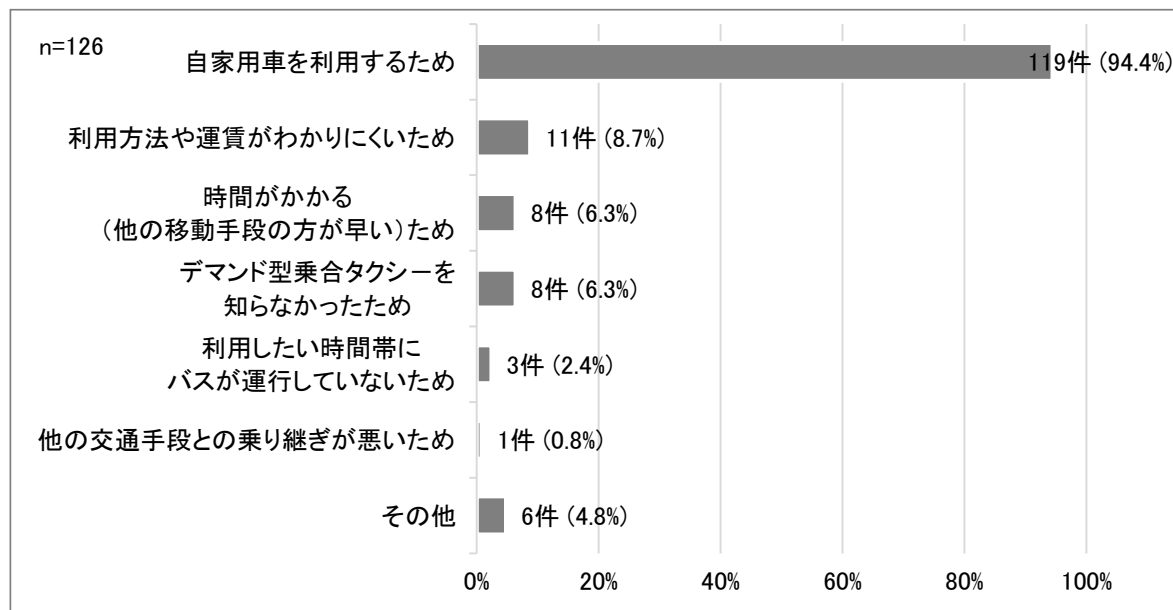
#### ■デマンド型乗合タクシーの利用頻度



## ■デマンド型乗合タクシーの満足度



## ■デマンド型乗合タクシーを利用しない理由（主な理由を2つ選択）



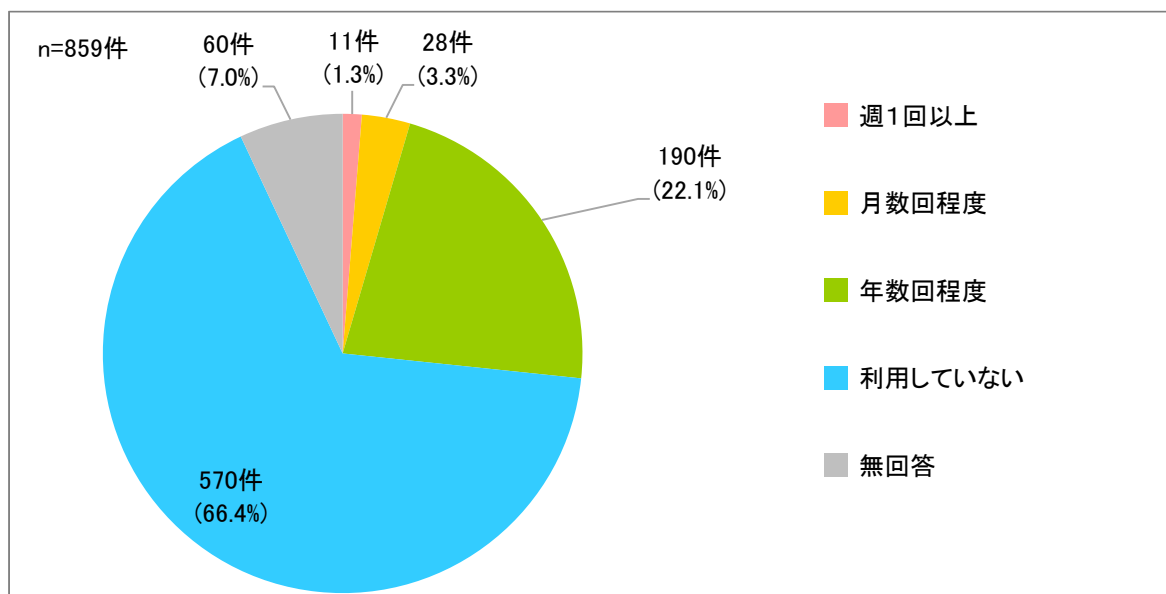
#### (4) 鉄道について

○利用頻度について、「年数回以上利用している」が229件(26.7%)、「利用していない」が570件(66.4%)となっています。

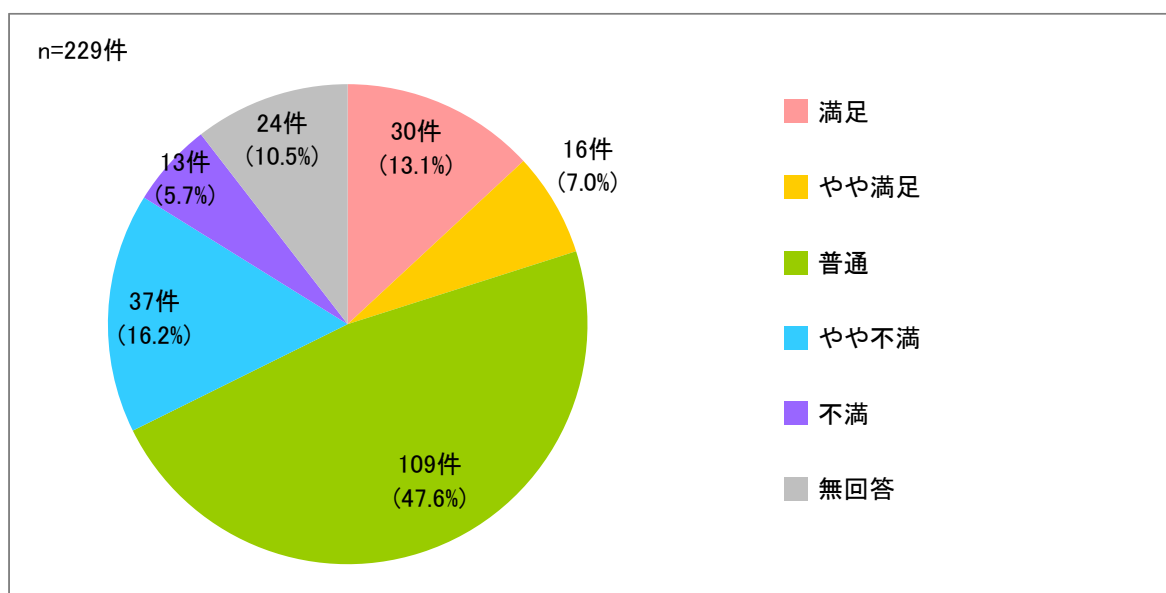
○利用している方の満足度について、「満足」「やや満足」が46件(20.1%)、「やや不満」「不満」が50件(21.8%)となっています。

○利用しない理由について、「自家用車を利用するため」が460件(83.3%)と最も多くなっています。

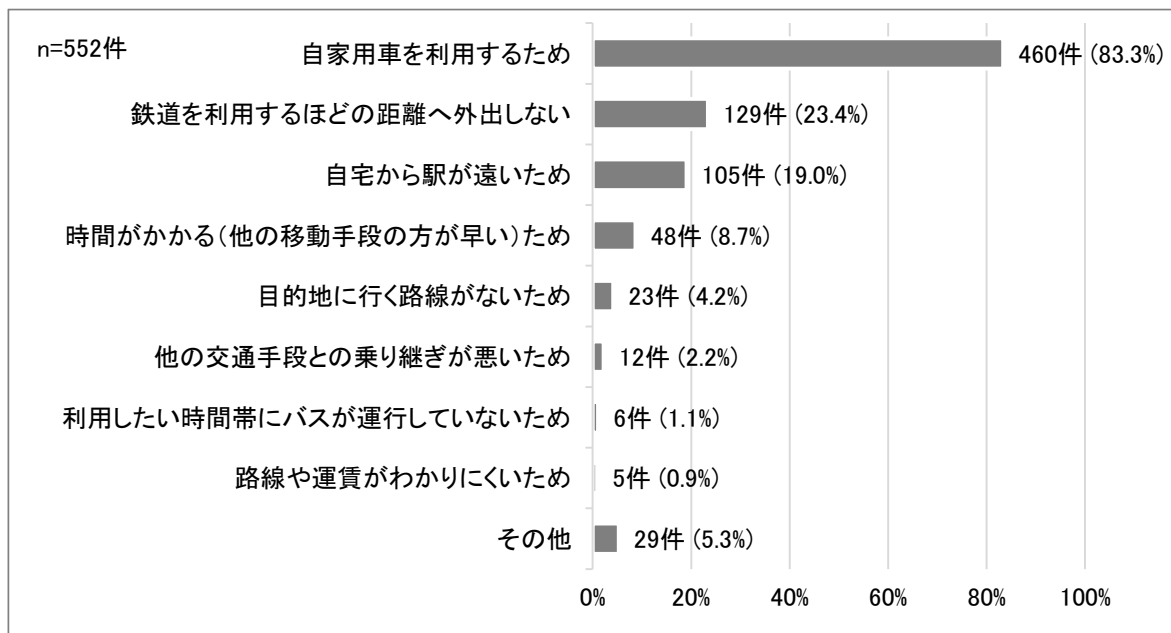
#### ■鉄道の利用頻度



#### ■鉄道の満足度



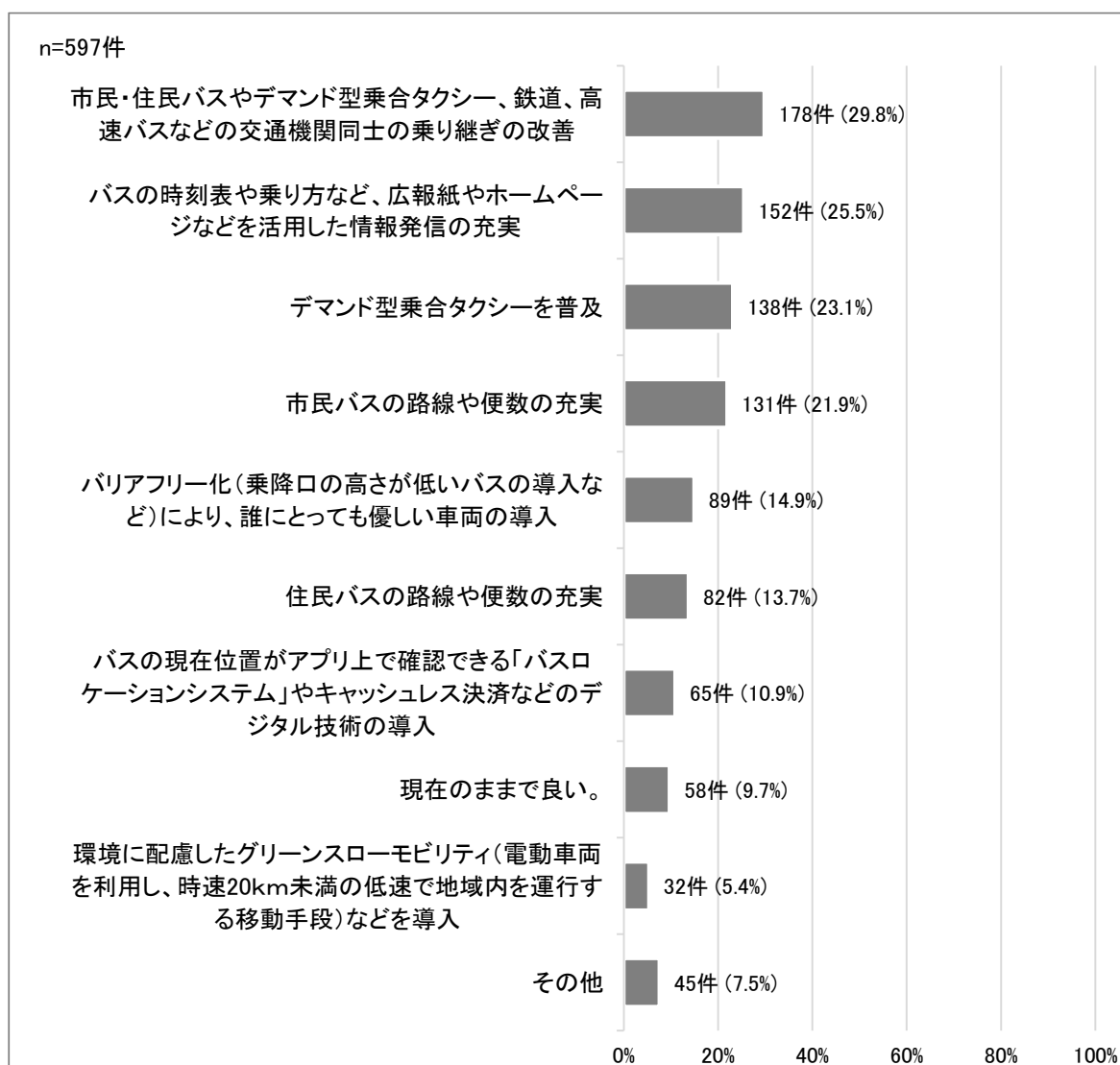
## ■鉄道を利用しない理由（主な理由を2つ選択）



## (5) 今後の登米市の公共交通について

○本市の公共交通をより良いものとするための取組について、「市民・住民バスやデマンド型乗合タクシー、鉄道、高速バスなどの交通機関同士の乗り継ぎの改善」が 178 件（29.8%）と最も多く、次いで、「バスの時刻表や乗り方など、広報紙やホームページなどを活用した情報発信の充実」が 152 件（25.5%）、「デマンド型乗合タクシーを普及」が 138 件（23.1%）、「市民バスの路線や便数の充実」が 131 件（21.9%）となっています。

### ■登米市の公共交通をより良いものとするための取組（2 つまで選択可）



---

### 3.2 高校生アンケート調査

市民バスの主たる利用者である高校生を対象に、通学実態や公共交通を利用しない理由等を把握するため、以下の要領でアンケート調査を実施しました。

#### ■実施要領

|      |                                                                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査名  | 登米市の公共交通に関するアンケート                                                                                                |
| 調査対象 | 以下の高学の1年生及び2年生全員（計1,279名）<br>・佐沼高校（447名）<br>・登米高校（94名）<br>・登米総合産業高校（345名）<br>・飛鳥未来きずな高校登米本校（110名）<br>・迫桜高校（283名） |
| 調査期間 | 令和6（2024）年7月8日（月）～令和6（2024）年7月19日（金）                                                                             |
| 調査手法 | ・web アンケート（Google Forms）<br>アンケートフォームのQRコード及びURLを掲載した案内文を、各校を通じて対象者に配布                                           |
| 回答状況 | 回答559名 / 調査対象1,279名 回答数43.7%                                                                                     |

### (1) 通学時の利用について

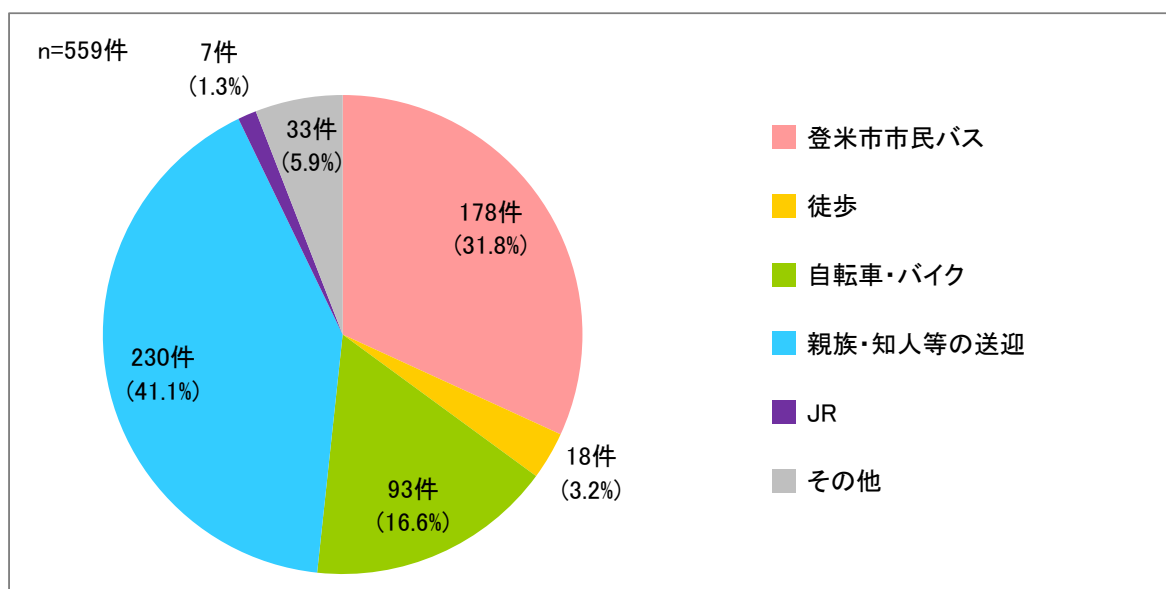
○通学手段について、「親族・知人等の送迎」が230件（41.1%）と最も多く、次いで、「登米市市民バス」が178件（31.8%）となっています。

○市民バスの利用状況について、「利用している」が305件（54.6%）、「利用していない」が238件（42.6%）となっています。

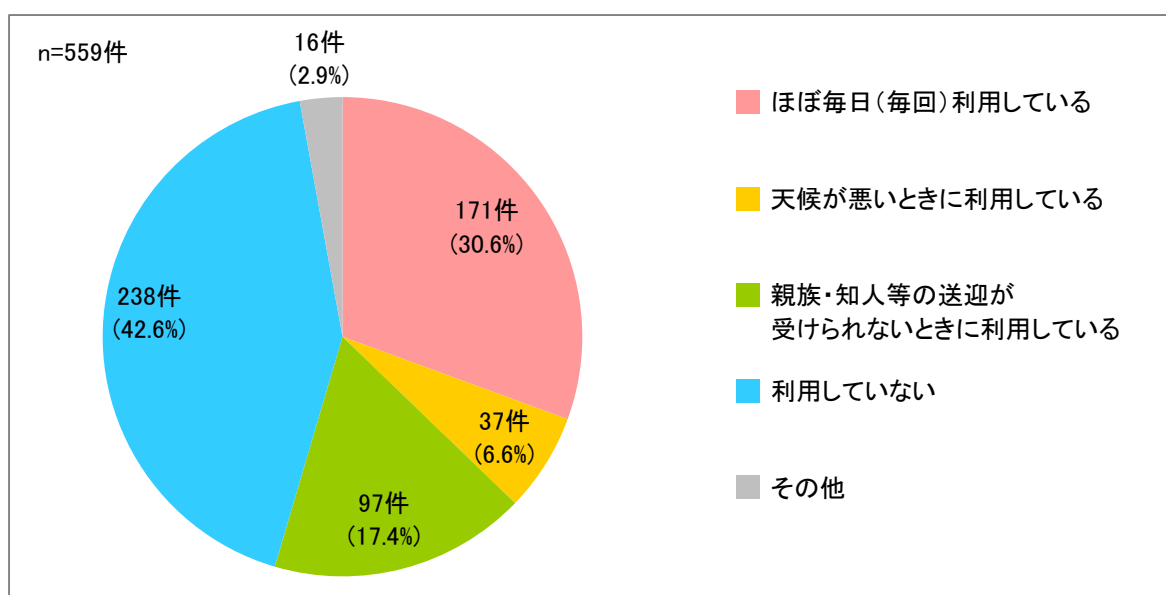
○市民バスを利用している方の満足度について、「満足」「やや満足」が141件（43.9%）、「やや不満」「不満」が60件（18.7%）となっています。

○市民バスを利用しない理由について、「親族・知人等に送迎してもらえるため」が134件（56.3%）と最も多く、次いで、「徒歩や自転車・バイクで通学できるため」が79件（33.2%）、「自宅からバス停が遠いため」が31件（13.0%）となっています。

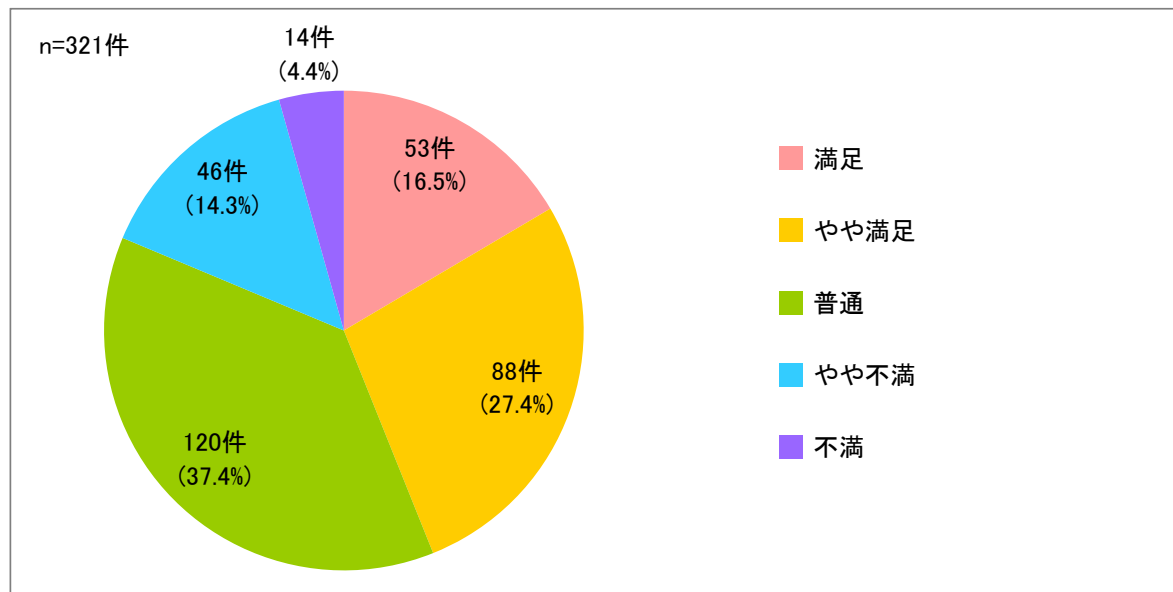
### ■通学手段



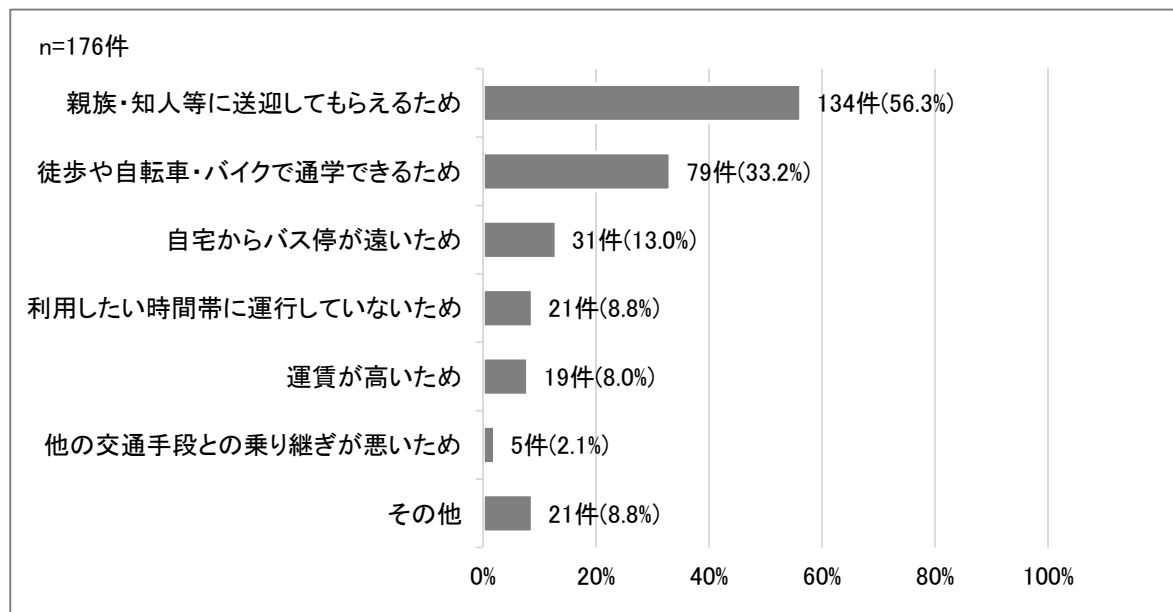
### ■通学時の市民バスの利用状況



## ■通学時の市民バスの満足度



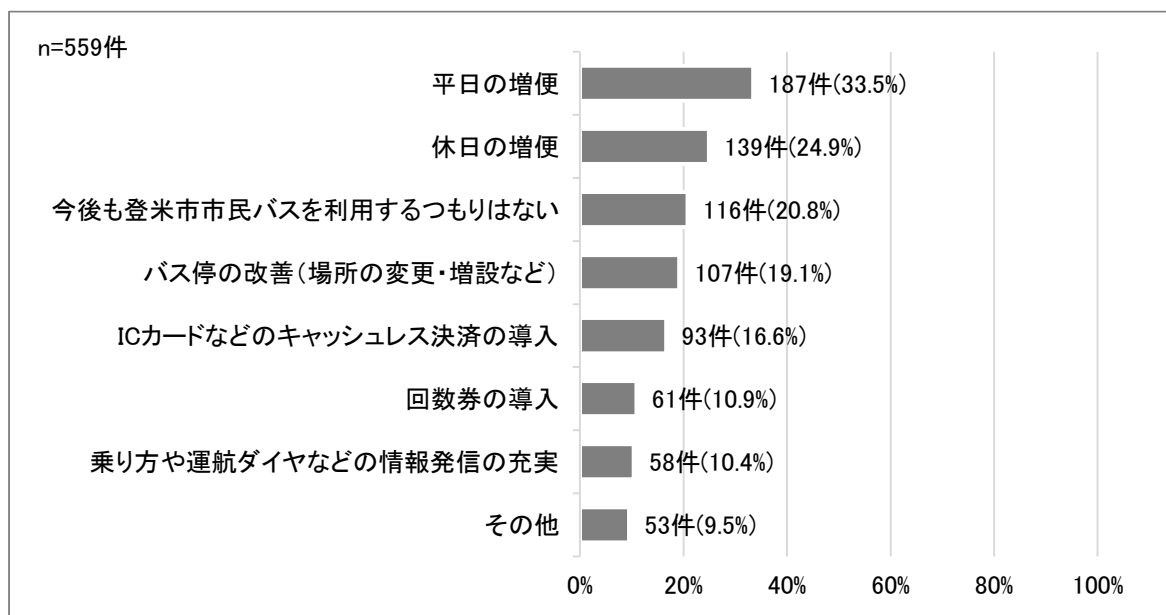
## ■通学時に市民バスを利用しない理由（複数回答）



## (2) 市民バスの改善策について

○市民バスの改善策について、「平日の増便」が 187 件（33.5%）と最も多く、次いで、「休日の増便」が 139 件（24.9%）、「今後も登米市市民バスを利用するつもりはない」が 116 件（20.8%）、「バス停の改善（場所の変更・増設など）」が 107 件（19.1%）となっています。

### ■市民バスの改善策由



### 3.3 市民バス利用実態調査

市民バスの利用者を対象に、乗降バス停、属性（性別、年齢等）、利用特性（利用目的、利用頻度等）、運行サービスに対する満足度、改善点等を把握するため、以下の要領でヒアリング調査を実施しました。

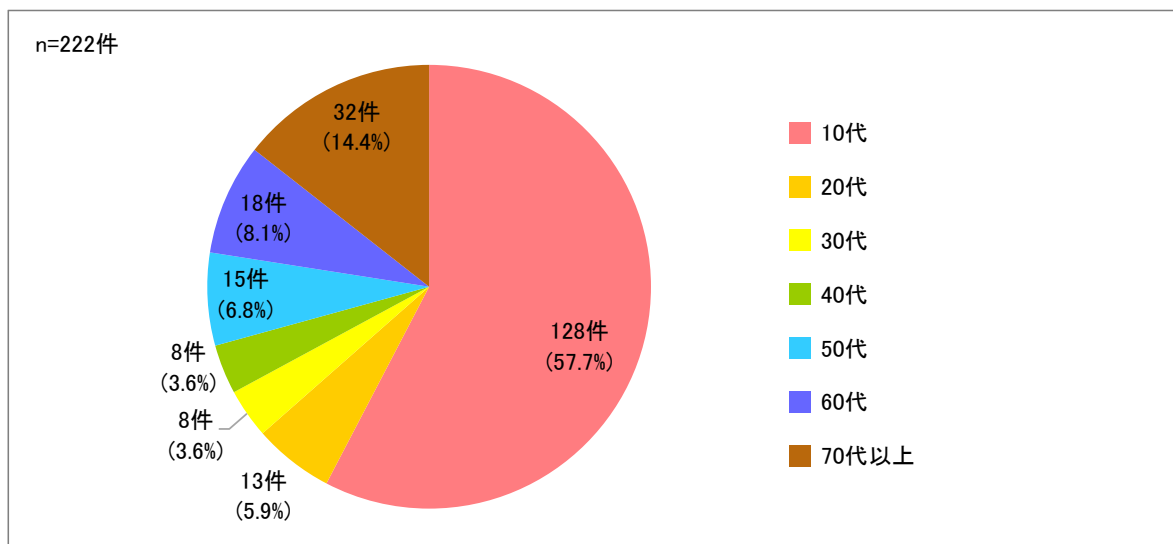
#### ■実施要領

|      |                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査名  | 市民バス利用実態アンケート調査                                                                                  |
| 調査対象 | 以下のバス停における市民バス利用者<br>（登米市役所、登米総合支所、東和総合支所、中田総合支所、米山総合支所、南方総合支所、石越総合支所、豊里総合支所、津山総合支所、ミヤコーバス佐沼営業所） |
| 調査期間 | 令和6（2024）年7月12日（金）、16日（火）、18日（木）の始発から終発まで                                                        |
| 調査手法 | 調査員によりヒアリング                                                                                      |
| 回答状況 | 回答 222 名                                                                                         |

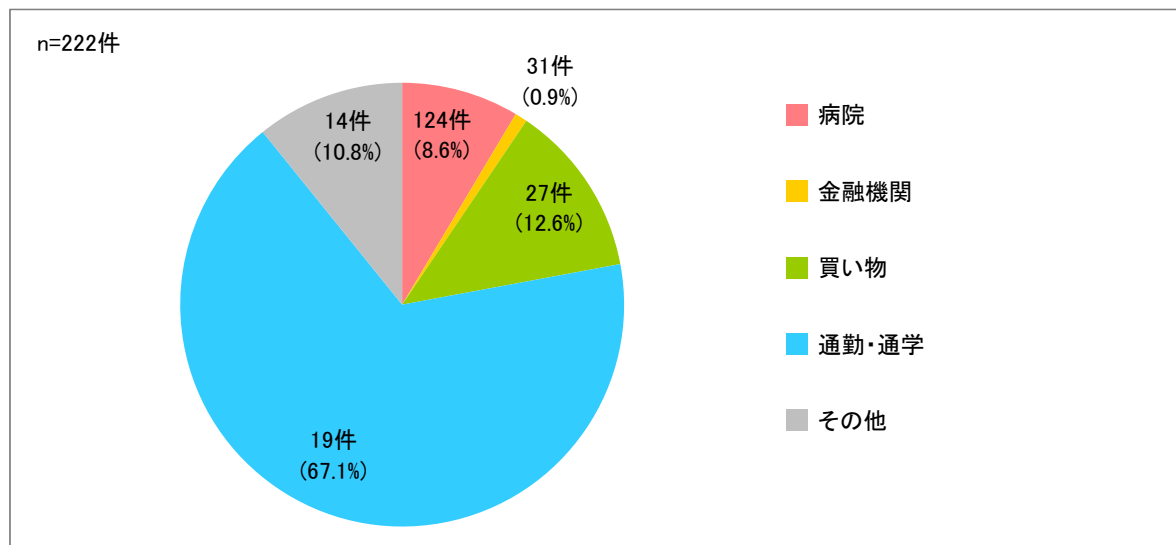
#### (1) 回答者について

○回答者について、年齢は「10代」、乗車目的は「通勤・通学」がそれぞれ最も多くなっています。

#### ■回答者の年齢



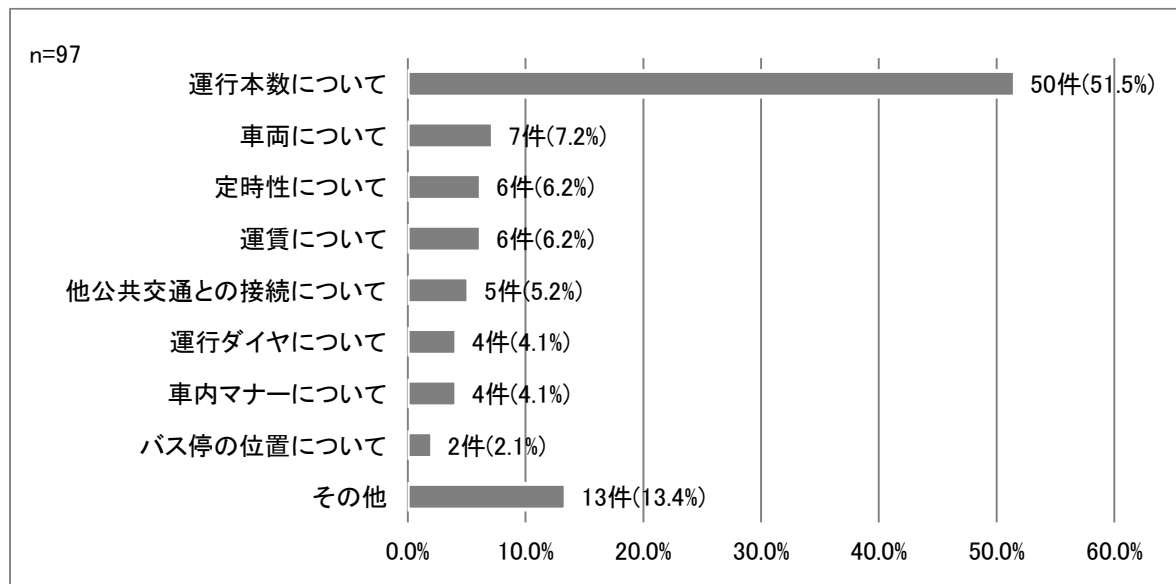
## ■回答者の乗車目的



## (2) 改善・要望事項について

○改善・要望事項について、「運行本数について」が50件（51.5%）と最も多くなっています。

## ■改善・要望事項



### 3.4 J R 駅利用実態調査

市民バスが乗り入れている各駅の利用者を対象に、利用者属性、利用特性（利用目的、利用頻度、運行サービスに対する満足度）、利用をより一層高めるために必要なサービス等を把握するため、以下の要領でヒアリング調査を実施しました。

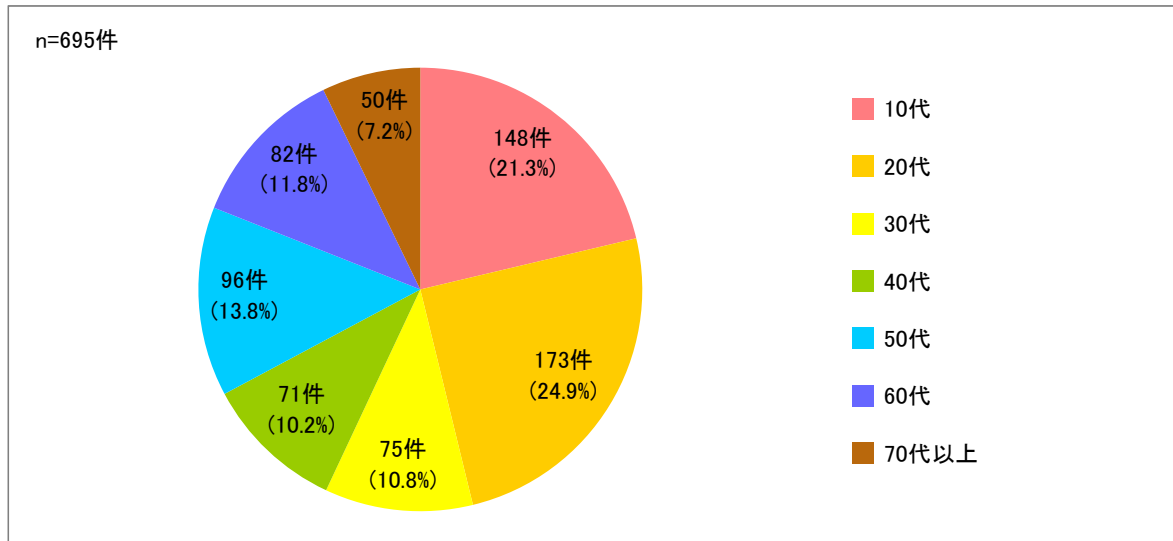
#### ■実施要領

|      |                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------|
| 調査名  | J R 駅利用実態アンケート調査                                          |
| 調査対象 | 市民バスが乗り入れている以下の駅の利用者<br>〔くりこま高原駅、石越駅、・新田駅、瀬峰駅、陸前豊里駅、・柳津駅〕 |
| 調査期間 | 令和 6（2024）年 7 月 9 日（火）、18 日（木）の始発から終発まで                   |
| 調査手法 | 調査員によりヒアリング                                               |
| 回答状況 | 回答 695 名                                                  |

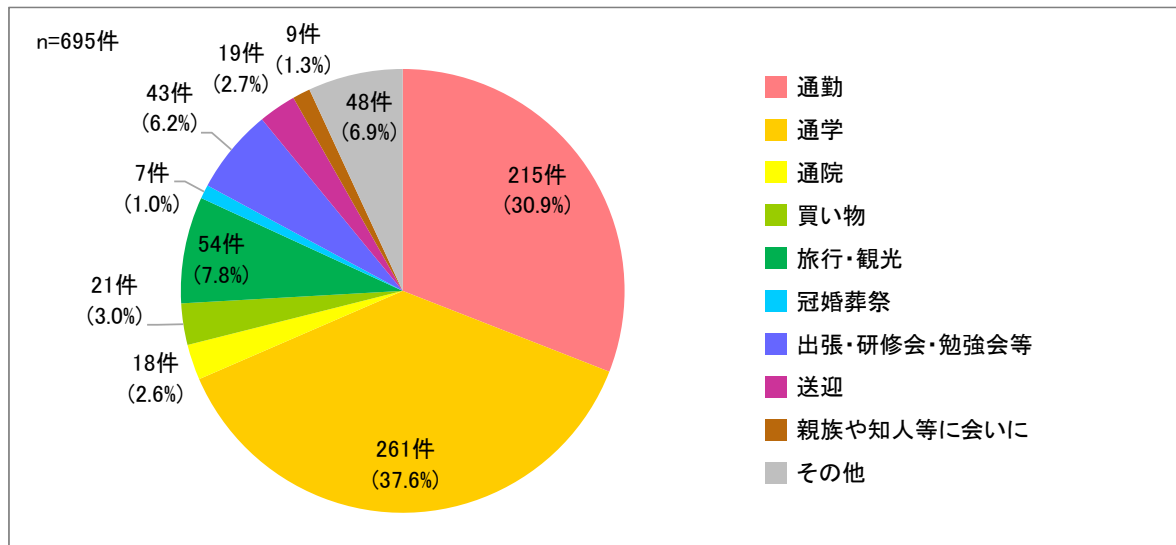
#### (1) 回答者について

○回答者の年齢は「20 代」「10 代」が、回答者の利用目的は「通学」「通勤」が多くなっています。

#### ■回答者の年齢



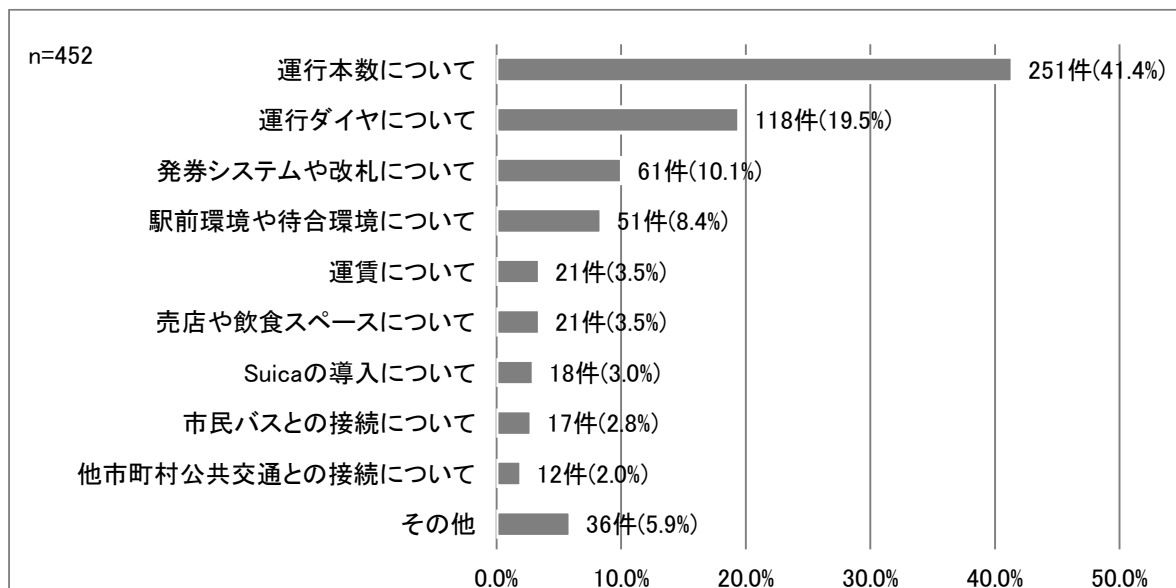
## ■回答者の利用目的



## (2) 改善・要望事項について

○改善・要望事項について、「運行本数について」が 251 件 (41.4%) と最も多く、次いで、「運行ダイヤについて」が 118 件 (19.5%)、「発券システムや改札について」が 61 件 (10.1%)、「駅前環境や待合環境について」が 51 件 (8.4%) となっています。

## ■改善・要望事項



### 3.5 交通事業者ヒアリング

市内で運行する市民バス事業者、住民バス事業者、タクシー事業者を対象に、公共交通の利用特性や運行上の問題点や課題、公共交通の見直しにあたって留意すべき点等を把握するため、以下のとおりヒアリング調査を実施しました。

#### ■ヒアリング概要・結果

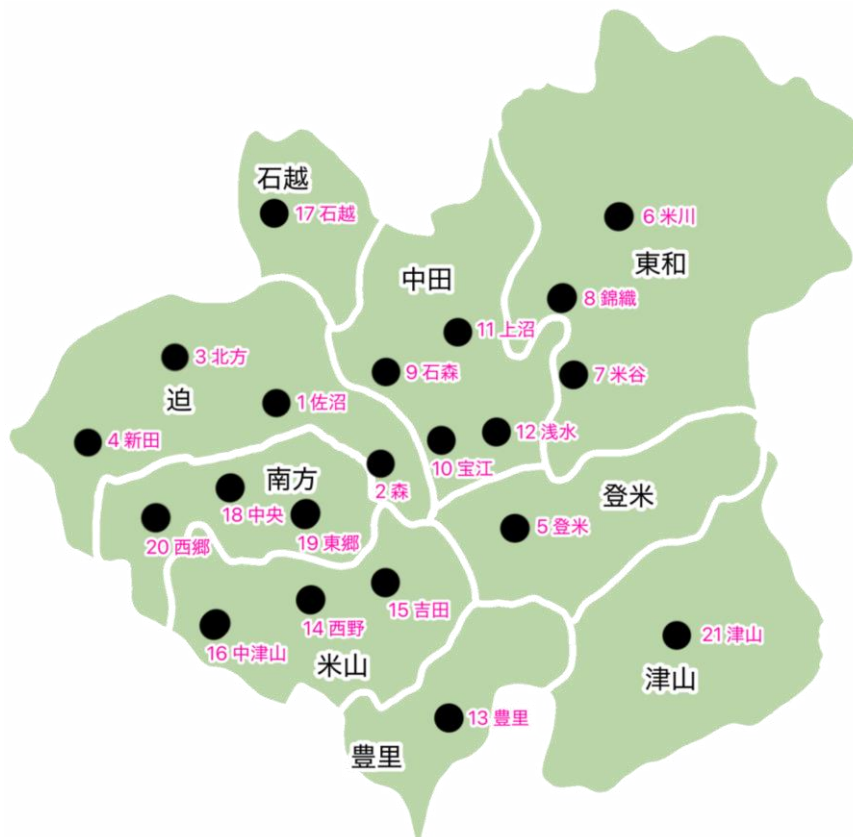
|                     | 【市民バス事業者】<br>市内1社                                                                                                                                                                                                     | 【住民バス事業者】<br>市内7社<br>〔ペーパーヒアリング〕<br>含む                                                                                                                                                                                                                      | 【タクシー事業者】<br>市内代表1社                                                                                                |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日                 | 令和6(2024)年<br>8月28日(水)<br>10:30~11:30                                                                                                                                                                                 | 令和6(2024)年<br>9月13日(金)<br>14:30~15:00                                                                                                                                                                                                                       | 令和6(2024)年<br>9月13日(金)<br>15:00~15:30                                                                              |
| 現在の運行上の<br>懸念事項     | <ul style="list-style-type: none"> <li>一部の時間帯における過密なバスダイヤ。(16時台前半の登米総合産業高校、16時台の登米市役所。)</li> </ul>                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスによる通学時間帯と通院時間帯が重なっていることによる、住民バス利用の停滞。</li> <li>台風や大雪の際の民家の樹木等による運行阻害の懸念。</li> </ul>                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>夜間(20時以降)及び休日のドライバー不足。</li> <li>市内タクシー業者の廃業に伴う、遠方地域における輸送需要への対応。</li> </ul> |
| 今後改善・強化を図る必要がある事項   | <ul style="list-style-type: none"> <li>現状の運行を継続するための人材の確保・養成。</li> <li>利用促進を目的とした周知活動やイベントの継続的な開催。</li> <li>快適な待合環境の整備。(屋根の設置等。)</li> <li>停留所の位置の評価・検討。</li> <li>デジタル技術を活用した新たなサービスの導入。(交通IC、ロケーションシステム等。)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民バスとの乗り継ぎをスムーズにするダイヤの調整。</li> <li>利用促進のための周知活動の実施。</li> <li>住民バスの利用者が少ないエリアにおけるデマンド型乗合タクシーへの移行。</li> <li>スクールバスの共用化の検討。</li> <li>利用が見込める路線の増便。</li> <li>グリーンスローモビリティの導入。</li> <li>高齢者等の乗降時の介助の必要性等のルール化。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドライバー不足に対応するための規制緩和。</li> <li>デマンド型乗合タクシーの普及。</li> </ul>                    |
| 実施に向けた方策<br>モニタリングの | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートやヒアリング等の実施。</li> <li>市民バスは高校生が主な利用者であるため、その年の通学状況によって利用者数や収支状況が大きく左右される。よって、利用者数によるモニタリングには留意が必要と考える。</li> </ul>                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                           | —                                                                                                                  |
| その他                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市中心部での乗り換えを前提としたバス路線網の構築が効果的であると考え。(現在もこの考えに則り、バス路線網を構築している。)</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>住民票はあるが施設入居や入院等による無居住エリアがあると考え。住民バスの再構築にあたっては、居住実態を踏まえ、検討していく必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>タクシーの利用実態として、一般客による通院や、企業やイベント等の送迎が主である。</li> </ul>                         |

### 3.6 コミュニティ組織ヒアリング

市内にある 21 のコミュニティ組織に対して、日常生活の移動実態や公共交通に対する新たなニーズや要望等の意見を把握するため、以下のとおりヒアリング調査を実施しました。

#### ■ヒアリング概要

| 実施日・場所                                                | ヒアリング対象 |     |        |
|-------------------------------------------------------|---------|-----|--------|
|                                                       | 地域      | No. | コミュニティ |
| 令和 6（2024）年 9 月 6 日（金）13：00～14：00<br>登米公民館（談話室）       | 登米地域    | 5   | 登米地区   |
|                                                       | 豊里地域    | 13  | 豊里地区   |
|                                                       | 津山地域    | 21  | 津山地区   |
| 令和 6（2024）年 9 月 6 日（金）14：30～15：30<br>錦織公民館（研修室）       | 東和地域    | 8   | 錦織地区   |
|                                                       | 東和地域    | 6   | 米川地区   |
| 令和 6（2024）年 9 月 6 日（金）16：00～17：00<br>浅水ふれあいセンター（研修室）  | 中田地域    | 10  | 宝江地区   |
|                                                       | 中田地域    | 11  | 上沼地区   |
|                                                       | 中田地域    | 12  | 浅水地区   |
| 令和 6（2024）年 9 月 11 日（水）9：30～10：30<br>迫庁舎（3 階第 4 委員会室） | 迫地域     | 2   | 森地区    |
|                                                       | 迫地域     | 4   | 新田地区   |
| 令和 6（2024）年 9 月 11 日（水）11：00～12：00<br>米山公民館（多目的ホール）   | 米山地域    | 14  | 西野地区   |
|                                                       | 米山地域    | 15  | 吉田地区   |
|                                                       | 米山地域    | 16  | 中津山地区  |
| 令和 6（2024）年 9 月 11 日（水）14：30～15：30<br>南方公民館（会議室）      | 南方地域    | 18  | 中央地区   |
|                                                       | 南方地域    | 19  | 東郷地区   |
|                                                       | 南方地域    | 20  | 西郷地区   |
| 令和 6（2024）年 9 月 13 日（金）9：30～10：30<br>石森ふれあいセンター（研修室）  | 東和地域    | 7   | 米谷地区   |
|                                                       | 石越地域    | 17  | 石越地区   |
| 令和 6（2024）年 9 月 13 日（金）11：00～12：00<br>石森ふれあいセンター（研修室） | 迫地域     | 1   | 佐沼地区   |
|                                                       | 迫地域     | 3   | 北方地区   |
|                                                       | 中田地域    | 9   | 石森地区   |



## ■ヒアリング結果

| 地域    | 地区                                      | 主な意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 登米市全域 | —                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バスは主に高校生の登下校に利用されており、朝夕は車内が混雑していることから、増便を望む声があがっている。</li> <li>・住民バスは主に高齢者等の通院・買い物に利用されているが、認知度が低いこともあり、利用者数は総じて多くはない。</li> <li>・ニーズに合わせた車両の変更やダイヤ編成等が求められている。</li> <li>・時刻表や経路、利用方法を知らない人がいる。より効果的な情報発信が必要と考える地区もある。</li> <li>・デマンド型乗合タクシーは、主に通院に利用されており、地域外運行も含めた利用範囲の拡大や事務負担の軽減が求められている。また、行政が管理・運営すべきと考える地区もある。</li> </ul> |
| 迫地域   | 1 佐沼地区<br>2 森地区<br>3 北方地区<br>4 新田地区     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区によって市民バスの運行路線や便数に差がある。</li> <li>・バス停の位置の再検討やバス待ち空間の整備、車両のバリアフリー化が求められている。</li> <li>・地域コミュニティの活性化や暮らしの豊かさといった観点から、公共交通は必要不可欠なものである。</li> <li>・バスのフリー乗車やロケーションシステムの導入、ゼロカーボンシティに向けた取組、免許返納や公共交通の関する説明会の開催が必要と考える。</li> </ul>                                                                                                    |
| 登米地域  | 5 登米地区                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り換えを負担に感じる高齢者が多いことから、登米市民病院への直通バスを望む声があがっている。</li> <li>・買い物困難エリアが存在する。免許返納後、親族等からの送迎が望めない場合は、本地区を出ざるを得ない状況にあると感じている。</li> <li>・行政によるタクシー会社への補助等、使いやすいタクシー利用システムを望む。</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| 東和地域  | 6 米川地区<br>7 米谷地区<br>8 錦織地区              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型乗合タクシーは、学生の登下校にも利用されている。行政による管理・運営を望む声があるほか、東和地域3地区の窓口業務を1本化し、事務作業の効率化を図ることも可能であると考ええる。</li> <li>・交通と福祉はセットで考えていく必要があると感じている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                   |
| 中田地域  | 9 石森地区<br>10 宝江地区<br>11 上沼地区<br>12 浅水地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型乗合タクシーは、親族等の送迎負担の軽減につながっている。また、目的地の個人宅設定を望む声があがっている。</li> <li>・県や事業者等の関係機関と協力し、本市独自の地域公共交通システムを検討・構築してみてもよいと考える。</li> <li>・地域のスーパー等で利用できるポイントの付与や、バス乗車時に病院の受付ができるシステムの構築等、バスに乗車するメリットをつくることでバスの利用増進を図ることも有効であると考ええる。</li> </ul>                                                                                            |
| 豊里地域  | 13 豊里地区                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バスを小型化し、増便を望む声があがっている。</li> <li>・豊里病院の患者送迎バス（住民バス）は使い勝手がよいと感じている。</li> <li>・隣接する石巻市を生活圏としている人が多く、石巻市への移動需要が高い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |
| 米山地域  | 14 西野地区<br>15 吉田地区<br>16 中津山地区          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内においても、生活圏の相違が見られる。</li> <li>・デマンド型乗合タクシーの導入可能性検討のための情報発信が必要である。</li> <li>・増便だけでなく、高齢者のトイレ問題への対応等、利用者に対するきめ細やかな配慮が必要である。</li> <li>・ライドシェアの導入可能性について調査するべきと考える。</li> </ul>                                                                                                                                                     |
| 石越地域  | 17 石越地区                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する栗原市を生活圏としている人が多く、栗原市への移動需要が高い。</li> <li>・デマンド型乗合タクシーの市外利用等、利用範囲の拡大について検討してほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                   |
| 南方地域  | 18 中央地区<br>19 東郷地区<br>20 西郷地区           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な施設が不足しているエリアがある。公共交通の充実よりも生活に必要な施設の誘致が必要と考える。</li> <li>・行政によるタクシー会社への補助等、使いやすいタクシー利用システムを望む。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                   |
| 津山地域  | 21 津山地区                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な施設が不足しているエリアがある。</li> <li>・デマンド型乗合タクシーは便利だと思う一方、地元タクシー会社のマンパワーが不足していることから、導入は厳しいと感じている。</li> <li>・公共交通の運営事務や運行の効率化を図るため、ITの導入が必要であると考ええる。</li> <li>・公共交通の運賃の割引等、行政主導による公共交通の利用促進を目的とした施策の実施を望む声があがっている。</li> </ul>                                                                                                        |

## 4. 地域公共交通に関する課題整理

### 4.1 現況の整理

「1. 登米市の地域概況の整理」「2. 公共交通の現況に関する整理」「3. 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査」より、本市の現況やニーズ等を整理します。

#### (1) 登米市の地域概況

|         |                                                                                                                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人口      | ○人口減少、少子高齢化が進行している。<br>○今後も更なる人口減少、高齢化の進行が予測されている。                                                                                                                                                             |
| 施設の分布状況 | ○主要施設（役所・支所、商業施設、医療施設、高校）は中心市街地を形成する迫地域や国道346国道346号及び国道398号沿いに多く立地している。また、東和地域、石越地域、津山地域には商業施設が立地していない。<br>○一部の商業施設及び医療施設を除き、主要施設の多くは鉄道やバス停の徒歩圏内に立地している。<br>○観光施設は市内全域に点在している。自然分野の観光施設は鉄道や路線バスでアクセスできない状況にある。 |
| 人口流動    | ○通勤、通学ともに市外への移動が3割から4割程度見られる。<br>○市内間では、通院、買い物及び通勤・通学のいずれの目的においても迫地域への他地域からの移動割合が高い。また、迫地域、登米地域、東和地域、中田地域、豊里地域、米山地域は地区内移動需要が高い。                                                                                |
| 移動手段    | ○主な移動手段は自動車である。<br>○高齢者（65歳以上）の運転免許保有率が高い。                                                                                                                                                                     |

#### (2) 公共交通の現況

|             |                                                                                                                                       |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鉄道・BRT      | ○東北本線及び気仙沼線（BRT含む）の2路線が運行しているが、駅はすべて市域の外縁部に位置している。<br>○（JR東北本線）新田駅、石越駅、（JR気仙沼線）陸前豊里駅、柳津駅、（東北新幹線）くりこま高原駅には市民バスが接続している。                 |
| 高速バス        | ○迫地域と仙台市間、登米地域及び津山地域と仙台市間を結ぶ高速バスが運行している。                                                                                              |
| 市民バス        | ○11路線27系統で運行しており、利用者数は平成27（2015）年度と比較し、米山登米線、米山佐沼線、豊里線、新田線、中心市街地循環線で増加しているものの、全体的には減少している（中心市街地循環線は令和2年度から運行）。<br>○高校生の利用が全体の約半数を占める。 |
| 住民バス        | ○スクールバスの空き時間等を活用し、平日のみ9地域23路線で運行しており、平成27（2015）年度と比較し、全体的に利用者は減少傾向にある。                                                                |
| デマンド型乗合タクシー | ○5地区で運行しており、利用者は米川地区及び令和6年度から運行を開始した米谷地区を除き増加傾向にある。                                                                                   |

### (3) 公共交通の利用実態及びニーズ

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民<br>アンケート           | <p>○市民バス：利用しない割合は85.1%、認知していない割合は10.5%、不満と回答した割合は26.7%。</p> <p>○住民バス：利用しない割合は75.7%、認知していない割合は51.6%、不満と回答した割合は4.8%。</p> <p>○デマンド型乗合タクシー：利用しない割合は92.1%、認知していない割合は66.0%、不満と回答した割合は20.0%。</p> <p>○鉄道：利用しない割合は66.4%、不満と回答した割合は21.8%。</p> <p>○今後の本市の公共交通をよりよいものとするための取り組みとして、「市民バスの路線や便数の充実」「交通機関同士の乗り継ぎの改善」「情報発信の充実」が挙げられている。</p>                                                                                                                                         |
| 高校生<br>アンケート          | <p>○通学手段は、親族・知人等の送迎が最も多く44.1%、次いで、市民バス31.8%、鉄道1.3%となっている。</p> <p>○通学時の市民バスについて不満と回答した割合は18.7%。</p> <p>○市民バスの改善策として、「増便」「バス停の改善（場所の変更・増設など）」「ICカードなどのキャッシュレス決済の導入」が多く挙げられている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 公共交通<br>利用実態調査        | <p>○市民バスは、10代の通勤・通学利用が最も多く、主な要望事項として、主に運行本数の増加が挙げられている。</p> <p>○JR駅利用者は、若者の通勤・通学利用が最も多く、主な要望事項として、運行本数の増加、運行ダイヤの改善、発券システムの改善、駅前環境や待合環境等の整備が挙げられている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 交通事業者<br>ヒアリング        | <p>【市民バス事業者】</p> <p>■現在の運行上の懸念事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一部の時間帯における過密なバスダイヤ。</li> </ul> <p>■今後改善・強化を図る必要があると考える事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現状の運行を継続するための人材の確保・養成。</li> <li>○利用促進を目的とした周知活動やイベントの継続的な開催。</li> <li>○快適な待合環境の整備。</li> <li>○停留所の位置の評価・検討。</li> <li>○デジタル技術を活用した新たなサービスの導入。</li> </ul>                                                                                                                             |
|                       | <p>【住民バス事業者】</p> <p>■現在の運行上の懸念事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スクールバスによる通学時間帯と通院時間帯が重なっていることによる、住民バス利用の停滞。</li> <li>○台風や大雪の際の民家の樹木等による運行阻害の懸念。</li> </ul> <p>■今後改善・強化を図る必要があると考える事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民バスとの乗り継ぎをスムーズにするダイヤの調整。</li> <li>○利用促進のための周知活動の実施。</li> <li>○利用者を踏まえた、住民バスからデマンド型乗合タクシーへの移行。</li> <li>○スクールバスの共用化の検討。</li> <li>○利用が見込める路線の増便。</li> <li>○グリーンスローモビリティの導入。</li> <li>○高齢者等の乗降時の介助の必要性等のルール化。</li> </ul> |
|                       | <p>【タクシー事業者】</p> <p>■現在の運行上の懸念事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○夜間（20時以降）及び休日のドライバー不足。</li> <li>○市内タクシー業者の廃業に伴う、遠方地域における輸送需要への対応。</li> </ul> <p>■今後改善・強化を図る必要があると考える事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ドライバー不足に対応するための規制緩和。</li> <li>○デマンド型乗合タクシーの普及。</li> </ul>                                                                                                                                                                            |
| コミュニティ<br>組織<br>ヒアリング | <p>○ニーズに合わせた車両の変更やダイヤ編成等が求められている。</p> <p>○公共交通に関する要望として、市民バスの増便やデマンド型乗合タクシーの利用可能条件の拡大、タクシー利用助成の検討、バス待ち空間の快適性の向上等があがっている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

---

## 4.2 課題の整理

### 課題1 利便性の高い地域公共交通の推進

- ①市民バスの路線や運行時刻の見直し、ニーズを踏まえた利用環境整備による利便性の向上
- ②市内における中心市街地内の移動及び地域間移動を踏まえた都市づくりと一体・連携した取組
- ③高齢者等交通弱者の移動手段の確保を図るため、デマンド型乗合タクシーの普及促進のほか、地域ごとの特性を踏まえた地域内交通の検討が必要

### 課題2 利用促進に向けた取組

- ①既存交通手段との乗継ぎ円滑化など、利用促進に向けた方策の検討
- ②高齢者等の交通弱者や高校生の通学等に配慮した移動手段の確保
- ③公共交通に関する認知度が低いことから、地域イベントの開催などを含めた利用促進策の取組と各種情報発信ツールを活用した周知

### 課題3 持続可能な公共交通への取組

- ①高齢化・担い手不足等による交通サービスの低下への対応や新たなモビリティの活用についての検討
- ②持続可能な公共交通を推進するため、収支改善に向けた取組
- ③二酸化炭素排出量削減につながる公共交通利用の促進

### 課題4 交流促進を支援する取組

- ①鉄道（新幹線・BRT含む）・高速バスとの連携強化及び利用促進のための取組
- ②公共交通の充実によるにぎわいの創出と地域活性化への貢献

## 5. 登米市地域公共交通計画（案）

### 5.1 基本理念と基本的な考え方

#### (1) 基本理念

**「住みたいまち とめ」の実現に向け、  
だれもが気軽におでかけでき、安心して生活が送れる  
持続可能な地域公共交通を構築する**

コンパクトな拠点づくりとともに地域コミュニティ拠点及び地域拠点間を公共交通で結ぶ「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えに基づき、利便性が高く持続可能な地域公共交通ネットワークを構築し、誰もが「気軽に」外出でき、「安心して」生活が送れる魅力的なまちづくりを目指します。

#### (2) 地域公共交通ネットワークの基本的な考え方

##### **持続可能な地域公共交通ネットワークの実現に向けて**

◎市内には、市民バス・住民バス・デマンド型乗合タクシー・鉄道やタクシー等、様々な交通手段があり、これらは単独ですべての地域・移動ニーズに対応しているのではなく、それぞれの交通モードの特性を活かし、移動する距離や時間帯、目的、人数等に応じた役割分担をしている。

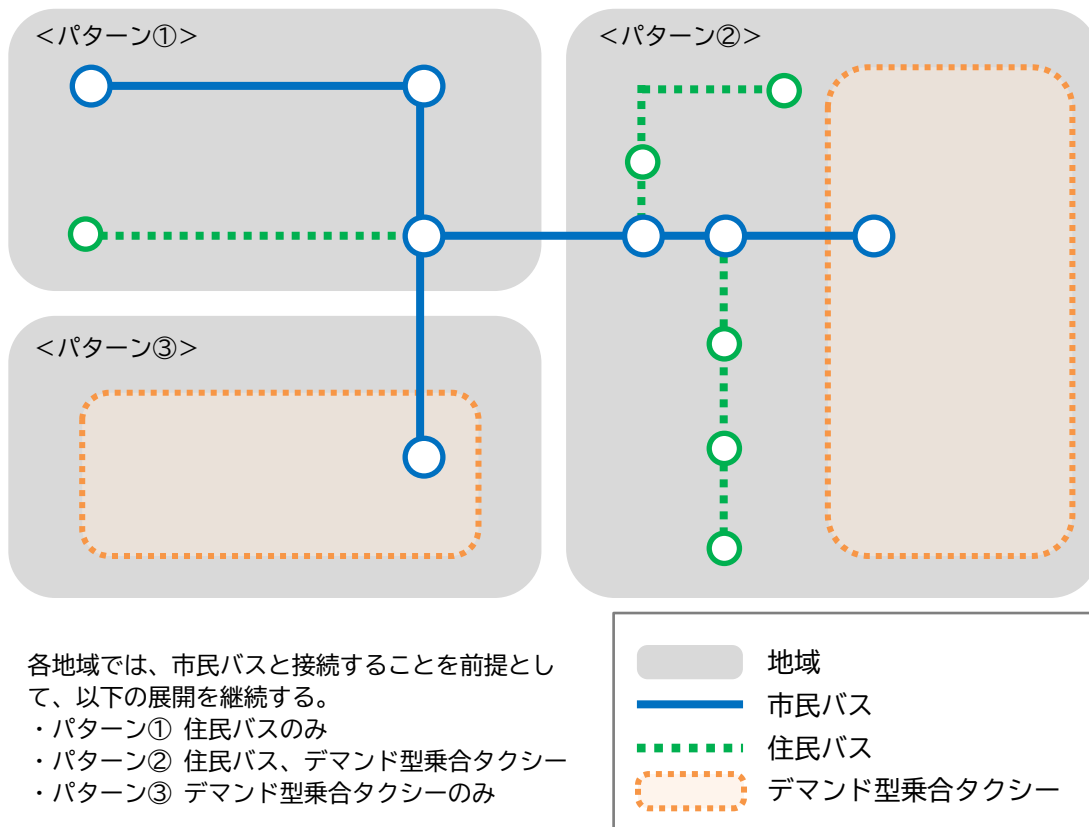
◎他市町村への広域的な移動手段としての“幹”の交通は交通事業者が運行する鉄道や高速バス、市内の各地域間の移動手段としての“枝”の交通は市が運行する市民バス、地域内での移動手段としての“葉”の交通は市が運行する住民バスや、地区のコミュニティが運行するデマンド型乗合タクシーとなる。

◎このように交通手段ごとの役割の中で、地域のニーズに合い、継続的に利用される地域公共交通となることを意識する必要がある。

【登米市における公共交通ネットワーク】



参考：各地域における地域公共交通のパターン



---

(3) 各交通手段の基本的な考え方

**市民バス（市内幹線：枝の役割）**

- 路線を定めて運行し、路線毎にダイヤを定める  
⇒目的地への一定の輸送ニーズ（通勤・通学等）を束ねることで効率的なサービス提供

**住民バス（各地域内：葉の役割）**

- スクールバスを活用し、地域内で路線・ダイヤを定める  
⇒地域内のお出かけの足としてのサービス提供

**デマンド型乗合タクシー（各地域内：葉の役割）**

- 路線・ダイヤを定めず、利用者毎の需要に応じた乗合運送  
⇒利用者の輸送ニーズに応じて運行ルートや乗降場所を柔軟に設定

**鉄道（BRT 含む）、高速バス（広域幹線：幹の役割）**

- 広域的な移動を確保する公共交通  
⇒市民バスと連携し、途切れないネットワークを確保する

**自家用有償旅客運送、福祉輸送、送迎サービス等**

- 登米市またはNPO、事業者等による運送の活用検討

---

## 5.2 基本方針と施策の方向性

### (1) 基本方針

#### 基本方針１ 市内各地域におけるまちづくりとの連携

- ①移動ニーズに対応した路線・停留所やダイヤの見直し、乗換拠点における利用環境整備を図る
- ②中心市街地や市内各地域の拠点における移動特性やニーズを踏まえた公共交通ネットワークの充実を図る
- ③市内各地域の交通需要やまちづくりと連携した地域との協働による地域特性を踏まえた地域内交通を維持・確保する

#### 基本方針２ 利用促進にむけた移動環境の実現

- ①公共交通機関相互の連携や利用者ニーズを踏まえた利便性向上の取組を推進する
- ②主要な利用者属性に配慮しつつ可能な限り誰もが利用できる移動環境を形成する
- ③公共交通を知る機会の提供や情報発信による認知度の向上、利用促進を図る

#### 基本方針３ 持続可能な交通体系の実現

- ①地域の多様な関係者の連携・協働により、分野の垣根を越えた人的・物的資源を有効活用した移動手段の確保や、新たなモビリティの活用について検討する
- ②利用促進と新たな財源確保等による収支の改善を図る
- ③環境負荷の小さい移動手段の検討と意識醸成を図る

#### 基本方針４ 交流や広域連携の促進

- ①鉄道（新幹線・ＢＲＴ含む）・高速バスの利用促進と利用環境の維持改善を図る
- ②他市町村とのアクセス向上により市町村間の交流促進を図る

## (2) 施策の方向性

基本方針を踏まえ、施策の方向性を以下の通り整理する。【 】は基本方針該当箇所。

### ■地域間交通の再編【1①②, 2②】

- ⇒利用ニーズに応じた運行ダイヤ、本数、バス停の再編
- ⇒生活利便施設等へのバス停の配置

### ■地域内交通の再編【1③, 2②】

- ⇒市内各地域での交通手段の位置づけと役割分担の明確化（住民バス、デマンド型乗合タクシーの充実）

### ■利用促進に向けた利便性向上【2①②】

- ⇒ネットワークの構築及び乗換え時間の調整
- ⇒デジタル技術を活用したサービスの検討

### ■利用促進に向けた情報発信、意識啓発【2③, 3③】

- ⇒市広報、ホームページ、SNS等を活用した情報発信
- ⇒各種イベントでのPRや利用促進キャンペーンの展開

### ■地域実情を踏まえた公共交通導入【1①③, 3①③】

- ⇒自家用有償旅客運送や福祉輸送、送迎サービス等の検討
- ⇒デジタル技術の活用など、新たなモビリティの検討
- ⇒他分野との連携による新たな交通モードの検討

### ■新たな財源の確保等による収支の改善【3②】

- ⇒市民バス停留所広告掲載事業等、新たな財源確保の取組

### ■広域移動環境の充実【4①②】

- ⇒JR東北新幹線・東北本線・気仙沼線及び高速バスと市民バスとの接続改善
- ⇒JR沿線自治体との連携による利用促進
- ⇒利用環境の維持・整備
- ⇒他市町との連携による利便性の向上

---

### 5.3 取組施策の概要（検討中）

計画の目標及び目標を達成するための施策（具体的な内容）・実施主体を整理する予定。

#### (1) 市民バス

運行経路・ダイヤ等の見直し、利用促進

#### (2) 住民バス

利用促進、サービス水準検討

#### (3) デマンド型乗合タクシー

各地域主体による運営存続、利用促進

#### (4) 鉄道、高速バス

隣接自治体との共有・連携、利用促進

#### (5) その他（自家用有償旅客運送、福祉輸送、送迎サービス等）

地域実情を踏まえた導入検討

### 5.4 目標達成に向けたマネジメント

#### (1) 数値指標（一例）

##### ① 市民バスの利用者

現況値：▲▲人（全路線）

目標値：★★人

##### ② 地域内お出かけ機会

現況値：▲▲人（9地域計）

目標値：★★人

##### ③ 公共交通利用率

現況値：▲▲%（アンケート）

目標値：★★人

##### ④ 公共交通満足度（やや満足以上）

現況値：▲▲%（アンケート）

目標値：★★人

#### (2) PDCA サイクル

◎施策の実施状況に関する調査

◎指標の分析及び評価（路線別・地域別）

⇒必要に応じて地域公共交通会議での議論を踏まえた地域公共交通計画内容の見直し